

大学番号：国077

注3

[平成30年度設置]

計画の区分： 学部の学科の設置

注1

事前伺い

熊本大学 工学部 材料・応用化学科

注2

## 【事前伺い】 設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人熊本大学

令和元年5月1日現在

### 作成担当者

担当部局（課）名 経営企画本部

職名・氏名 主任・清永 英一

電話番号 096-342-2032

（夜間） 096-342-2032

F A X 096-342-3007

e-mail sgo-kikaku@jimu.kumamoto-u.ac.jp

担当部局（課）名 教育研究支援部自然科学系事務課

職名・氏名 係長・小島 智絵

電話番号 096-342-3512

（夜間） 096-342-3512

F A X 096-342-3510

e-mail szk-somu@jimu.kumamoto-u.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。  
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。  
例) 〇〇大学 △△学部 □□学科  
(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))  
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。  
例)  
・大学の設置の場合：「〇〇大学」  
・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」  
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」  
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」  
・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」  
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」  
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」  
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 大学番号の欄については、平成31年4月2日付事務連絡「履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目次

## 工学部

＜材料・応用化学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	33
4. 既設大学等の状況	35
5. 教員組織の状況	38
6. 附帯事項等に対する履行状況等	127
7. その他全般的事項	128

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

国立大学法人 熊本大学

## (2) 大学名

熊本大学

## (3) 調査対象大学等の位置

〒860-8555

熊本県熊本市中央区黒髪2丁目39番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(ハラダ シンジ) 原田 信志 (平成27年4月)		
学部長	(ウサガワ ツヨシ) 宇佐川 毅 (平成28年4月)		
学科長等	(イダ シンタロウ) 伊田 進太郎 (平成30年4月)	(ヤマザキ ミチアキ) 山崎 倫昭 (平成31年4月)	任期満了に伴う変更(平成31年4月1日)(元)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成30年度に報告済の内容 → (30)

令和元年度に報告する内容 → (元)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。）
- ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合（令和元年度までの5年間）ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	收容定員	
工学部 材料・応用化学科 学士（工学）	工学関係	4年	131人	5人 3年次人	534人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	131人 ( - ) [ - ]	- 人	131人 ( - ) [ - ]	- 人	- 人 ( - ) [ - ]	- 人	- 人 ( - ) [ - ]	- 人	1.01倍	- 倍	A0入試については学科毎の募集をしていないが、以下のとおり実施した。 志願者35名 受験者34名 合格者14名  B入学者数には、A0入試等の入学者4名を含む
志願者数	281 ( - ) [ 2 ]	-	287 ( - ) [ 2 ]	-	-	-	-	-			
受験者数	224 ( - ) [ 1 ]	-	205 ( - ) [ 0 ]	-	-	-	-	-			
合格者数	139 ( - ) [ 0 ]	-	137 ( - ) [ 0 ]	-	-	-	-	-			
B 入学者数	136 ( - ) [ 0 ]	-	132 ( - ) [ 1 ]	-	-	-	-	-			
入学定員超過率 B/A	1.03		1.00		-		-				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ （ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、（（ ）書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成30年度		令和元年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	136 [ 0 ] ( - )	- [ - ] ( - )	132 [ 1 ] ( - )	- [ - ] ( - )	平成30年度入試については、改組実施前の物質生命化学科とマテリアル工学科で学生募集を行ったため、物質生命化学科とマテリアル工学科の合計数を記載。
2年次	/		135 [ 0 ] ( - )	- [ - ] ( - )	
3年次	/		/		
4年次	/		/		
計	136 [ 0 ] ( - )		267 [ 1 ] ( - )		

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	136 人	1 人	平成30年度	1 人	0 人	他の教育機関への入学
令和元年度	267 人	0 人	平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	0 人	0 人	
合計		1 人		1 人	0 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{136} = \boxed{0.73} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{267} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。









M u l t i d i s c i p l i n a r	Technical English Communication(a)	1-2期 後	1																		兼1
	Technical English Communication(b)	1-2期 前	1																		兼1
	Technical English Communication(c)	1-2期 後	1																		兼1
	Technical English Communication(d)	1-2期 後	1																		兼1
	Technical English Communication(e)	1-2期 前	2																		兼1
	Technical English Communication(f)	1-2期 後	1																		兼1
	Technical English Communication(g)	1-2期 後	1																		兼1
	Global Career Development(a)	1-2期 後	1																		兼2
	Global Career Development(b)	1-2期 後	1																		兼2
	小計(25科目)			0	28	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
基 礎 科 目	英語A-1	1期 前	1																		兼1
	英語A-2	1期 前	1																		兼1
	英語B-1	1期 前	1																		兼1
	英語B-2	1期 前	1																		兼1
	英語D-1	2期 後	1																		兼1
	英語D-2	2期 後	1																		兼1
	ドイツ語A-1	1期 前	1																		兼1
	ドイツ語A-2	1期 前	1																		兼1
	ドイツ語B-1	1期 後	1																		兼1
	ドイツ語B-2	1期 後	1																		兼1

M u l t i d i s c i p l i n a r	Area Studies(i)	1-2期 後	1																		兼1
	Area Studies(ii)	1-2期 後	1																		兼1
	Comprehensive English Communication (a)	1-2期 後	1																		兼1
	Technical English Communication(a)(未開講)	1-2期 後	1																		兼1
	Technical English Communication(b)(未開講)	1-2期 後	1																		兼1
	Technical English Communication(c)(未開講)	1-2期 後	1																		兼1
	Technical English Communication(d)(未開講)	1-2期 後	1																		兼1
	Technical English Communication(e)(未開講)	1-2期 後	1																		兼1
	Technical English Communication(f)(未開講)	1-2期 前	2																		兼1
	Technical English Communication(g)(未開講)	1-2期 後	1																		兼1
Technical English Communication(h)	1-2期 後	1																		兼1	
Global Career Development(a)	1-2期 後	1																		兼1	
Global Career Development(b)	1-2期 後	1																		兼1	
小計(40科目)			0	59	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	兼14
基 礎 科 目	英語A-1	1期 前	1																		兼13
	英語A-2	1期 前	1																		兼22
	英語B-1	1期 前	1																		兼19
	英語B-2	1期 前	1																		兼14
	英語C-1	2期 前	1																		兼16
	英語C-2	2期 後	1																		兼18
	英語D-1(未開講)	2期 前	1																		兼4
	英語D-2(未開講)	2期 後	1																		兼4
	ドイツ語A-1	1期 前	1																		兼5
	ドイツ語A-2	1期 前	1																		兼5





科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
応用物質化学教育プログラム専門科目	化学実験V	3後	4			2		1				
	電気化学	3前	2			1						
	分離工学	3前	2		1							
	高分子物理化学	2後	2		1							
	有機分子構造化学	2後	2	2	1							
	環境ISO	3後	1			1						
	化学物質管理学	2前	1									兼1
	応用物質化学	3前	1									兼1
	応用生命化学	3前	1									兼1
	化学コミュニケーション	4後	1			7	8		7			
卒業研究	4通	10			7	8		7				
小計(21科目)	-	48	7	0	7	8	0	7	0		兼2	
物質材料工学教育プログラム専門科目	格子欠陥学	2後	2			1						
	結晶塑性学	2後	2			1						
	物性物理学	2後	2			1						
	固体物性学	2後	2		1							
	固体内の拡散	2後	2			1						
	相変態論	2後	2		1							
	材料物理化学	2後	2			1						
	材料電気化学	2後	2			1						
	破壊工学	3前	1		1							
	塑性加工学	3後	1			1						
	電子材料工学	3前	1			1						
	機能材料学	3後	1		1							
	磁性材料工学Ⅰ	3前	1		1							
	磁性材料工学Ⅱ	3前	1		1							
	粉体加工学Ⅰ	3後	1		1							
	粉体加工学Ⅱ	3後	1		1							
	鉄鋼材料学	3前	1		1							
	非鉄金属学	3後	1			1						
	凝固工学	3後	1		1							
	鉄鋼製錬工学	3前	1		1							
	非鉄製錬工学	3前	1		1							
	腐食防食学	3後	1		1							
	セラミックス材料工学	3後	1		1							
	プログラミング演習	2前	2		1							
	機器製作実習	2前	1		1	1						
	機械設計製図演習	2後	1		1						1	
	物質材料工学実験・基礎編	3前	1		4	7		1			2	
物質材料工学実験・応用編	3後	2		4	7		1			2		
産業応用演習	3後	2		1	1					1		
物質材料工学演習	4前	2		4	7		1			2		
卒業研究	4通	10		4	7		1			2		
小計(31科目)	-	37	15	0	4	7	0	1	0	0		
合計(466科目)	-	50	466	0	11	15	0	8	0		兼491	
卒業要件及び履修方法												
①教養教育科目34単位以上、工学基礎科目、工学英語科目、COC関連科目、学科基盤科目の必修科目21単位を修得すること。												
さらに、 ②3つの専門教育プログラムのうちから選択した教育プログラムで開講されている科目の中から、 【応用生命化学教育プログラム】 応用生命化学教育プログラム専門科目の必修科目48単位と、学科基盤科目選択科目の中で当該教育プログラムが指定した選択科目13単位、およびCOC関連科目、学科基盤科目、当該教育プログラム専門科目の選択科目と合わせて73単位以上、①との合計で128単位以上。ただし、6単位を上限として応用物質化学教育プログラムの専門科目を当該教育プログラム専門科目の選択科目として認める 【応用物質化学教育プログラム】 応用物質化学教育プログラム専門科目の必修科目48単位と、学科基盤科目選択科目の中で当該教育プログラムが指定した選択科目13単位、およびCOC関連科目、学科基盤科目、当該教育プログラム専門科目の選択科目と合わせて73単位以上、①との合計で128単位以上。ただし、6単位を上限として応用生命化学教育プログラムの専門科目を当該教育プログラム専門科目の選択科目として認める 【物質材料工学教育プログラム】 物質材料工学教育プログラム専門科目の必修科目37単位と、学科基盤科目選択科目の中で当該教育プログラムが指定した選択科目18単位、およびCOC関連科目、学科基盤科目、当該教育プログラム専門科目の選択科目と合わせて69単位以上、①との合計で124単位以上を修得すること。												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
応用物質化学教育プログラム専門科目	化学実験V	3③	4			1	2					
	電気化学	3②	2			1						
	分離工学	3①	2		1							
	高分子物理化学	2④	2		1							
	有機分子構造化学	2⑤	2	2	1							
	環境ISO	3③	1			1						
	化学物質管理学	2①	1									兼1
	応用物質化学	3①	1									兼1
	応用生命化学	3②	1									兼1
	化学コミュニケーション	4③	1			8	9		6			
卒業研究	4通	10			8	9		6				
小計(21科目)	-	48	7	0	8	9	0	6	0		兼2	
物質材料工学教育プログラム専門科目	格子欠陥学	2③	2			1						
	結晶塑性学	2④	2			1						
	物性物理学	2⑤	2			1						
	固体物性学	2④	2		1							
	固体内の拡散	2③	2			1						
	相変態論	2④	2		1							
	材料物理化学	2①	2		1							
	材料電気化学	2④	2		1							
	破壊工学	3①	1		1							
	塑性加工学	3③	1			1						
	電子材料工学	3②	1			1						
	機能材料学	3④	1		1							
	磁性材料工学Ⅰ	3①	1		1							
	磁性材料工学Ⅱ	3②	1		1							
	粉体加工学Ⅰ	3③	1		1							
	粉体加工学Ⅱ	3④	1		1							
	鉄鋼材料学	3①	1		1							
	非鉄金属学	3③	1			1						
	凝固工学	3⑤	1		1							
	鉄鋼製錬工学	3①	1		1							
	非鉄製錬工学	3②	1		1							
	腐食防食学	3④	1		1							
	セラミックス材料工学	3③	1		1							
	プログラミング演習	2①	2		1							
	機器製作実習	2前	1		2	1						
	機械設計製図演習	2後	1		1						1	
	物質材料工学実験・基礎編	3前	1		6	6					2	
物質材料工学実験・応用編	3後	2		6	6					2		
産業応用演習	3③	2		1	1					1		
物質材料工学演習	4①	2		6	6					2		
卒業研究	4通	10		6	6					2		
小計(31科目)	-	37	15	0	6	6	0	2	0	0		
合計(108科目)	-	52	660	0	14	14	0	8	0		兼424	
卒業要件及び履修方法												
①教養教育科目32単位以上、工学基礎科目、工学英語科目、COC関連科目、学科基盤科目の必修科目23単位を修得すること。												
さらに、 ②3つの専門教育プログラムのうちから選択した教育プログラムで開講されている科目の中から、 【応用生命化学教育プログラム】 応用生命化学教育プログラム専門科目の必修科目48単位と、学科基盤科目選択科目の中で当該教育プログラムが指定した選択科目13単位、およびCOC関連科目、学科基盤科目、当該教育プログラム専門科目の選択科目と合わせて73単位以上、①との合計で128単位以上。ただし、6単位を上限として応用物質化学教育プログラムの専門科目を当該教育プログラム専門科目の選択科目として認める 【応用物質化学教育プログラム】 応用物質化学教育プログラム専門科目の必修科目48単位と、学科基盤科目選択科目の中で当該教育プログラムが指定した選択科目13単位、およびCOC関連科目、学科基盤科目、当該教育プログラム専門科目の選択科目と合わせて73単位以上、①との合計で128単位以上。ただし、6単位を上限として応用生命化学教育プログラムの専門科目を当該教育プログラム専門科目の選択科目として認める 【物質材料工学教育プログラム】 物質材料工学教育プログラム専門科目の必修科目37単位と、学科基盤科目選択科目の中で当該教育プログラムが指定した選択科目18単位、およびCOC関連科目、学科基盤科目、当該教育プログラム専門科目の選択科目と合わせて69単位以上、①との合計で124単位以上を修得すること。												

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
リベラルアーツ科目	文系のための数学入門(A)	1・2後		2			1					兼1
	文系のための数学入門(C)	2後		2								兼1
	数学の世界(a)	1・2②		1			1					兼1
	数学の世界(b)	1・2③		1								兼1
	物理学入門(A)(未開講)	1・2後		2								兼2
	物理学入門(B)	1・2①		2								兼1
	物理学入門(a)	1・2③		1								兼1
	物理学入門(b)	1・2④		1								兼1
	物理学入門(c)	1・2③		1								兼1
	物理学入門(d)	1・2④		1								兼1
	物理学入門(e)	1・2③		1								兼1
	物理学入門(f)	1・2④		1								兼1
	物理学入門(g)	1・2①		1								兼1
	物理学入門(h)	1・2②		1								兼1
	物理学入門(i)(未開講)	1・2後		1								兼1
	物理学入門(j)	1・2④		1								兼1
	教養の化学(A)	1・2前		2								兼1
	教養の化学(B)	1・2①		2								兼1
	教養の化学(a)	1・2①		1								兼1
	教養の化学(b)	1・2②		1								兼1
	生物の世界(A)	1・2後		2								兼1
	生物の世界(B)	1・2③		2								兼1
	生物の世界(C)	1・2後		2								兼1
	生物の世界(D)	1・2③		2								兼1
	生物の世界(a)	1・2②		1								兼1
	生物の世界(b)	1・2③		1								兼1
	生物の世界(c)	1・2②		1								兼1
	生物の世界(d)	1・2①		1								兼1
	生物の世界(e)	1・2②		1								兼1
	生物の世界(f)	1・2①		1								兼1
	生物の世界(g)	1・2②		1								兼1
	生物の世界(h)	1・2③		1								兼1
	地球環境の現状と人類(A)(未開講)	1・2前		2								兼1
	地球環境の現状と人類(a)	1・2①		1								兼1
	地球環境の現状と人類(b)	1・2②		1								兼1
	持続可能な都市と地域づくり(A)	1・2前		2								兼1
	持続可能な都市と地域づくり(B)	1・2後		2								兼4
	豊かさを持続させるものづくり(A)	1・2②		2								兼1
	豊かさを持続させるものづくり(B)	1・2①		2								兼1
	豊かさを持続させるものづくり(C)	1・2③		2								兼1
	日々の生活に垣間見る情報と通信(A)	1・2②		2								兼1
	日々の生活に垣間見る情報と通信(B)	1・2①		2								兼1
	倫理学入門(A)	1・2後		2								兼1
	倫理学入門(B)(未開講)	1・2後		2								兼1
	倫理学入門(C)	1・2後		2								兼1
	倫理学入門(a)	1・2②		1								兼1
	倫理学入門(b)	1・2④		1								兼1
	倫理学入門(c)	1・2①		1								兼1
	倫理学入門(d)	1・2②		1								兼1
	倫理学入門(e)	1・2①		1								兼1
倫理学入門(f)	1・2②		1								兼1	
倫理学入門(g)	1・2①		1								兼1	
倫理学入門(h)	1・2②		1								兼1	
心と世界(A)	1・2後		2								兼1	
心と世界(B)(未開講)	1・2前		2								兼1	
思考と論理(A)	1・2後		2								兼1	
思考と論理(B)(未開講)	1・2前		2								兼1	
現代心理行動学(a)(未開講)	1・2前		1								兼1	
現代心理行動学(b)(未開講)	1・2後		1								兼1	
現代心理行動学(c)	1・2④		1								兼1	
現代心理行動学(d)	1・2③		1								兼1	
現代心理行動学(e)	1・2④		1			1					兼1	
こころの科学(A)	1・2後		2								兼1	
芸術文化論(A)	1・2前		2								兼1	
芸術文化論(B)	1・2後		2								兼1	
言語の諸相(a)	1・2①		1								兼1	
言語の諸相(b)	1・2②		1								兼1	
言語の諸相(c)	1・2③		1								兼1	
言語の諸相(d)	1・2④		1								兼1	
文学の諸相(a)	1・2③		1								兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
リベラルアーツ科目	文学の諸相(b)	1・2④		1								兼1
	文学の諸相(c)(未開講)	1・2前		1								兼1
	文学の諸相(d)(未開講)	1・2前		1								兼1
	モノが語る歴史(a)(未開講)	1・2前		1								兼1
	モノが語る歴史(b)(未開講)	1・2前		1								兼1
	モノが語る歴史(c)(未開講)	1・2後		1								兼1
	モノが語る歴史(d)(未開講)	1・2後		1								兼1
	モノが語る歴史(e)	1・2③		1								兼1
	モノが語る歴史(f)	1・2④		1								兼1
	地域の世界史(a)	1・2①		1								兼1
	地域の世界史(b)	1・2②		1								兼1
	地域の世界史(c)	1・2①		1								兼1
	地域の世界史(d)(未開講)	1・2前		1								兼1
	地域の世界史(e)	1・2①		1								兼1
	地域の世界史(f)(未開講)	1・2後		1								兼1
	地域の世界史(g)	1・2①		1								兼1
	地域の世界史(h)(未開講)	1・2前		1								兼1
	地域の世界史(i)	1・2②		1								兼1
	日本社会の歴史(a)	1・2④		1								兼1
	日本社会の歴史(b)	1・2④		1								兼1
	日本社会の歴史(c)	1・2②		1								兼1
	日本社会の歴史(d)	1・2③		1								兼1
	日本社会の歴史(e)	1・2②		1								兼1
	日本社会の歴史(f)	1・2①		1								兼1
	法学の基礎(A)	1・2後		2								兼1
	法学の基礎(B)(未開講)	1・2後		2								兼1
	法学の基礎(C)	1・2前		2								兼1
	法学の基礎(D)	1・2前		2								兼1
	法学の基礎(E)	1・2前		2								兼1
	法学の基礎(F)	1・2前		2								兼1
	現代経済問題の諸相(a)(未開講)	1・2前		1								兼1
	現代政治の諸相(a)(未開講)	1・2前		1								兼1
	現代政治の諸相(b)	1・2②		1								兼2
	現代政治の諸相(c)	1・2①		1								兼2
	現代政治の諸相(d)	1・2③		1								兼2
	現代政治の諸相(e)	1・2④		1								兼2
	現代政治の諸相(f)	1・2③		1								兼1
	最前線の社会文化研究(A)	1・2前		2								兼2
	最前線の社会文化研究(B)	1・2前		2								兼1
	最前線の社会文化研究(C)	1・2前		2								兼1
	最前線の社会文化研究(a)(未開講)	1・2前		1								兼1
	最前線の社会文化研究(b)(未開講)	1・2前		1								兼1
	最前線の社会文化研究(c)	1・2①		1								兼1
	最前線の社会文化研究(d)	1・2②		1								兼1
	最前線の社会文化研究(e)	1・2③		1								兼1
	最前線の社会文化研究(f)	1・2④		1								兼1
	最前線の社会文化研究(g)	1・2①		1								兼1
	最前線の社会文化研究(h)(未開講)	1・2前		1								兼1
	現代社会の解読(a)	1・2③		1								兼1
	現代社会の解読(b)(未開講)	1・2後		1								兼1
現代社会の解読(c)	1・2①		1								兼1	
現代社会の解読(d)	1・2②		1								兼1	
現代社会の解読(e)	1・2④		1								兼1	
自然と人間の地理学(A)(未開講)	1・2前		2								兼1	
自然と人間の地理学(B)(未開講)	1・2前		2								兼1	
自然と人間の地理学(C)(未開講)	1・2前		2								兼1	
自然と人間の地理学(a)	1・2①		1								兼1	
自然と人間の地理学(b)	1・2②		1								兼1	
自然と人間の地理学(c)	1・2①		1								兼1	
小計(129科目)		—	0	169	0	0	3	0	0	0	兼90	
現代教養科目	数学と文化(a)(未開講)	1・2前		1							兼1	
	数学と文化(b)(未開講)	1・2前		1							兼1	
	数学と文化(c)	1・2③		1							兼1	
	数学と文化(d)	1・2④		1							兼1	
	物理学の世界(A)	1・2④		2							兼1	
	物理学の世界(a)	1・2④		1							兼1	
	暮らしと化学(A)	1・2後		2							兼1	
	暮らしと化学(B)	1・2④		2							兼1	
暮らしと化学(C)	1・2④		2							兼1		
暮らしと化学(D)	1・2前		2							兼1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
現代 教養 科目	暮らしと化学(E)	1・2後		2								兼1
	暮らしと化学(F)	1・2後		2								兼1
	暮らしと化学(G)	1・2前		2								兼1
	暮らしと化学(a)(未開講)	1・2前		1								兼1
	暮らしと化学(b)(未開講)	1・2前		1								兼1
	化学と環境(A)(未開講)	1・2後		2								兼1
	化学と環境(B)(未開講)	1・2前		2								兼1
	化学と環境(C)(未開講)	1・2後		2								兼1
	化学と環境(a)	1・2後		1								兼1
	化学と環境(b)	1・2後		1								兼1
	最先端の生命科学(A)(未開講)	1・2後		2								兼5
	最先端の生命科学(a)	1・2③		1								兼1
	最先端の生命科学(b)	1・2④		1								兼1
	最先端の生命科学(c)	1・2③		1								兼2
	最先端の生命科学(d)	1・2②		1								兼1
	最先端の生命科学(e)	1・2②		1								兼2
	最先端の生命科学(f)	1・2②		1								兼1
	地球環境科学の最前線(A)	1・2②		2								兼1
	地球環境科学の最前線(a)	1・2③		1								兼1
	地球環境科学の最前線(b)	1・2④		1								兼1
	地球環境科学の最前線(c)	1・2③		1								兼2
	地球環境科学の最前線(d)	1・2④		1								兼2
	地球環境科学の最前線(e)	1・2③		1								兼1
	地球環境科学の最前線(f)	1・2④		1								兼1
	地球環境科学の最前線(g)	1・2①		1								兼4
	地球環境科学の最前線(h)	1・2②		1								兼4
	地域づくりと科学技術(A)	1・2②		2								兼5
	地域づくりと科学技術(B)	1・2①		2								兼6
	地域づくりと科学技術(C)	1・2後		2								兼1
	地域づくりと科学技術(D)	1・2③		2								兼1
	地域づくりと科学技術(E)	1・2②		2								兼1
	地域づくりと科学技術(F)	1・2前		2								兼6
	ものづくりの科学と技術(A)	1・2①		2								兼1
	ものづくりの科学と技術(B)	1・2②		2								兼1
	ものづくりの科学と技術(C)	1・2②		2								兼1
	ものづくりの科学と技術(D)	1・2②		2								兼2
	ものづくりの科学と技術(E)	1・2②		2								兼2
	ものづくりの科学と技術(F)	1・2③		2								兼2
	ものづくりの科学と技術(G)	1・2②		2								兼3
	ものづくりの科学と技術(H)	1・2③		2								兼6
	暮らしと情報・通信技術(a)	1・2③		1								兼7
	暮らしと情報・通信技術(b)	1・2④		1								兼6
	暮らしと情報・通信技術(c)	1・2③		1								兼4
	健康の科学(A)(未開講)	1・2前		2								兼1
	健康の科学(B)	1・2後		2								兼7
	健康の科学(G)	1・2後		2								兼7
	健康の科学(a)	1・2①		1								兼1
	健康の科学(b)	1・2②		1								兼1
	病気の医科学(A)(未開講)	1・2前		2								兼10
	病気の医科学(B)	1・2後		2								兼1
病気の医科学(G)	1・2後		2								兼1	
臨床医学の最前線(A)(未開講)	1・2前		2								兼1	
臨床医学の最前線(B)	1・2後		2								兼1	
現代社会と医学(A)	1・2後		2								兼1	
現代社会と医学(B)	1・2前		2								兼6	
現代社会と医学(C)	1・2後		2								兼1	
心身の健康と看護(A)(未開講)	1・2前		2								兼2	
心身の健康と看護(B)(未開講)	1・2前		2								兼2	
心身の健康と看護(C)(未開講)	1・2後		2								兼1	
心身の健康と看護(D)	1・2①		2								兼2	
心身の健康と看護(E)	1・2前		2								兼2	
医療における理工学(a)	1・2①		1								兼1	
医療における理工学(b)	1・2②		1								兼1	
医療における理工学(c)	1・2③		1								兼1	
医療における理工学(d)	1・2④		1								兼1	
医療における理工学(e)	1・2④		1								兼3	
現代の医学検査(a)	1・2①		1								兼1	
現代の医学検査(b)	1・2②		1								兼2	
現代医療と生命科学(a)	1・2②		1								兼1	
現代医療と生命科学(b)	1・2②		1								兼1	



科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
現代教養科目	現代医療と生命科学(a)	1・2④	1								兼2
	薬科学入門(A)	1・2②	2								兼6
	薬科学入門(B)(未開講)	1・2前	2								兼7
	薬科学入門(a)	1・2①	1								兼1
	薬科学入門(b)	1・2②	1								兼1
	現代社会と薬学(A)(未開講)	1・2前	2								兼5
	現代教育について考える(A)	1・2前	2								兼1
	現代教育について考える(B)(未開講)	1・2後	2								兼4
	現代教育について考える(C)(未開講)	1・2後	2								兼3
	現代教育について考える(D)	1・2前	2								兼3
	現代教育について考える(E)	1・2後	2								兼1
	現代教育について考える(a)	1・2③	1								兼1
	現代教育について考える(b)	1・2④	1								兼1
	現代教育について考える(c)	1・2③	1								兼3
	現代教育について考える(d)	1・2④	1								兼3
	心理学の探求(A)	1・2後	2								兼1
	心理学の探求(B)	1・2前	2								兼1
	芸術への招待(A)	1・2前	2								兼1
	芸術への招待(B)	1・2後	2								兼4
	芸術への招待(C)	1・2後	2								兼1
	現代と言語(a)	1・2③	1								兼1
	現代と言語(b)	1・2④	1								兼1
	現代と文学(a)	1・2④	1								兼1
	現代と文学(c)(未開講)	1・2前	1								兼1
	現代と文学(d)(未開講)	1・2前	1								兼1
	現代と文学(e)	1・2①	1								兼1
	現代と文学(f)	1・2②	1								兼1
	現代世界の形成と課題(a)	1・2④	1								兼1
	現代世界の形成と課題(b)	1・2③	1								兼5
	現代世界の形成と課題(c)	1・2④	1								兼1
	暮らしの中の憲法	2前-後	2								兼3
	最先端の法学(A)(未開講)	1・2前	2								兼1
	現代社会と経済(A)	1・2後	2								兼1
	現代社会と経済(a)	1・2③	1								兼1
	現代社会と経済(b)	1・2④	1								兼1
	現代社会と経済(c)(未開講)	1・2前	1								兼1
	現代社会と経済(d)(未開講)	1・2後	1								兼1
	現代社会と経済(e)(未開講)	1・2後	1								兼1
	現代の政治(a)	1・2③	1								兼1
	現代の政治(b)	1・2②	1								兼1
学際科目1	1・2前-後	1								兼2	
学際科目2	1・2②	1								兼1	
学際科目3	1・2③	1								兼2	
日本事情(C)(未開講)	1・2前	2								兼5	
日本事情(D)(未開講)	1・2後	2								兼4	
小計(125科目)	—	0	186	0	0	0	0	0	0	0	兼130
M u l t i d i s c i p l i n a r y  S t u d i e s	Introduction to Science and Technology 1(a)(未開講)	1・2前	1								兼1
	Introduction to Science and Technology 1(b)	1・2③	1								兼1
	Introduction to Science and Technology 1(c)	1・2④	1								兼1
	Introduction to Science and Technology 1(d)	1・2④	1								兼1
	Introduction to Science and Technology 1(e)	1・2④	1								兼1
	Introduction to Science and Technology 2(a)(未開講)	1・2前-後	1								兼1
	Introduction to Science and Technology 2(b)	1・2③	1								兼1
	Introduction to Science and Technology 2(c)	1・2③	1								兼1
	Socio-Cultural Studies(A)	1・2前-後	2								兼1
	Socio-Cultural Studies(D)	1・2前-後	2								兼1
	Socio-Cultural Studies(b)	1・2④	1								兼1
	Socio-Cultural Studies(c)	1・2④	1								兼1
	Socio-Cultural Studies(d)	1・2④	1								兼1
	Statistics(a)	1・2前-後	1								兼1
	Basic Economics(a)	1・2前-後	1								兼1
	Basic Economics(b)(未開講)	1・2後	1								兼1
	Visual Media(A)	1・2前-後	2								兼1
	Music and Humanity(a)(未開講)	1・2前	1								兼1
	World History(a)	1・2④	1								兼1
	World History(b)	1・2④	1								兼1
World History(c)	1・2④	1								兼1	
Academic Foundations(a)	1・2前-後	1								兼2	
Area Studies(a)	1・2④	1								兼1	
Area Studies(b)	1・2④	1								兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
M u l t i d i s c i p l i n a r y  S t u d i e s	Area Studies(c)(未開講)	1・2前	1									兼1
	Area Studies(d)(未開講)	1・2前	1									兼1
	Area Studies(E)(未開講)	1・2前・後	1									兼3
	Area Studies(e)	1・2前・後	1									兼1
	Area Studies(f)	1・2前・後	1									兼1
	Area Studies(g)	1・2前・後	1									兼1
	Area Studies(h)	1・2前・後	1									兼1
	Comprehensive English Communication (a)	1・2前・後	1									兼1
	Technical English Communication(a)	1・2前・後	1									兼1
	Technical English Communication(b)	1・2前	1									兼1
	Technical English Communication(c)(未開講)	1・2前・後	1									兼1
	Technical English Communication(d)(未開講)	1・2前・後	1									兼1
	Technical English Communication(e)	1・2前	2									兼1
	Technical English Communication(f)	1・2前	1									兼1
	Technical English Communication(g)	1・2前	1									兼1
	Technical English Communication(h)	1・2前	1									兼1
Global Career Development(a)	1・2前・後	1									兼2	
Global Career Development(b)	1・2前	1									兼2	
小計(43科目)		—	0	47	0	0	0	0	0	0	0	兼14
基 礎 科 目	英語A-1	1前・後	1									兼18
	英語A-2	1前・後	1			1	1					兼20
	英語B-1	1前・後	1			1	1					兼22
	英語B-2	1前・後	1			1	1					兼13
	英語C-1	2前	1			1						兼18
	英語C-2	2後	1				1					兼18
	英語D-1	2前	1									兼4
	英語D-2	2後	1									兼4
	ドイツ語A-1	1前	1									兼5
	ドイツ語A-2	1後	1									兼5
	ドイツ語B-1	1前	1									兼4
	ドイツ語B-2	1後	1									兼4
	ドイツ語C-1	2前	1									兼5
	ドイツ語C-2	2後	1									兼5
	ドイツ語D-1	2前	1									兼1
	ドイツ語D-2	2後	1									兼1
	ドイツ語a-1	1前	1									兼2
	ドイツ語a-2	1後	1									兼2
	フランス語A-1	1前	1									兼3
	フランス語A-2	1後	1									兼3
	フランス語B-1	1前	1									兼4
	フランス語B-2	1後	1									兼4
	フランス語C-1	2前	1									兼4
	フランス語C-2	2後	1									兼4
	フランス語D-1	2前	1									兼1
	フランス語D-2	2後	1									兼1
	フランス語a-1	1前	1									兼6
	フランス語a-2	1後	1									兼6
	中国語A-1	1前	1									兼7
	中国語A-2	1後	1									兼7
	中国語B-1	1前	1									兼7
	中国語B-2	1後	1									兼7
	中国語C-1	2前	1									兼4
	中国語C-2	2後	1									兼4
	中国語D-1	2前	1									兼1
	中国語D-2	2後	1									兼1
	中国語a-1	1前	1									兼2
	中国語a-2	1後	1									兼2
	ロシア語A-1	1前	1									兼4
	ロシア語A-2	1後	1									兼4
	ロシア語B-1	1前	1									兼3
	ロシア語B-2	1後	1									兼3
ロシア語C-1	2前	1									兼2	
ロシア語C-2	2後	1									兼2	
ロシア語D-1	2前	1									兼1	
ロシア語D-2	2後	1									兼1	
ロシア語a-1(未開講)	1前	1									兼1	
ロシア語a-2(未開講)	1後	1									兼1	
日本語A-1	1・2前	1									兼2	
日本語A-2	1・2前・後	1									兼3	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
基礎科目	日本語B-1	1・2前	1								兼2
	日本語B-2	1・2後	1								兼2
	日本語C-1	1・2前	1								兼1
	日本語C-2	1・2前・後	1								兼3
	日本語D-1	1・2前	1								兼2
	日本語D-2	1・2後	1								兼2
	英語 I-1	1前	1								兼4
	英語 I-2	1後	1								兼1
	英語 II-1(未開講)	2前	1								兼1
	ドイツ語 I-1	1前	1								兼2
	ドイツ語 I-2	1後	1								兼2
	ドイツ語 II-1	2前	1								兼1
	ドイツ語 II-2	2後	1								兼1
	ドイツ語 III-1(未開講)	2前	1								兼1
	ドイツ語 III-2(未開講)	2後	1								兼1
	フランス語 I-1	1前	1								兼2
	フランス語 I-2	1後	1								兼2
	フランス語 II-1(未開講)	1・2前	1								兼1
	フランス語 II-2(未開講)	1・2後	1								兼1
	フランス語 III-1	2前	1								兼1
	フランス語 III-2	2後	1								兼1
	中国語 I-1	1前	1								兼2
	中国語 I-2	1後	1								兼2
	中国語 II-1(未開講)	2前	1								兼1
	中国語 II-2(未開講)	2後	1								兼1
	中国語 III-1(未開講)	2前	1								兼1
	中国語 III-2(未開講)	2後	1								兼1
	ロシア語 I-1	1前	1								兼2
	ロシア語 I-2	1後	1								兼2
	ロシア語 II-1	2前	1								兼1
	ロシア語 II-2	2後	1								兼1
	ロシア語 III-1(未開講)	2前	1								兼1
	ロシア語 III-2(未開講)	2後	1								兼1
	ロシア語 I-1	1前	1								兼1
	ロシア語 I-2	1後	1								兼1
	ロシア語 II-1(未開講)	2前	1								兼1
	ロシア語 II-2(未開講)	2後	1								兼1
	スペイン語 I-1	1前	1								兼1
	スペイン語 I-2	1後	1								兼1
	スペイン語 II-1	2前	1								兼1
	スペイン語 II-2	2後	1								兼1
	イタリア語 I-1	1前	1								兼1
	イタリア語 I-2	1後	1								兼1
	ラテン語 I-1	1前	1								兼1
	ラテン語 I-2	1後	1								兼1
	日本語 I-1(未開講)	2前	1								兼1
	日本語 I-2	1・2前・後	1								兼2
	日本語 II-1(未開講)	2前	1								兼1
日本語 II-2	1・2前・後	1								兼2	
日本語 III-1	1・2前	1								兼3	
日本語 III-2	1・2前・後	1								兼3	
日本語 IV-1	1前	1								兼1	
日本語 IV-2	1・2前・後	1								兼3	
情報科目	情報基礎A	1前	1								兼10
	情報基礎B	1後	1								兼10
	情報処理概論	2後	1								兼3
肥後熊本学	1	1									兼13
理系基礎科目	微積分I	1前	2			1					兼10
	微積分II	1後	2			1					兼3
	微積分概論(未開講)	1前	2								兼1
	線形代数I	1後	2								兼12
	線形代数II	1後	2								兼11
	線形代数概論(未開講)	1後	2								兼1
	数学概論	1前	2								兼2
	統計学I	2前	2								兼3
	統計学II	2後	2								兼2
	統計学概論	1後	2								兼1
	物理学I	1前	2								兼3
	物理学II	1後	2								兼4
物理学	1前	2								兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎科目	物理学基礎実験	→→→→	1									兼4
	化学I	1前	2									兼2
	化学II	1後	2									兼3
	化学基礎実験	→→→→	1									兼5
	生物学I	1前	2									兼2
	生物学II	1後	2									兼2
	生物学基礎実験	→→→→	1									兼2
	地学I	1前	2									兼2
	地学II	1後	2									兼2
	地学基礎実験	→→→→	1									兼1
体育・スポーツ科学	1前・後		2									兼10
小計(131科目)	—	20	131	0	4	6	0	0	0			兼185
キャリア科目	キャリア科目1	1・2前	2			1						兼1
	キャリア科目2	1・2後	2			1						
	キャリア科目3	1・2後	2									兼7
	キャリア科目4(未開講)	1・2後	2									兼1
	キャリア科目5	1・2後	2									兼3
	キャリア科目6	1・2前	2									兼3
	キャリア科目7	1・2後	2									兼3
	キャリア科目8(未開講)	1・2前	2									兼1
	キャリア科目9	1・2前	2									兼9
	キャリア科目10	1・2後	2									兼1
	キャリア科目11	1・2前	2									兼1
	キャリア科目12	1・2後	2									兼1
	キャリア科目13	1・2前	2									兼1
	キャリア科目14	1・2後	2									兼1
	キャリア科目51	1・2前	1				1					
	キャリア科目52	1・2④	1									兼2
	キャリア科目53	1・2前	1									兼2
	キャリア科目54	1・2②	1									兼7
	キャリア科目55	1・2③	1									兼1
	キャリア科目56	1・2②	1									兼1
	キャリア科目57	1・2③	1									兼1
	キャリア科目58(未開講)	1・2前	1									兼1
	キャリア科目59	1・2②	1									兼2
	キャリア科目60	1・2③	1									兼1
小計(24科目)	—	0	38	0	2	1	0	0	0			兼27
開放科目	開放科目1	1・2前	2									兼1
	開放科目2(未開講)	1・2前	2									兼1
	開放科目3(未開講)	1・2後	2									兼1
	開放科目4	1・2後	2									兼1
	開放科目5(未開講)	1・2前	2									兼1
	開放科目6(未開講)	1・2後	2									兼1
	開放科目7(未開講)	1・2前	1									兼1
	開放科目8	1・2前	2									兼1
	開放科目9	1・2後	1									兼1
	開放科目10	1・2前	1									兼1
	開放科目11	1・2後	2									兼1
	開放科目12	1・2後	2									兼1
	開放科目13	1・2前	1									兼1
	開放科目14	1・2後	1									兼1
	開放科目15	1・2後	2									兼1
	開放科目16	1・2後	2									兼1
小計(16科目)	—	0	27	0	0	0	0	0	0			兼14

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
工学基礎科目	物理・化学Ⅰ	1①	2			2						
	物理・化学Ⅱ	1②	2			2						
	工学基礎実験	1前	1			5	13		1			
	数学演習Ⅰ	1①	1			1			6			
	数学演習Ⅱ	1②	1				2					
	小計(5科目)	-	7	0	0	6	13	0	7	0	0	
工学英語科目	工学英語Ⅰ	2前	1									兼1
	工学英語Ⅱ	2後	1									兼1
	工学英語Ⅲ	3前	1									兼2
	工学英語Ⅳ	3後	1									兼2
	小計(2科目)	-	4	0	0	0	0	0	0	0	0	兼2
科 関 目 連 C O C	社会と企業	1後	2			1	1					
	インターンシップ	3②	2	2		1			2			
	小計(2科目)	-	2	2	0	2	1	0	2	0	0	
学 科 基 礎 科 目	物質材料工学基礎	1④	2			2						
	無機化学基礎	1④	2			1						
	有機化学基礎	1③	2				1					
	物理学基礎	1③	2				2					
	生化学Ⅰ	2①		2		1						
	無機化学Ⅰ	2①		2			1					
	有機化学Ⅰ	2①		2			1					
	環境調和化学	2①		1								兼1
	高分子化学	2②		2		1						
	分析化学Ⅰ	2②		2		1						
	物理化学Ⅰ	2②		2		1						
	物性物理学基礎	2①		2		1						
	結晶学	2①		2		1						
	結晶回折学	2②		2		1						
	材料力学	2②		2		1						
	移動速度論	2②		2			1					
	状態図と熱力学	2③		2		1						
	工学数学Ⅰ	2①		2								兼1
	工学数学Ⅱ	2②		2								兼1
	知的財産権	4前		2								兼1
プロダクトデザイン演習Ⅰ	3前		2								兼1	
プロダクトデザイン演習Ⅱ	3後		2								兼1	
工学倫理	3後	2									兼1	
安全工学	3前		2								兼1	
	小計(24科目)	-	10	37	0	10	6	0	0	0	0	兼7
プ ロ グ ラ ム 応 用 生 命 化 学 専 門 科 目	物理化学Ⅱ	2④	2			1						
	分析化学Ⅱ	3①	2			1						
	反応工学	2③	2			1						
	無機化学Ⅱ	3③	2			1						
	有機化学Ⅱ	3②	2			1						
	量子化学	3③	2				1					
	化学実験Ⅰ	2③	4				1		2			
	化学実験Ⅱ	2④	4				2		1			
	化学実験Ⅲ	3①	4				1		2			
	化学実験Ⅳ	3②	4				2		1			
	化学実験Ⅴ	3③	4			1	2					
	有機分子構造化学	2③	2			1						
	生化学Ⅱ	3④	2			1						
	バイオテクノロジー	3④	2				1					
	電気化学	3②		2			1					
	環境ISO	3③		1			1					
	化学物質管理学	2①		1								兼1
応用生命化学	3②		1								兼1	
応用物質化学	3①		1								兼1	
化学コミュニケーション	4③		1			8	8		6			
卒業研究	4通	10				8	8		6			
	小計(21科目)	-	48	7	0	8	8	0	6	0	0	兼2
応 用 物 質 化 学 教 育 プ ロ グ ラ ム 専 門 科 目	物理化学Ⅱ	2④	2			1						
	分析化学Ⅱ	3①	2			1						
	反応工学	2③	2			1						
	無機化学Ⅱ	3③	2			1						
	有機化学Ⅱ	3②	2			1						
	量子化学	3③	2				1					
	化学実験Ⅰ	2③	4				1		2			
	化学実験Ⅱ	2④	4				2		1			
	化学実験Ⅲ	3①	4				1		2			
	化学実験Ⅳ	3②	4				2		1			
化学実験Ⅴ	3③	4			1	2						
電気化学	3②	2				1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
応用物質化学教育プログラム専門科目	分離工学	3①	2			1						
	高分子物理化学	2④	2			1						
	有機分子構造化学	2③		2		1						
	環境ISO	3③	1				1					
	化学物質管理学	2①	1									兼1
	応用物質化学	3①	1									兼1
	応用生命化学	3②	1									兼1
	化学コミュニケーション	4③	1			8	8			6		
	卒業研究	4通	10			8	8			6		
小計(21科目)	-	48	7	0	8	8	0	6	0		兼2	
物質材料工学教育プログラム専門科目	格子欠陥学	2③	2			1						
	結晶塑性学	2④	2			1						
	物性物理学	2⑤	2				1					
	固体物性学	2④	2			1						
	固体内の拡散	2③	2				1					
	相変態論	2④	2			1						
	材料物理化学	2①	2				1					
	材料電気化学	2④	2				1					
	破壊工学	3①		1		1						
	塑性加工学	3③		1			1					
	電子材料工学	3②		1			1					
	機能材料学	3④		1		1						
	磁性材料工学 I	3①		1		1						
	磁性材料工学 II	3②		1		1						
	粉体加工学 I	3③		1		1						
	粉体加工学 II	3④		1		1						
	鉄鋼材料学	3①		1		1						
	非鉄金属学	3③		1			1					
	凝固工学	3③		1			1					
	鉄鋼製錬工学	3①		1			1					
	非鉄製錬工学	3②		1			1					
	腐食防食学	3④		1			1					
	セラミックス材料工学	3③		1		1						
	プログラミング演習	2①	2			1						
	機器製作実習	2前	1			1	1					
	機械設計製図演習	2後	1			1			1			
	物質材料工学実験・基礎編	3前	1			5	6			1		
物質材料工学実験・応用編	3後	2			5	6			1			
産業応用演習	3③	2			1				1			
物質材料工学演習	4①	2			5	6			1			
卒業研究	4通	10			5	6			1			
小計(31科目)	-	35	15	0	5	6	0	1	0	0		
合計(574科目)	-	66	613	0	13	14	0	7	0	0	兼426	

卒業要件及び履修方法

①教養教育科目32単位以上、工学基礎科目、工学英語科目、COC関連科目、学科基盤科目の必修科目23単位を修得すること。

さらに、

②3つの専門教育プログラムのうちから選択した教育プログラムで開講されている科目の中から、  
 【応用生命化学教育プログラム】 応用生命化学教育プログラム専門科目の必修科目48単位と、学科基盤科目選択科目の中で当該教育プログラムが指定した選択科目13単位、およびCOC関連科目、学科基盤科目、当該教育プログラム専門科目の選択科目と合わせて73単位以上、①との合計で128単位以上。ただし、6単位を上限として応用物質化学教育プログラムの専門科目を当該教育プログラム専門科目の選択科目として認める

【応用物質化学教育プログラム】 応用物質化学教育プログラム専門科目の必修科目48単位と、学科基盤科目選択科目の中で当該教育プログラムが指定した選択科目13単位、およびCOC関連科目、学科基盤科目、当該教育プログラム専門科目の選択科目と合わせて73単位以上、①との合計で128単位以上。ただし、6単位を上限として応用生命化学教育プログラムの専門科目を当該教育プログラム専門科目の選択科目として認める

【物質材料工学教育プログラム】 物質材料工学教育プログラム専門科目の必修科目37単位と、学科基盤科目選択科目の中で当該教育プログラムが指定した選択科目18単位、およびCOC関連科目、学科基盤科目、当該教育プログラム専門科目の選択科目と合わせて69単位以上、①との合計で124単位以上を修得すること。

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
  - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**赤字**としてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
  - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
  - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・教育上の効果を高めるため、「文系のための数学入門(C)」を新設。
  - ・教育上の効果を高めるため、「物理学入門(B)」を新設。
  - ・教育上の効果を高めるため、「生物の世界(h)」を新設。
  - ・教育上の効果を高めるため、「地球環境の現状と人類(a)」を新設。
  - ・教育上の効果を高めるため、「地球環境の現状と人類(b)」を新設。
  - ・教育上の効果を高めるため、「倫理学入門(C)」を新設。
  - ・教育上の効果を高めるため、「倫理学入門(g)」を新設。
  - ・教育上の効果を高めるため、「倫理学入門(h)」を新設。
  - ・教育上の効果を高めるため、「心と世界(A)」を新設。
  - ・教育上の効果を高めるため、「現代心理行動学(c)」を新設。
  - ・教育上の効果を高めるため、「現代心理行動学(d)」を新設。
  - ・教育上の効果を高めるため、「現代心理行動学(e)」を新設。
  - ・教育上の効果を高めるため、「芸術文化論(B)」を新設。
  - ・教育上の効果を高めるため、「モノが語る歴史(e)」を新設。
  - ・教育上の効果を高めるため、「モノが語る歴史(f)」を新設。
- 
- ・教育上の効果を高めるため、「地域の世界史(i)」を新設。
  - ・教育上の効果を高めるため、「日本社会の歴史(e)」を新設。
  - ・教育上の効果を高めるため、「日本社会の歴史(f)」を新設。
  - ・教育上の効果を高めるため、「法学の基礎(D)」を新設。
  - ・教育上の効果を高めるため、「法学の基礎(E)」を新設。
  - ・教育上の効果を高めるため、「法学の基礎(F)」を新設。
  - ・教育上の効果を高めるため、「現代政治の諸相(g)」を新設。
  - ・教育上の効果を高めるため、「最前線の社会文化研究(B)」を新設。
  - ・教育上の効果を高めるため、「現代社会の解説(e)」を新設。
  - ・教育上の効果を高めるため、「自然と人間の地理学(a)」を新設。
  - ・教育上の効果を高めるため、「自然と人間の地理学(b)」を新設。
  - ・教育上の効果を高めるため、「自然と人間の地理学(c)」を新設。
  - ・教育上の効果を高めるため、「数学と文化(c)」を新設。
  - ・教育上の効果を高めるため、「数学と文化(d)」を新設。
  - ・教育上の効果を高めるため、「物理学の世界(A)」を新設。
- 
- ・教育上の効果を高めるため、「暮らしと化学(E)」を新設。
  - ・教育上の効果を高めるため、「暮らしと化学(F)」を新設。
  - ・教育上の効果を高めるため、「暮らしと化学(G)」を新設。
  - ・教育上の効果を高めるため、「化学と環境(a)」を新設。
  - ・教育上の効果を高めるため、「化学と環境(b)」を新設。
  - ・教育上の効果を高めるため、「最先端の生命科学(e)」を新設。
  - ・教育上の効果を高めるため、「最先端の生命科学(f)」を新設。
  - ・教育上の効果を高めるため、「健康の科学(C)」を新設。
  - ・教育上の効果を高めるため、「病気の医科学(C)」を新設。
  - ・教育上の効果を高めるため、「臨床医学の最前線(B)」を新設。
  - ・教育上の効果を高めるため、「現代社会と医学(C)」を新設。
  - ・教育上の効果を高めるため、「心身の健康と看護(D)」を新設。
  - ・教育上の効果を高めるため、「心身の健康と看護(E)」を新設。
  - ・教育上の効果を高めるため、「医療における理工学(e)」を新設。
  - ・教育上の効果を高めるため、「現代医療と生命科学(c)」を新設。
- 
- ・教育上の効果を高めるため、「薬科学入門(a)」を新設。
  - ・教育上の効果を高めるため、「薬科学入門(b)」を新設。
  - ・教育上の効果を高めるため、「現代教育について考える(a)」を新設。
  - ・教育上の効果を高めるため、「現代教育について考える(b)」を新設。
  - ・教育上の効果を高めるため、「現代教育について考える(c)」を新設。
  - ・教育上の効果を高めるため、「現代教育について考える(d)」を新設。
  - ・教育上の効果を高めるため、「現代と文学(e)」を新設。
  - ・教育上の効果を高めるため、「現代と文学(f)」を新設。
  - ・教育上の効果を高めるため、「現代世界の形成と課題(c)」を新設。
  - ・教育上の効果を高めるため、「暮らしの中の憲法」を新設。
  - ・教育上の効果を高めるため、「現代社会と経済(A)」を新設。
  - ・教育上の効果を高めるため、「現代の政治(a)」を新設。
  - ・教育上の効果を高めるため、「現代の政治(b)」を新設。
  - ・教育上の効果を高めるため、「Introduction to Science and Technology I (b)」を新設。
  - ・教育上の効果を高めるため、「Introduction to Science and Technology I (c)」を新設。

- ・教育上の効果を高めるため、「Introduction to Science and Technology I (d)」を新設。
  - ・教育上の効果を高めるため、「Introduction to Science and Technology I (e)」を新設。
  - ・教育上の効果を高めるため、「Introduction to Science and Technology II (b)」を新設。
  - ・教育上の効果を高めるため、「Introduction to Science and Technology II (c)」を新設。
  - ・教育上の効果を高めるため、「Socio-Cultural Studies (D)」を新設。
  - ・教育上の効果を高めるため、「Socio-Cultural Studies (c)」を新設。
  - ・教育上の効果を高めるため、「Socio-Cultural Studies (d)」を新設。
  - ・教育上の効果を高めるため、「Statistics (a)」を新設。
  - ・教育上の効果を高めるため、「Academic Foundations (a)」を新設。
  - ・教育上の効果を高めるため、「Area Studies (e)」を新設。
  - ・教育上の効果を高めるため、「Area Studies (f)」を新設。
  - ・教育上の効果を高めるため、「Area Studies (g)」を新設。
  - ・教育上の効果を高めるため、「Area Studies (h)」を新設。
  - ・教育上の効果を高めるため、「Comprehensive English Communication (a)」を新設。
  - ・教育上の効果を高めるため、「Technical English Communication (e)」を新設。
  - ・教育上の効果を高めるため、「Technical English Communication (h)」を新設。
  - ・教育上の効果を高めるため、「英語C-1」を新設。
  - ・教育上の効果を高めるため、「英語C-2」を新設。
  - ・教育上の効果を高めるため、「英語 I-1」を新設。
  - ・教育上の効果を高めるため、「英語 I-2」を新設。
  - ・教育上の効果を高めるため、「ドイツ語 I-1」を新設。
  - ・教育上の効果を高めるため、「ドイツ語 I-2」を新設。
- 
- ・教育上の効果を高めるため、「フランス語 I-1」を新設。
  - ・教育上の効果を高めるため、「フランス語 I-2」を新設。
  - ・教育上の効果を高めるため、「中国語 I-1」を新設。
  - ・教育上の効果を高めるため、「中国語 I-2」を新設。
  - ・教育上の効果を高めるため、「ロシア語 I-1」を新設。
  - ・教育上の効果を高めるため、「ロシア語 I-2」を新設。
  - ・教育上の効果を高めるため、「ロシア語 I-2」を新設。
  - ・教育上の効果を高めるため、「スペイン語 I-1」を新設。
  - ・教育上の効果を高めるため、「スペイン語 I-2」を新設。
- 
- ・教育上の効果を高めるため、「イタリア語 I-1」を新設。
  - ・教育上の効果を高めるため、「イタリア語 I-2」を新設。
  - ・教育上の効果を高めるため、「ラテン語 I-1」を新設。
  - ・教育上の効果を高めるため、「ラテン語 I-2」を新設。
  - ・教育上の効果を高めるため、「数学概論」を新設。
  - ・教育上の効果を高めるため、「キャリア科目 11」を新設。
  - ・教育上の効果を高めるため、「キャリア科目 12」を新設。
  - ・教育上の効果を高めるため、「キャリア科目 13」を新設。
  - ・教育上の効果を高めるため、「キャリア科目 14」を新設。
  - ・教育上の効果を高めるため、「キャリア科目 59」を新設。
  - ・教育上の効果を高めるため、「キャリア科目 60」を新設。
  - ・教育上の効果を高めるため、「開放科目 12」を新設。
  - ・教育上の効果を高めるため、「開放科目 13」を新設。
  - ・教育上の効果を高めるため、「開放科目 14」を新設。
  - ・教育上の効果を高めるため、「開放科目 15」を新設。
  - ・教育上の効果を高めるため、「開放科目 16」を新設。
- 
- ・クォーター制への移行により、「数学の世界(a)」の配当年次を「1・2後」から「1・2②」に変更。
  - ・クォーター制への移行により、「数学の世界(b)」の配当年次を「1・2前」から「1・2②・③」に変更。
  - ・クォーター制への移行により、「物理学入門(a)」の配当年次を「1・2後」から「1・2③」に変更。
  - ・クォーター制への移行により、「物理学入門(b)」の配当年次を「1・2後」から「1・2④」に変更。
  - ・クォーター制への移行により、「物理学入門(c)」の配当年次を「1・2後」から「1・2③」に変更。
  - ・クォーター制への移行により、「物理学入門(d)」の配当年次を「1・2後」から「1・2④」に変更。
  - ・クォーター制への移行により、「物理学入門(e)」の配当年次を「1・2後」から「1・2③」に変更。
  - ・クォーター制への移行により、「物理学入門(f)」の配当年次を「1・2前」から「1・2①・②」に変更。
  - ・クォーター制への移行により、「物理学入門(g)」の配当年次を「1・2前」から「1・2①」に変更。
  - ・クォーター制への移行により、「物理学入門(h)」の配当年次を「1・2前」から「1・2②」に変更。
  - ・クォーター制への移行により、「物理学入門(j)」の配当年次を「1・2後」から「1・2④」に変更。
- 
- ・クォーター制への移行により、「教養の化学(B)」の配当年次を「1・2前」から「1・2①」に変更。
  - ・クォーター制への移行により、「教養の化学(a)」の配当年次を「1・2前」から「1・2①」に変更。
  - ・クォーター制への移行により、「教養の化学(b)」の配当年次を「1・2前」から「1・2②」に変更。
  - ・クォーター制への移行により、「生物の世界(B)」の配当年次を「1・2後」から「1・2③」に変更。
  - ・クォーター制への移行により、「生物の世界(D)」の配当年次を「1・2後」から「1・2③」に変更。
  - ・クォーター制への移行により、「生物の世界(a)」の配当年次を「1・2前」から「1・2②」に変更。
  - ・クォーター制への移行により、「生物の世界(b)」の配当年次を「1・2後」から「1・2③」に変更。
  - ・クォーター制への移行により、「生物の世界(c)」の配当年次を「1・2後」から「1・2②」に変更。
  - ・クォーター制への移行により、「生物の世界(d)」の配当年次を「1・2前」から「1・2①」に変更。
  - ・クォーター制への移行により、「生物の世界(e)」の配当年次を「1・2前」から「1・2②」に変更。
  - ・クォーター制への移行により、「生物の世界(f)」の配当年次を「1・2前」から「1・2①」に変更。
  - ・クォーター制への移行により、「生物の世界(g)」の配当年次を「1・2前」から「1・2②」に変更。









- ・教育上の効果を高めるため、「物理学I」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼4」に変更。
  - ・教育上の効果を高めるため、「物理学基盤実験」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼4」に変更。
  - ・教育上の効果を高めるため、「化学I」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
  - ・教育上の効果を高めるため、「化学II」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼3」に変更。
  - ・教育上の効果を高めるため、「化学基盤実験」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼5」に変更。
  - ・教育上の効果を高めるため、「生物学I」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
  - ・教育上の効果を高めるため、「生物学II」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
  - ・教育上の効果を高めるため、「生物学基盤実験」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
  - ・教育上の効果を高めるため、「地学I」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
  - ・教育上の効果を高めるため、「地学II」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
  - ・教育上の効果を高めるため、「体育・スポーツ科学」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼10」に変更。
  - ・教育上の効果を高めるため、「キャリア科目1」の専任教員等の配置を「兼1」から「教授1」「兼1」に変更。
  - ・教育上の効果を高めるため、「キャリア科目2」の専任教員等の配置を「兼1」から「教授1」に変更。
  - ・教育上の効果を高めるため、「キャリア科目3」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼7」に変更。
  - ・教育上の効果を高めるため、「キャリア科目5」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼3」に変更。
  - ・教育上の効果を高めるため、「キャリア科目6」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼3」に変更。
- 
- ・教育上の効果を高めるため、「キャリア科目7」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼3」に変更。
  - ・教育上の効果を高めるため、「キャリア科目9」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼9」に変更。
  - ・教育上の効果を高めるため、「キャリア科目51」の専任教員等の配置を「兼1」から「准教授1」に変更。
  - ・教育上の効果を高めるため、「キャリア科目52」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
  - ・教育上の効果を高めるため、「キャリア科目53」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
  - ・教育上の効果を高めるため、「キャリア科目54」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼7」に変更。
  - ・カリキュラム編成の調整により、「開放科目8」の専任教員等の配置を「兼4」から「兼1」に変更。
  - ・カリキュラム編成の調整により、「開放科目10」の専任教員等の配置を「兼3」から「兼1」に変更。
- 
- ・クォーター制への移行により、「物理・化学I」の配当年次を「1前」から「1①」に変更。
  - ・クォーター制への移行により、「物理・化学II」の配当年次を「1前」から「1②」に変更。
  - ・担当教員の昇任により、「工学基礎実験」の専任教員等の配置を「教授4」「准教授14」から「教授5」「准教授13」に変更。
  - ・クォーター制への移行により、「数学演習I」の配当年次を「1前」から「1①」に変更。
  - ・担当教員の昇任により、「数学演習I」の専任教員等の配置を「助教7」から「教授1」「助教6」に変更。
  - ・クォーター制への移行により、「数学演習II」の配当年次を「1前」から「1②」に変更。
  - ・教養教育のカリキュラム見直しにより、「工学英語I」の名称を「工学英語III」に変更。
  - ・教養教育のカリキュラム見直しにより、「工学英語II」の名称を「工学英語IV」に変更。
  - ・教養教育のカリキュラム見直しにより、「工学英語I」を新設。
  - ・教養教育のカリキュラム見直しにより、「工学英語II」を新設。
  - ・教育上の効果を高めるため、「社会と企業」の専任教員等の配置を「兼1」から「教授1」「准教授1」に変更。
  - ・クォーター制への移行により、「インターンシップ」の配当年次を「3前」から「3②」に変更。
  - ・クォーター制への移行により、「物質材料工学基礎」の配当年次を「1後」から「1④」に変更。
  - ・クォーター制への移行により、「無機化学基礎」の配当年次を「1後」から「1④」に変更。
  - ・クォーター制への移行により、「有機化学基礎」の配当年次を「1後」から「1③」に変更。
  - ・クォーター制への移行により、「物理学基礎」の配当年次を「1後」から「1③」に変更。
  - ・クォーター制への移行により、「生化学I」の配当年次を「2前」から「2①」に変更。
  - ・クォーター制への移行により、「無機化学I」の配当年次を「2前」から「2①」に変更。
  - ・クォーター制への移行により、「有機化学I」の配当年次を「2前」から「2①」に変更。
  - ・クォーター制への移行により、「環境調和化学」の配当年次を「2前」から「2①」に変更。
  - ・クォーター制への移行により、「高分子化学」の配当年次を「2前」から「2②」に変更。
  - ・クォーター制への移行により、「分析化学I」の配当年次を「2前」から「2②」に変更。
  - ・クォーター制への移行により、「物理化学I」の配当年次を「2前」から「2②」に変更。
  - ・クォーター制への移行により、「物性物理学基礎」の配当年次を「2前」から「2①」に変更。
  - ・クォーター制への移行により、「結晶学」の配当年次を「2前」から「2①」に変更。
  - ・担当教員の昇任により、「結晶学」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
  - ・クォーター制への移行により、「結晶回析学」の配当年次を「2前」から「2②」に変更。
  - ・クォーター制への移行により、「材料力学」の配当年次を「2前」から「2②」に変更。
  - ・担当教員の昇任により、「材料力学」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
  - ・クォーター制への移行により、「移動速度論」の配当年次を「2前」から「2②」に変更。
  - ・クォーター制への移行により、「状態図と熱力学」の配当年次を「2前」から「2③」に変更。
  - ・クォーター制への移行により、「工学数学I」の配当年次を「2前」から「2①」に変更。
  - ・クォーター制への移行により、「工学数学II」の配当年次を「2後」から「2②」に変更。
  - ・教育上の効果を高めるため、「プロダクトデザイン演習I」の単位数を「1」から「2」に変更。
  - ・教育上の効果を高めるため、「プロダクトデザイン演習II」の単位数を「1」から「2」に変更。
  - ・クォーター制への移行により、「物理化学II」の配当年次を「2後」から「2④」に変更。
  - ・クォーター制への移行により、「分析化学II」の配当年次を「3前」から「3①」に変更。
  - ・クォーター制への移行により、「反応工学」の配当年次を「2後」から「2③」に変更。
  - ・クォーター制への移行により、「無機化学II」の配当年次を「3後」から「3③」に変更。
  - ・クォーター制への移行により、「有機化学II」の配当年次を「3前」から「3②」に変更。
  - ・クォーター制への移行により、「量子化学」の配当年次を「3後」から「3③」に変更。
  - ・クォーター制への移行により、「化学実験I」の配当年次を「2後」から「2③」に変更。

- ・クォーター制への移行により、「化学実験Ⅱ」の配当年次を「2後」から「2④」に変更。
  - ・クォーター制への移行により、「化学実験Ⅲ」の配当年次を「3前」から「3①」に変更。
  - ・クォーター制への移行により、「化学実験Ⅳ」の配当年次を「3前」から「3②」に変更。
  - ・クォーター制への移行により、「化学実験Ⅴ」の配当年次を「3後」から「3③」に変更。
  - ・担当教員の昇任により、「化学実験Ⅴ」の専任教員等の配置を「助教1」から「教授1」に変更。
  - ・クォーター制への移行により、「有機分子構造化学」の配当年次を「2後」から「2③」に変更。
  - ・クォーター制への移行により、「生化学Ⅱ」の配当年次を「3後」から「3④」に変更。
  - ・クォーター制への移行により、「バイオテクノロジー」の配当年次を「3後」から「3④」に変更。
  - ・クォーター制への移行により、「電気化学」の配当年次を「3前」から「3②」に変更。
  - ・クォーター制への移行により、「環境ISO」の配当年次を「3後」から「3③」に変更。
  - ・クォーター制への移行により、「化学物質管理学」の配当年次を「2前」から「2①」に変更。
  - ・クォーター制への移行により、「応用生命化学」の配当年次を「3前」から「3②」に変更。
  - ・クォーター制への移行により、「応用物質化学」の配当年次を「3前」から「3①」に変更。
  - ・クォーター制への移行により、「化学コミュニケーション」の配当年次を「4後」から「4③」に変更。
  - ・担当教員の昇任により、「化学コミュニケーション」の専任教員等の配置を「教授7」「助教7」から「教授8」「助教6」に変更。
  - ・担当教員の昇任により、「卒業研究」の専任教員等の配置を「教授7」「助教7」から「教授8」「助教6」に変更。
  - ・クォーター制への移行により、「分離工学」の配当年次を「3前」から「3①」に変更。
  - ・クォーター制への移行により、「高分子物理化学」の配当年次を「2後」から「2④」に変更。
  - ・クォーター制への移行により、「格子欠陥学」の配当年次を「2後」から「2③」に変更。
  - ・クォーター制への移行により、「結晶塑性学」の配当年次を「2後」から「2④」に変更。
  - ・クォーター制への移行により、「物性物理学」の配当年次を「2後」から「2③」に変更。
  - ・クォーター制への移行により、「固体物性学」の配当年次を「2後」から「2④」に変更。
  - ・クォーター制への移行により、「固体内の拡散」の配当年次を「2後」から「2③」に変更。
  - ・クォーター制への移行により、「相変態論」の配当年次を「2後」から「2④」に変更。
  - ・クォーター制への移行により、「材料物理化学」の配当年次を「2後」から「2①」に変更。
  - ・クォーター制への移行により、「材料電気化学」の配当年次を「2後」から「2④」に変更。
  - ・クォーター制への移行により、「破壊工学」の配当年次を「3前」から「3①」に変更。
  - ・クォーター制への移行により、「塑性加工学」の配当年次を「3後」から「3③」に変更。
  - ・クォーター制への移行により、「電子材料学」の配当年次を「3前」から「3②」に変更。
  - ・クォーター制への移行により、「機能材料学」の配当年次を「3後」から「3④」に変更。
  - ・クォーター制への移行により、「磁性材料工学Ⅰ」の配当年次を「3前」から「3①」に変更。
  - ・クォーター制への移行により、「磁性材料工学Ⅱ」の配当年次を「3前」から「3②」に変更。
  - ・クォーター制への移行により、「粉体加工学Ⅰ」の配当年次を「3後」から「3③」に変更。
  - ・クォーター制への移行により、「粉体加工学Ⅱ」の配当年次を「3後」から「3④」に変更。
  - ・クォーター制への移行により、「鉄鋼材料学」の配当年次を「3前」から「3①」に変更。
  - ・クォーター制への移行により、「非鉄金属学」の配当年次を「3後」から「3③」に変更。
  - ・クォーター制への移行により、「凝固工学」の配当年次を「3後」から「3③」に変更。
  - ・クォーター制への移行により、「鉄鋼製錬工学」の配当年次を「3前」から「3①」に変更。
- 
- ・クォーター制への移行により、「非鉄製錬工学」の配当年次を「3前」から「3②」に変更。
  - ・クォーター制への移行により、「腐食防食学」の配当年次を「3後」から「3④」に変更。
  - ・クォーター制への移行により、「セラミックス材料工学」の配当年次を「3後」から「3③」に変更。
  - ・クォーター制への移行により、「プログラミング演習」の配当年次を「2前」から「2①」に変更。
  - ・担当教員の昇任により、「物質材料工学実験・基礎編」の専任教員等の配置を「教授4」「准教授7」から「教授5」「准教授6」に変更。
  - ・担当教員の昇任により、「物質材料工学実験・応用編」の専任教員等の配置を「教授4」「准教授7」から「教授5」「准教授6」に変更。
  - ・クォーター制への移行により、「産業応用演習」の配当年次を「3後」から「3③」に変更。
  - ・クォーター制への移行により、「物質材料工学演習」の配当年次を「4前」から「4①」に変更。
  - ・担当教員の昇任により、「物質材料工学演習」の専任教員等の配置を「教授4」「准教授7」から「教授5」「准教授6」に変更。
  - ・担当教員の昇任により、「物質材料工学教育プログラム専門科目」「卒業研究」の専任教員等の配置を「教授4」「准教授7」から「教授5」「准教授6」に変更。

### 【令和元年度】

- ・教育上の効果を高めるため、「数学の世界(A)」を新設。
- ・教育上の効果を高めるため、「教養の化学(c)」を新設。
- ・教育上の効果を高めるため、「教養の化学(d)」を新設。
- ・教育上の効果を高めるため、「倫理学入門(D)」を新設。
- ・教育上の効果を高めるため、「倫理学入門(E)」を新設。
- ・教育上の効果を高めるため、「倫理学入門(i)」を新設。
- ・教育上の効果を高めるため、「倫理学入門(j)」を新設。
- ・教育上の効果を高めるため、「現代心理行動学(f)」を新設。
- ・教育上の効果を高めるため、「地域の世界史(A)」を新設。
- ・教育上の効果を高めるため、法学の基礎(G)」を新設。
- ・教育上の効果を高めるため、「現代政治の諸相(A)」を新設。
- ・教育上の効果を高めるため、「最前線の社会文化研究(i)」を新設。
- ・教育上の効果を高めるため、「最前線の社会文化研究(j)」を新設。
- ・教育上の効果を高めるため、「最前線の社会文化研究(k)」を新設。
- ・教育上の効果を高めるため、「現代社会の解説(f)」を新設。
- ・教育上の効果を高めるため、「現代社会の解説(g)」を新設。
- ・教育上の効果を高めるため、「現代社会の解説(h)」を新設。

- ・教育上の効果を高めるため、「自然と人間の地理学(e)」を新設。
  - ・教育上の効果を高めるため、「自然と人間の地理学(f)」を新設。
  - ・教育上の効果を高めるため、「暮らしと化学(c)」を新設。
  - ・教育上の効果を高めるため、「暮らしと化学(d)」を新設。
  - ・教育上の効果を高めるため、「健康の科学(D)」を新設。
  - ・教育上の効果を高めるため、「心身の健康と看護(F)」を新設。
  - ・教育上の効果を高めるため、「現代教育について考える(e)」を新設。
  - ・教育上の効果を高めるため、「現代世界の形成と課題(d)」を新設。
  - ・教育上の効果を高めるため、「現代世界の形成と課題(e)」を新設。
  - ・教育上の効果を高めるため、「現代世界の形成と課題(f)」を新設。
  - ・教育上の効果を高めるため、「現代世界の形成と課題(g)」を新設。
  - ・教育上の効果を高めるため、「最先端の法学(B)」を新設。
  - ・教育上の効果を高めるため、「現代社会と経済(B)」を新設。
  - ・教育上の効果を高めるため、「現代の政治(c)」を新設。
  - ・教育上の効果を高めるため、「学際科目4」を新設。
  - ・教育上の効果を高めるため、「Introduction to Science and Technology II (d)」を新設。
  - ・教育上の効果を高めるため、「Socio-Cultural Studies(e)」を新設。
- 
- ・教育上の効果を高めるため、「Socio-Cultural Studies(f)」を新設。
  - ・教育上の効果を高めるため、「Socio-Cultural Studies(g)」を新設。
  - ・教育上の効果を高めるため、「Socio-Cultural Studies(h)」を新設。
  - ・教育上の効果を高めるため、「Area Studies(i)」を新設。
  - ・教育上の効果を高めるため、「ヘブライ語 I-1」を新設。
  - ・教育上の効果を高めるため、「ヘブライ語 I-2」を新設。
  - ・教育上の効果を高めるため、「キャリア科目15」を新設。
  - ・教育上の効果を高めるため、「キャリア科目16」を新設。
  - ・教育上の効果を高めるため、「キャリア科目61」を新設。
  - ・教育上の効果を高めるため、「開放科目17」を新設。
- 
- ・クォーター制への移行により、「数学の世界(b)」の配当年次を「1・2前」から「1・2①・②」に変更。
  - ・クォーター制への移行により、「物理学入門(h)」の配当年次を「1・2前」から「1・2③」に変更。
  - ・クォーター制への移行により、「生物の世界(c)」の配当年次を「1・2後」から「1・2①」に変更。
  - ・クォーター制への移行により、「生物の世界(d)」の配当年次を「1・2前」から「1・2③」に変更。
  - ・クォーター制への移行により、「生物の世界(e)」の配当年次を「1・2前」から「1・2①」に変更。
  - ・クォーター制への移行により、「生物の世界(f)」の配当年次を「1・2前」から「1・2③」に変更。
  - ・クォーター制への移行により、「豊かさを持続させるものづくり(B)」の配当年次を「1・2前」から「1・2②」に変更。
  - ・クォーター制への移行により、「現代心理行動学(a)」の配当年次を「1・2前」から「1・2①」に変更。
  - ・クォーター制への移行により、「現代心理行動学(b)」の配当年次を「1・2後」から「1・2④」に変更。
  - ・カリキュラム編成の調整により、「現代心理行動学(e)」の配当年次を「1・2②・④」から「1・2①」に変更。
  - ・クォーター制への移行により、「言語の諸相(b)」の配当年次を「1・2前」から「1・2④」に変更。
  - ・クォーター制への移行により、「文学の諸相(a)」の配当年次を「1・2前」から「1・2①」に変更。
  - ・クォーター制への移行により、「文学の諸相(b)」の配当年次を「1・2前」から「1・2②」に変更。
  - ・クォーター制への移行により、「文学の諸相(c)」の配当年次を「1・2前」から「1・2③」に変更。
  - ・クォーター制への移行により、「文学の諸相(d)」の配当年次を「1・2前」から「1・2④」に変更。
  - ・クォーター制への移行により、「地域の世界史(d)」の配当年次を「1・2前」から「1・2②」に変更。
  - ・クォーター制への移行により、「日本社会の歴史(c)」の配当年次を「1・2後」から「1・2④」に変更。
  - ・カリキュラム編成の調整により、「日本社会の歴史(e)」の配当年次を「1・2②」から「1・2①」に変更。
- 
- ・カリキュラム編成の調整により、「日本社会の歴史(f)」の配当年次を「1・2①」から「1・2②」に変更。
  - ・クォーター制への移行により、「現代政治の諸相(a)」の配当年次を「1・2前」から「1・2②」に変更。
  - ・クォーター制への移行により、「最前線の社会文化研究(a)」の配当年次を「1・2前」から「1・2①」に変更。
  - ・クォーター制への移行により、「現代社会の解説(b)」の配当年次を「1・2後」から「1・2④」に変更。
  - ・クォーター制への移行により、「現代社会の解説(d)」の配当年次を「1・2前」から「1・2③」に変更。
  - ・カリキュラム編成の調整により、「現代社会の解説(e)」の配当年次を「1・2④」から「1・2③」に変更。
  - ・カリキュラム編成の調整により、「数学と文化(c)」の配当年次を「1・2③」から「1・2①」に変更。
  - ・カリキュラム編成の調整により、「数学と文化(d)」の配当年次を「1・2④」から「1・2②」に変更。
  - ・カリキュラム編成の調整により、「化学と環境(b)」の配当年次を「1・2②・③」から「1・2②・④」に変更。
  - ・クォーター制への移行により、「最先端の生命科学(d)」の配当年次を「1・2後」から「1・2③」に変更。
  - ・クォーター制への移行により、「地球環境科学の最前線(g)」の配当年次を「1・2前」から「1・2②」に変更。
  - ・クォーター制への移行により、「ものづくりの科学と技術(B)」の配当年次を「1・2前」から「1・2①」に変更。
  - ・カリキュラム編成の調整により、「臨床医学の最前線(A)」の配当年次を「1・2前」から「1・2後」に変更。
  - ・クォーター制への移行により、「心身の健康と看護(A)」の配当年次を「1・2前」から「1・2①」に変更。
  - ・クォーター制への移行により、「医療における理工学(a)」の配当年次を「1・2前」から「1・2③」に変更。
  - ・カリキュラム編成の調整により、「現代教育について考える(E)」の配当年次を「1・2後」から「1・2前」に変更。
  - ・カリキュラム編成の調整により、「現代教育について考える(a)」の配当年次を「1・2③」から「1・2④」に変更。
  - ・クォーター制への移行により、「現代と言語(a)」の配当年次を「1・2後」から「1・2②」に変更。
  - ・クォーター制への移行により、「現代世界の形成と課題(a)」の配当年次を「1・2前」から「1・2②」に変更。
- 
- ・カリキュラム編成の調整により、「Introduction to Science and Technology I (d)」の配当年次を「1・2①・②・③・④」から「1・2①・②・③」に変更。
  - ・カリキュラム編成の調整により、「Introduction to Science and Technology II (b)」の配当年次を「1・2②・③・④」から「1・2①・②・③」に変更。
  - ・カリキュラム編成の調整により、「Introduction to Science and Technology II (c)」の配当年次を「1・2②・③・④」から「1・2①・②・③」に変更。
  - ・カリキュラム編成の調整により、「Socio-Cultural Studies(D)」の配当年次を「1・2前・後」から「1・2前」に変更。
  - ・クォーター制への移行により、「Area Studies(a)」の配当年次を「1・2前・後」から「1・2①・②・④」に変更。
  - ・クォーター制への移行により、「Area Studies(b)」の配当年次を「1・2前・後」から「1・2①・③」に変更。
  - ・クォーター制への移行により、「肥後熊本学」の配当年次を「1前・後」から「1①・②・③・④」に変更。
  - ・カリキュラム編成の調整により、「線形代数 I」の配当年次を「1後」から「1前」に変更。
  - ・カリキュラム編成の調整により、「統計学概論」の配当年次を「1後」から「1・2前・後」に変更。
  - ・カリキュラム編成の調整により、「キャリア科目10」の配当年次を「1・2後」から「1・2前・後」に変更。
  - ・クォーター制への移行により、「キャリア科目52」の配当年次を「1・2前から「1・2①」に変更。
- 
- ・教育上の効果を高めるため、「Area Studies(E)」の単位数を「1」から「2」に変更。

- ・教育上の効果が高めるため、「物理学入門(A)」の専任教員等の配置を「兼2」から「准教授2」に変更。
  - ・教育上の効果が高めるため、「物理学入門(B)」の専任教員等の配置を「兼1」から「准教授1」に変更。
  - ・カリキュラム編成の調整により、「持続可能な都市と地域づくり(B)」の専任教員等の配置を「兼4」から「兼1」に変更。
  - ・カリキュラム編成の調整により、「現代心理行動学(e)」の専任教員等の配置を「准教授1」から「兼1」に変更。
  - ・カリキュラム編成の調整により、「現代政治の諸相(b)」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼1」に変更。
  - ・カリキュラム編成の調整により、「現代政治の諸相(c)」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼1」に変更。
  - ・カリキュラム編成の調整により、「現代政治の諸相(d)」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼1」に変更。
  - ・カリキュラム編成の調整により、「現代政治の諸相(e)」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼1」に変更。
  - ・カリキュラム編成の調整により、「最前線の社会文化研究(A)」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼1」に変更。
  - ・教育上の効果が高めるため、「物理学の世界(A)」の専任教員等の配置を「兼1」から「准教授1」に変更。
  - ・カリキュラム編成の調整により、「最先端の生命科学(c)」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼1」に変更。
  - ・カリキュラム編成の調整により、「最先端の生命科学(e)」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼1」に変更。
  - ・カリキュラム編成の調整により、「地球環境科学の最前線(c)」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼1」に変更。
  - ・カリキュラム編成の調整により、「地球環境科学の最前線(d)」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼1」に変更。
  - ・カリキュラム編成の調整により、「地球環境科学の最前線(g)」の専任教員等の配置を「兼4」から「兼1」に変更。
  - ・教育上の効果が高めるため、「ものづくりの科学と技術(D)」の専任教員等の配置を「兼2」から「准教授1」に変更。
  - ・教育上の効果が高めるため、「ものづくりの科学と技術(E)」の専任教員等の配置を「兼2」から「准教授1」に変更。
  - ・教育上の効果が高めるため、「ものづくりの科学と技術(F)」の専任教員等の配置を「兼2」から「教授1」に変更。
  - ・教育上の効果が高めるため、「ものづくりの科学と技術(G)」の専任教員等の配置を「兼1」から「教授1」に変更。
  - ・教育上の効果が高めるため、「ものづくりの科学と技術(H)」の専任教員等の配置を「兼1」から「教授1」に変更。
- 
- ・カリキュラム編成の調整により、「健康の科学(B)」の専任教員等の配置を「兼8」から「兼1」に変更。
  - ・カリキュラム編成の調整により、「健康の科学(C)」の専任教員等の配置を「兼7」から「兼4」に変更。
  - ・カリキュラム編成の調整により、「病気の医科学(A)」の専任教員等の配置を「兼10」から「兼1」に変更。
  - ・カリキュラム編成の調整により、「現代社会と医学(B)」の専任教員等の配置を「兼6」から「兼1」に変更。
  - ・カリキュラム編成の調整により、「心身の健康と看護(A)」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼1」に変更。
  - ・カリキュラム編成の調整により、「現代の医学検査(b)」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼1」に変更。
  - ・カリキュラム編成の調整により、「薬科学入門(B)」の専任教員等の配置を「兼7」から「兼1」に変更。
  - ・カリキュラム編成の調整により、「現代社会と薬学(A)」の専任教員等の配置を「兼5」から「兼1」に変更。
  - ・カリキュラム編成の調整により、「現代教育について考える(C)」の専任教員等の配置を「兼3」から「兼1」に変更。
  - ・カリキュラム編成の調整により、「現代教育について考える(D)」の専任教員等の配置を「兼3」から「兼1」に変更。
  - ・カリキュラム編成の調整により、「現代教育について考える(c)」の専任教員等の配置を「兼3」から「兼1」に変更。
  - ・カリキュラム編成の調整により、「現代教育について考える(d)」の専任教員等の配置を「兼3」から「兼1」に変更。
  - ・カリキュラム編成の調整により、「芸術への招待(B)」の専任教員等の配置を「兼4」から「兼1」に変更。
  - ・教育上の効果が高めるため、「暮らしの中の憲法」の専任教員等の配置を「兼3」から「兼4」に変更。
  - ・教育上の効果が高めるため、「Introduction to Science and Technology I (d)」の専任教員等の配置を「兼1」から「教授1」に変更。
  - ・教育上の効果が高めるため、「Introduction to Science and Technology I (e)」の専任教員等の配置を「兼1」から「教授1」に変更。
  - ・教育上の効果が高めるため、「Introduction to Science and Technology II (b)」の専任教員等の配置を「兼1」から「教授1」に変更。
  - ・教育上の効果が高めるため、「Introduction to Science and Technology II (c)」の専任教員等の配置を「兼1」から「教授1」に変更。
  - ・カリキュラム編成の調整により、「Academic Foundations(a)」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼1」に変更。
  - ・カリキュラム編成の調整により、「Global Career Development(a)」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼1」に変更。
  - ・カリキュラム編成の調整により、「Global Career Development(b)」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼1」に変更。
  - ・教育上の効果が高めるため、「英語A-1」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼13」に変更。
  - ・教育上の効果が高めるため、「英語A-2」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼22」に変更。
  - ・教育上の効果が高めるため、「英語B-1」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼19」に変更。
  - ・教育上の効果が高めるため、「英語B-2」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼14」に変更。
  - ・カリキュラム編成の調整により、「英語C-1」の専任教員等の配置を「兼18」から「兼16」に変更。
  - ・カリキュラム編成の調整により、「英語C-2」の専任教員等の配置を「兼18」から「兼16」に変更。
- 
- ・教育上の効果が高めるため、「フランス語B-1」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼3」に変更。
  - ・教育上の効果が高めるため、「フランス語B-2」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼3」に変更。
  - ・教育上の効果が高めるため、「フランス語C-1」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼3」に変更。
  - ・教育上の効果が高めるため、「フランス語C-2」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼3」に変更。
  - ・教育上の効果が高めるため、「日本語A-2」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
  - ・教育上の効果が高めるため、「日本語C-2」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼4」に変更。
  - ・教育上の効果が高めるため、「日本語I-2」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼3」に変更。
  - ・教育上の効果が高めるため、「日本語III-1」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼7」に変更。
  - ・教育上の効果が高めるため、「日本語III-2」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼7」に変更。
  - ・教育上の効果が高めるため、「日本語IV-1」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼7」に変更。
  - ・教育上の効果が高めるため、「日本語IV-2」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼7」に変更。
  - ・教育上の効果が高めるため、「肥後熊本学」の専任教員等の配置を「兼8」から「兼12」に変更。
  - ・教育上の効果が高めるため、「微分積分I」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼10」に変更。
  - ・教育上の効果が高めるため、「微分積分II」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼10」に変更。
  - ・教育上の効果が高めるため、「線形代数I」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼11」に変更。
  - ・教育上の効果が高めるため、「統計学I」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
  - ・教育上の効果が高めるため、「統計学概論」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
  - ・教育上の効果が高めるため、「物理学I」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼4」に変更。
  - ・教育上の効果が高めるため、「化学II」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
  - ・カリキュラム編成の調整により、「キャリア科目59」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼1」に変更。

- ・教育上の効果を高めるため、「物理・科学Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授3」へ変更。
  - ・カリキュラム編成の調整により、「工学基礎実験」の専任教員等の配置を「教授5」「准教授13」「助教1」から「教授1」「准教授13」へ変更。
  - ・カリキュラム編成の調整により、「数学演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授1」「助教6」から「准教授1」「助教7」へ変更。
  - ・教育上の効果を高めるため、「工学英語Ⅰ」の専任教員等の配置を「兼1」から「教授1」「准教授2」に変更。
  - ・教育上の効果を高めるため、「工学英語Ⅱ」の専任教員等の配置を「兼1」から「教授2」「准教授2」に変更。
  - ・教育上の効果を高めるため、「社会と企業」の専任教員等の配置を「教授1」「准教授1」から「教授2」に変更。
  - ・カリキュラム編成の調整により、「インターンシップ」の専任教員等の配置を「教授1」「助教2」から「教授1」「助教1」へ変更。
  - ・カリキュラム編成の調整により、「物質材料工学基礎」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」へ変更。
  - ・カリキュラム編成の調整により、「高分子化学」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」へ変更。
  - ・教育上の効果を高めるため、「反応工学」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授1」「准教授1」に変更。
  - ・カリキュラム編成の調整により、「化学実験Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授1」「助教2」から「助教2」「兼任1」へ変更。
- 
- ・カリキュラム編成の調整により、「化学実験Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授2」「助教1」から「准教授1」「助教2」へ変更。
  - ・教育上の効果を高めるため、「化学実験Ⅳ」の専任教員等の配置を「准教授2」「助教1」から「准教授3」へ変更。
  - ・教育上の効果を高めるため、「化学コミュニケーション」の専任教員等の配置を「教授8」「准教授8」「助教6」から「教授8」「准教授9」「助教6」に変更。
  - ・教育上の効果を高めるため、「応用生命化学教育プログラム専門科目」及び「応用物質化学教育プログラム専門科目」における「卒業研究」の専任教員等の配置を「教授8」「准教授8」「助教6」から「教授8」「准教授9」「助教6」に変更。
  - ・担当教員の昇任により、「材料物理化学」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
  - ・担当教員の昇任により、「材料電気化学」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
  - ・担当教員の昇任により、「腐食防食学」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
  - ・教育上の効果を高めるため、「機器製作実習」の専任教員等の配置を「教授1」「准教授1」から「教授2」「准教授1」に変更。
  - ・カリキュラム編成の調整により、「機械設計製図演習」の専任教員等の配置を「教授1」「助教1」から「助教1」へ変更。
  - ・担当教員の昇任及び採用により、「物質材料工学実験・基礎編」の専任教員等の配置を「教授5」「准教授6」「助教1」から「教授6」「准教授6」「助教2」に変更。
- 
- ・担当教員の昇任及び採用により、「物質材料工学実験・応用編」の専任教員等の配置を「教授5」「准教授6」「助教1」から「教授6」「准教授6」「助教2」に変更。
  - ・担当教員の昇任及び採用により、「物質材料工学演習」の専任教員等の配置を「教授5」「准教授6」「助教1」から「教授6」「准教授6」「助教2」に変更。
  - ・担当教員の昇任及び採用により、「物質材料工学教育プログラム専門科目」における「卒業研究」の専任教員等の配置を「教授5」「准教授6」「助教1」から「教授6」「准教授6」「助教2」に変更。

- (注) ・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
  - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
73 科目	393 科目	0 科目	466 科目	77 科目 [4]	543 科目 [150]	0 科目 [0]	620 科目 [154]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)



## (3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	物理学入門(A)	2	1・2後	一般	選択	休講、代替措置無
2	物理学入門(i)	1	1・2後	一般	選択	休講、代替措置無
3	地球環境の現状と人類(A)	2	1・2前	一般	選択	休講、代替措置無
4	倫理学入門(B)	2	1・2後	一般	選択	休講、代替措置無
5	心と世界(B)	2	1・2前	一般	選択	休講、代替措置無
6	思考と論理(B)	2	1・2前	一般	選択	休講、代替措置無
7	モノが語る歴史(a)	1	1・2前	一般	選択	休講、代替措置無
8	モノが語る歴史(b)	1	1・2前	一般	選択	休講、代替措置無
9	モノが語る歴史(c)	1	1・2後	一般	選択	休講、代替措置無
10	モノが語る歴史(d)	1	1・2後	一般	選択	休講、代替措置無
11	地域の世界史(f)	1	1・2後	一般	選択	休講、代替措置無
12	地域の世界史(h)	1	1・2前	一般	選択	休講、代替措置無
13	法学の基礎(B)	2	1・2後	一般	選択	休講、代替措置無
14	現代経済問題の諸相(a)	1	1・2前	一般	選択	休講、代替措置無
15	最前線の社会文化研究(b)	1	1・2前	一般	選択	休講、代替措置無
16	最前線の社会文化研究(h)	1	1・2前	一般	選択	休講、代替措置無
17	自然と人間の地理学(A)	2	1・2前	一般	選択	休講、代替措置無
18	自然と人間の地理学(B)	2	1・2前	一般	選択	休講、代替措置無
19	自然と人間の地理学(C)	2	1・2前	一般	選択	休講、代替措置無
20	数学と文化(a)	1	1・2前	一般	選択	休講、代替措置無
21	数学と文化(b)	1	1・2前	一般	選択	休講、代替措置無
22	暮らしと化学(b)	1	1・2前	一般	選択	休講、代替措置無
23	化学と環境(A)	2	1・2後	一般	選択	休講、代替措置無
24	化学と環境(B)	2	1・2前	一般	選択	休講、代替措置無
25	化学と環境(C)	2	1・2後	一般	選択	休講、代替措置無
26	最先端の生命科学(A)	2	1・2後	一般	選択	休講、代替措置無
27	健康の科学(A)	2	1・2前	一般	選択	休講、代替措置無
28	心身の健康と看護(B)	2	1・2前	一般	選択	休講、代替措置無
29	心身の健康と看護(C)	2	1・2後	一般	選択	休講、代替措置無
30	現代教育について考える(B)	2	1・2後	一般	選択	休講、代替措置無
31	現代教育について考える(C)	2	1・2後	一般	選択	休講、代替措置無
32	現代と文学(c)	1	1・2前	一般	選択	休講、代替措置無
33	現代と文学(d)	1	1・2前	一般	選択	休講、代替措置無
34	最先端の法学(A)	2	1・2前	一般	選択	休講、代替措置無
35	現代社会と経済(c)	1	1・2前	一般	選択	休講、代替措置無
36	現代社会と経済(d)	1	1・2後	一般	選択	休講、代替措置無
37	現代社会と経済(e)	1	1・2後	一般	選択	休講、代替措置無
38	日本事情(C)	2	1・2前	一般	選択	休講、代替措置無
39	日本事情(D)	2	1・2後	一般	選択	休講、代替措置無
40	Introduction to Science and Technology I (a)	1	1・2前	一般	選択	休講、代替措置無
41	Introduction to Science and Technology II (a)	1	1・2前・後	一般	選択	休講、代替措置無
42	Basic Economics (b)	1	1・2後	一般	選択	休講、代替措置無
43	Music and Humanity (a)	1	1・2前	一般	選択	休講、代替措置無
44	Area Studies (c)	1	1・2前	一般	選択	休講、代替措置無
45	Area Studies (d)	1	1・2前	一般	選択	休講、代替措置無
46	Area Studies (E)	2	1・2前・後	一般	選択	休講、代替措置無
47	Technical English Communication (c)	1	1・2前・後	一般	選択	休講、代替措置無
48	Technical English Communication (d)	1	1・2前・後	一般	選択	休講、代替措置無
49	Technical English Communication (E)	2	1・2前	一般	選択	休講、代替措置無
50	コリア語a-1	1	1前	一般	選択	休講、代替措置無
51	コリア語a-2	1	1後	一般	選択	休講、代替措置無
52	フランス語II-1	1	1・2前	一般	選択	休講、代替措置無

53	フランス語Ⅱ-2	1	1・2後	一般	選択	休講、代替措置無
54	微分積分概論	2	1前	一般	選択	休講、代替措置無
55	線形代数概論	2	1後	一般	選択	休講、代替措置無
56	キャリア科目4	2	1・2後	一般	選択	休講、代替措置無
57	キャリア科目8	2	1・2前	一般	選択	休講、代替措置無
58	キャリア科目58	1	1・2前	一般	選択	休講、代替措置無
59	開放科目2	2	1・2前	一般	選択	休講、代替措置無
60	開放科目3	2	1・2後	一般	選択	休講、代替措置無
61	開放科目5	2	1・2前	一般	選択	休講、代替措置無
62	開放科目6	2	1・2後	一般	選択	休講、代替措置無
63	開放科目7	1	1・2前	一般	選択	休講、代替措置無

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。  
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目 該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

教養教育の開講科目については、各教員の授業コマ数等に応じて毎年度変更を行っており、履修上の問題はない。  
 学生への周知方法としては、開講する科目の時間割表を配付し、さらに掲示版に最新の時間割表を貼付すること等により、十分周知している。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{63}{466} = \boxed{13.51} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。  
 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	放送大学熊本学習セン ターとの共用623㎡ 地上権設定者：財団法人 熊本テクノポリス財 団 地上権設定期間： S62.9.1から30年間 (H29.9.1から延長予 定) H32.3.31まで延長 (30) 19,945㎡ 貸与者：熊本市 借用期間：H29.4.1か らH30.3.31 H30.4.1か らH31.3.31 (以降、毎 年度更新予定) (30) 494㎡ 貸与者：益城町 借用期間：H28.10.1か らH30.9.30 H30.10.1 からR2.9.30(元) 331 ㎡		
	校舎敷地	475,024(20,770)㎡	623㎡	0㎡	475,647(20,770)㎡			
	運動場用地	39,752( 0)㎡	0㎡	0㎡	39,752( 0)㎡			
	小 計	514,776(20,770)㎡	623㎡	0㎡	515,399(20,770)㎡			
	そ の 他	144,293( 0)㎡	0㎡	0㎡	144,293( 0)㎡			
	合 計	659,069(20,770)㎡	623㎡	0㎡	659,692(20,770)㎡			
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	放送大学熊本学習セン ターの専用1,112㎡			
	457,740㎡ ( 457,740㎡)	0㎡ ( 0㎡)	1,112㎡ ( 1,112㎡)	458,852㎡ ( 458,852㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体  教育上の効果を高める ため語学学習施設を追 加(元)		
	122室	90室	1,206室	9室 (補助職員 6人)	12 13室 (補助職員 3人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数			専任教員の転出及び採用 のため(元)		
	工学部 材料・応用化学科		38 34 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	
	大学全体	1,255,975 [482,340] (1,255,975 [482,340])	21,266 [7,207] (21,266 [7,207])	17,031 [15,706] (17,031 [15,706])	2,184 (2,184)	67,684 (67,684)	35 (35)	
	計	1,255,975 [482,340] (1,255,975 [482,340])	21,266 [7,207] (21,266 [7,207])	17,031 [15,706] (17,031 [15,706])	2,184 (2,184)	67,684 (67,684)	35 (35)	
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数	取 納 可 能 冊 数		大学全体			
	12,347㎡	936	1,035,084					
(7) 体 育 館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体		
	8,244㎡	陸上競技場、ラグビー場、サッカー場、テニスコート 等						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
		共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要								

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年5月1日現在の数値を記入してください。

- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(元)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
- ・ 国立大学については「(8) 経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	熊本大学								備考	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	年度	年度	年度	
<b>【学部】</b>										
文学部	4	170	10	700		1.06	-		熊本県熊本市中央区黒髪2丁目40番1号	
総合人間学科	4	55	-	220	学士(文学)	1.05	-	平成17年度	同上	
歴史学科	4	35	-	140	学士(文学)	1.07	-	平成17年度	同上	
文学科	4	50	-	200	学士(文学)	0.99	-	平成17年度	同上	
コミュニケーション情報学科	4	30	-	120	学士(文学)	1.20	-	平成17年度	同上	
学部共通			3年次10	20	学士(文学)	-	-	平成11年度	同上	
教育学部	4	230	-	920		1.07	-		熊本県熊本市中央区黒髪2丁目40番1号	
小学校教員養成課程	4	110	-	440	学士(教育学)	1.04	-	昭和24年度	同上	
中学校教員養成課程	4	70	-	280	学士(教育学)	1.13	-	昭和24年度	同上	
特別支援教育教員養成課程	4	20	-	80	学士(教育学)	1.10	-	平成19年度	同上	
養護教諭養成課程	4	30	-	120	学士(教育学)	1.05	-	昭和52年度	同上	
地域共生社会課程	4	-	-	-	学士(教育学)	-	-	平成12年度	同上	平成29年より学生募集停止
生涯スポーツ福祉課程	4	-	-	-	学士(教育学)	-	-	平成9年度	同上	平成29年より学生募集停止
法学部	4	210	10	860		1.02	-		熊本県熊本市中央区黒髪2丁目40番1号	
法学科	4	210	-	840	学士(法学)	1.02	-	平成16年度	同上	
学部共通			3年次10	20	学士(法学)	-	-	平成12年度	同上	
理学部	4	200	-	790		1.02	-		熊本県熊本市中央区黒髪2丁目39番0号	
理学科	4	200	-	790	学士(理学)	1.02	-	平成16年度	同上	
<b>医学部</b>										
医学科	6	115	-	690	学士(医学)	1.00	平成30年度	昭和24年度	熊本県熊本市中央区本荘1丁目1番1号	定員変更(5)
保健学科	4	144	-	576	学士(看護学、保健学)	1.03	-	平成15年度	熊本県熊本市中央区九品寺4丁目24番1号	
保健学科共通			3年次16	32	学士(看護学、保健学)	-	-	平成18年度	同上	
<b>薬学部</b>										
薬学科	6	55	-	330	学士(薬学)	1.03	-	平成18年度	熊本県熊本市中央区大江北町5番1号	
創薬・生命薬科学科	4	35	-	140	学士(創薬科学、生命薬科学)	1.04	-	平成18年度	同上	
<b>工学部</b>										
土木建築学科	4	124	3年次10	248	学士(工学)	1.05	-	平成30年度	熊本県熊本市中央区黒髪2丁目39番0号	
機械数理工学科	4	109	3年次10	218	学士(工学)	1.02	-	平成30年度	同上	
情報電気工学科	4	149	3年次20	298	学士(工学)	1.03	-	平成30年度	同上	
材料・応用化学科	4	131	3年次5	262	学士(工学)	1.01	-	平成30年度	同上	
物質生命化学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
マテリアル工学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
機械システム工学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
社会環境工学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止

建築学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
情報電気電子工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
数理工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
学部共通			3年次 45	90	学士 (工学)	-	-	平成10年度	同上	平成30年より学生募集停止
大学院教育学研究科										
(修士課程)										
学校教育実践専攻	2	7	-	14	修士 (教育学)	0.85	-	平成21年度	熊本県熊本市中央区黒髪2丁目40番1号	
教科教育実践専攻	2	23	-	46	修士 (教育学)	0.73	-	平成21年度	同上	
(専門職学位課程)										
教職実践開発専攻	2	15	-	30	教職修士 (専門職)	1.13	-	平成29年度	同上	
大学院社会文化科学教育部										
(博士前期課程)										
法政・紛争解決学専攻	2	25	-	25	修士 (法学、公共政策学、学術)	0.40	-	令和元年度	熊本県熊本市中央区黒髪2丁目40番1号	
公共政策学専攻	2	-	-	-	修士 (公共政策学、学術)	-	-	平成20年度	同上	平成31年より学生募集停止
法学専攻	2	-	-	-	修士 (法学)	-	-	平成20年度	同上	平成31年より学生募集停止
現代社会人間学専攻	2	18	-	36	修士 (文学、法学、学術)	0.88	-	平成20年度	同上	
文化学専攻	2	18	-	36	修士 (文学、学術)	0.91	-	平成20年度	同上	
教授システム学専攻	2	15	-	30	修士 (教授システム学、学術)	1.16	-	平成20年度	同上	
(博士後期課程)										
人間・社会科学専攻	3	6	-	18	博士 (文学、法学、公共政策学、学術)	0.61	-	平成20年度	同上	
文化学専攻	3	6	-	18	博士 (文学、学術)	0.55	-	平成20年度	同上	
教授システム学専攻	3	3	-	9	博士 (学術)	1.11	-	平成20年度	同上	
大学院自然科学教育部										
(博士前期課程)										
理学専攻	2	110	-	110	修士 (理学、学術)	0.80	-	平成30年度	熊本県熊本市中央区黒髪2丁目39番1号	
土木建築学専攻	2	75	-	75	修士 (工学、学術)	1.15	-	平成30年度	同上	
機械数理工学専攻	2	65	-	65	修士 (工学、学術)	1.12	-	平成30年度	同上	
情報電気工学専攻	2	103	-	103	修士 (工学、学術)	1.11	-	平成30年度	同上	
材料・応用化学専攻	2	90	-	90	修士 (工学、学術)	1.05	-	平成30年度	同上	
(博士後期課程)										
理学専攻	3	12	-	12	博士 (理学、学術)	0.74	-	平成30年度	同上	
工学専攻	3	46	-	46	博士 (工学、学術)	0.50	-	平成30年度	同上	
大学院自然科学研究科										
(博士前期課程)										
理学専攻	2	-	-	-	修士 (理学、学術)	-	-	平成18年度	熊本県熊本市中央区黒髪2丁目39番1号	平成30年より学生募集停止
数学専攻	2	-	-	-	修士 (理学、学術)	-	-	平成22年度	同上	平成30年より学生募集停止
機械システム工学専攻	2	-	-	-	修士 (工学、学術)	-	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
情報電気電子工学専攻	2	-	-	-	修士 (工学、学術)	-	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
社会環境工学専攻	2	-	-	-	修士 (工学、学術)	-	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
建築学専攻	2	-	-	-	修士 (工学、学術)	-	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
(博士後期課程)										
理学専攻	3	-	-	-	博士 (理学、学術)	-	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
複合新領域科学専攻	3	-	-	-	博士 (理学、工学、学術)	-	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
産業創造工学専攻	3	-	-	-	博士 (工学、学術)	-	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止

情報電気電子工学専攻	3	-	-	-	博士 (工学、学術)	-	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止 平成30年より学生募集停止
環境共生工学専攻	3	-	-	-	博士 (工学、学術)	-	-	平成18年度	同上	
大学院医学教育部 (修士課程)										
医科学専攻 (博士課程)	2	20	-	40	修士 (医科学、健康生命科学)	0.85	-	平成15年度	熊本県熊本市中央区本荘1丁目1番1号	
医学専攻	4	88	-	352	博士 (医学、生命科学、健康生命科学)	0.82	-	平成20年度	同上	
大学院保健学教育部 (博士前期課程)										
保健学専攻 (博士後期課程)	2	24	-	48	修士 (保健学、看護学)	0.83	-	平成22年度	熊本県熊本市中央区九品寺4丁目24番1号	
保健学専攻	3	6	-	18	博士 (保健学、看護学)	1.05	-	平成22年度	同上	
大学院薬学教育部 (博士前期課程)										
創薬・生命薬科学専攻 (博士後期課程)	2	35	-	70	修士 (薬科学、健康生命科学)	0.92	-	平成22年度	熊本市中央区大江本町5番1号	
創薬・生命薬科学専攻 (博士課程)	3	10	-	30	博士 (薬科学、生命科学、健康生命科学)	1.23	-	平成24年度	同上	
医療薬学専攻	4	8	-	32	博士 (薬学)	0.93	-	平成24年度	同上	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。  
(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。  
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
  - ・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き(平成31年度改訂版)」と同じです。
  - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<工学部 材料・応用化学科>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】			【平成30年度】			【令和元年度】		
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	安藤 新二 <平成30年4月> 博士(学術)	専	教授	安藤 新二 <平成30年4月> 博士(学術)	専	教授	安藤 新二 <平成30年4月> 博士(学術)
		工学基礎実験 インターンシップ 物質材料工学基礎 格子欠陥学 結晶塑性学 破壊工学 プログラミング演習 機械設計製図演習 物質材料工学実験・基礎編 物質材料工学実験・応用編 産業応用演習 物質材料工学演習 卒業研究(物質材料工学) ものづくりの科学と技術(H)			工学基礎実験 インターンシップ 物質材料工学基礎 格子欠陥学 結晶塑性学 破壊工学 プログラミング演習 機械設計製図演習 物質材料工学実験・基礎編 物質材料工学実験・応用編 産業応用演習 物質材料工学演習 卒業研究(物質材料工学) ものづくりの科学と技術(H) <b>開放科目12</b>			インターンシップ 格子欠陥学 結晶塑性学 破壊工学 プログラミング演習 物質材料工学実験・基礎編 物質材料工学実験・応用編 産業応用演習 物質材料工学演習 卒業研究(物質材料工学) <b>社会と企業</b> ものづくりの科学と技術(H) <b>開放科目12</b>
専	教授	伊田 進太郎 <平成30年4月> 博士(工学)	専	教授	伊田 進太郎 <平成30年4月> 博士(工学)	専	教授	伊田 進太郎 <平成30年4月> 博士(工学)
		無機化学基礎 無機化学Ⅱ 化学コミュニケーション 卒業研究(応用生命化学・応用物質化学)			無機化学基礎 無機化学Ⅱ 化学コミュニケーション 卒業研究(応用生命化学・応用物質化学)			<b>工学英語 I</b> 無機化学基礎 無機化学Ⅱ 化学コミュニケーション 卒業研究(応用生命化学・応用物質化学) <b>社会と企業</b>
専	教授	井原 敏博 <平成30年4月> 博士(工学)	専	教授	井原 敏博 <平成30年4月> 博士(工学)	専	教授	井原 敏博 <平成30年4月> 博士(工学)
		分析化学Ⅰ 分析化学Ⅱ 化学コミュニケーション 卒業研究(応用生命化学・応用物質化学)			分析化学Ⅰ 分析化学Ⅱ 化学コミュニケーション 卒業研究(応用生命化学・応用物質化学)			分析化学Ⅰ 分析化学Ⅱ 化学コミュニケーション 卒業研究(応用生命化学・応用物質化学)
専	教授	河村 能人 <平成30年4月> 博士(工学)	専	教授	河村 能人 <平成30年4月> 博士(工学)	専	教授	河村 能人 <平成30年4月> 博士(工学)
		工学基礎実験 物質材料工学基礎 磁性材料工学Ⅰ 磁性材料工学Ⅱ 粉体加工学Ⅰ 粉体加工学Ⅱ 物質材料工学実験・基礎編 物質材料工学実験・応用編 物質材料工学演習 卒業研究(物質材料工学)			工学基礎実験 物質材料工学基礎 磁性材料工学Ⅰ 磁性材料工学Ⅱ 粉体加工学Ⅰ 粉体加工学Ⅱ 物質材料工学実験・基礎編 物質材料工学実験・応用編 物質材料工学演習 卒業研究(物質材料工学) <b>ものづくりの科学と技術(H)</b>			磁性材料工学Ⅰ 磁性材料工学Ⅱ 粉体加工学Ⅰ 粉体加工学Ⅱ <b>機器製作実習</b> 物質材料工学実験・基礎編 物質材料工学実験・応用編 物質材料工学演習 卒業研究(物質材料工学)



専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	木田 徹也 <平成30年4月> 博士(工学)
		反応工学 化学コミュニケーション 卒業研究(応用生命化学・応用物質化学) 分離工学
専	教授	國武 雅司 <平成30年4月> 博士(工学)
		高分子化学 化学コミュニケーション 卒業研究(応用生命化学・応用物質化学) 高分子物理化学 ものづくりの科学と技術(F)
専	教授	栗原 清二 <平成30年4月> 博士(工学)
		有機化学Ⅱ 有機分子構造化学 化学コミュニケーション 卒業研究(応用生命化学・応用物質化学) ものづくりの科学と技術€

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		QUITAIN ARMANDO TIBIGIN <平成30年4月> 博士(工学)
専	教授	数学演習Ⅰ 化学実験Ⅴ 化学コミュニケーション 卒業研究(応用生命化学・応用物質化学) Introduction to Science and Technology I (d) Introduction to Science and Technology I (e) Introduction to Science and Technology II (b) Introduction to Science and Technology II (c)
専	教授	木田 徹也 <平成30年4月> 博士(工学)
		反応工学 化学コミュニケーション 卒業研究(応用生命化学・応用物質化学) 分離工学
専	教授	國武 雅司 <平成30年4月> 博士(工学)
		高分子化学 化学コミュニケーション 卒業研究(応用生命化学・応用物質化学) 高分子物理化学 ものづくりの科学と技術(F)
専	教授	栗原 清二 <平成30年4月> 博士(工学)
		有機化学Ⅱ 有機分子構造化学 化学コミュニケーション 卒業研究(応用生命化学・応用物質化学) ものづくりの科学と技術€

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		QUITAIN ARMANDO TIBIGIN <平成30年4月> 博士(工学)
専	教授	化学実験Ⅴ 化学コミュニケーション 卒業研究(応用生命化学・応用物質化学) Introduction to Science and Technology I (d) Introduction to Science and Technology I (e) Introduction to Science and Technology II (b) Introduction to Science and Technology II (c) Introduction to Science and Technology II (d)
専	教授	木田 徹也 <平成30年4月> 博士(工学)
		工学英語Ⅱ 反応工学 化学コミュニケーション 卒業研究(応用生命化学・応用物質化学) 分離工学
専	教授	國武 雅司 <平成30年4月> 博士(工学)
		化学コミュニケーション 卒業研究(応用生命化学・応用物質化学) 高分子物理化学 ものづくりの科学と技術(F)
専	教授	栗原 清二 <平成30年4月> 博士(工学)
		有機化学Ⅱ 有機分子構造化学 化学コミュニケーション 卒業研究(応用生命化学・応用物質化学)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	連川 貞弘 ＜平成30年4月＞ 博士(工学)
		工学基礎実験 結晶回折学 状態図と熱力学 相変態論 鉄鋼材料学 機器製作実習 物質材料工学実験・基礎編 物質材料工学実験・応用編 物質材料工学演習 卒業研究(物質材料工学)
専	教授	新留 琢郎 ＜平成30年4月＞ 博士(理学)
		生化学Ⅰ 生化学Ⅱ 化学コミュニケーション 卒業研究(応用生命化学・応用物質化学) ものづくりの科学と技術(G)
専	教授	町田 正人 ＜平成30年4月＞ 博士(工学)
		物理化学Ⅰ 物理化学Ⅱ 化学コミュニケーション 卒業研究(応用生命化学・応用物質化学)
専	教授	松田 元秀 ＜平成30年4月＞ 博士(工学)
		工学基礎実験 物性物理学基礎 固体物性学 機能材料学 セラミックス材料工学 物質材料工学実験・基礎編 物質材料工学実験・応用編 物質材料工学演習 卒業研究(物質材料工学)
専	教授	峯 洋二 ＜平成30年4月＞ 博士
		工学基礎実験 結晶学 材料力学 物質材料工学実験・基礎編 物質材料工学実験・応用編 物質材料工学演習 卒業研究(物質材料工学)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	連川 貞弘 ＜平成30年4月＞ 博士(工学)
		工学基礎実験 結晶回折学 状態図と熱力学 相変態論 鉄鋼材料学 機器製作実習 物質材料工学実験・基礎編 物質材料工学実験・応用編 物質材料工学演習 卒業研究(物質材料工学)
専	教授	新留 琢郎 ＜平成30年4月＞ 博士(理学)
		生化学Ⅰ 生化学Ⅱ 化学コミュニケーション 卒業研究(応用生命化学・応用物質化学) <b>社会と企業</b> ものづくりの科学と技術(G) <b>キャリア科目52</b> <b>キャリア科目53</b>
専	教授	町田 正人 ＜平成30年4月＞ 博士(工学)
		物理化学Ⅰ 物理化学Ⅱ 化学コミュニケーション 卒業研究(応用生命化学・応用物質化学)
専	教授	松田 元秀 ＜平成30年4月＞ 博士(工学)
		工学基礎実験 物性物理学基礎 固体物性学 機能材料学 セラミックス材料工学 物質材料工学実験・基礎編 物質材料工学実験・応用編 物質材料工学演習 卒業研究(物質材料工学) <b>ものづくりの科学と技術(H)</b>
専	教授	峯 洋二 ＜平成30年4月＞ 博士
		工学基礎実験 結晶学 材料力学 物質材料工学実験・基礎編 物質材料工学実験・応用編 物質材料工学演習 卒業研究(物質材料工学)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	連川 貞弘 ＜平成30年4月＞ 博士(工学)
		結晶回折学 状態図と熱力学 相変態論 鉄鋼材料学 物質材料工学実験・基礎編 物質材料工学実験・応用編 物質材料工学演習 卒業研究(物質材料工学)
専	教授	新留 琢郎 ＜平成30年4月＞ 博士(理学)
		<b>工学英語Ⅱ</b> 生化学Ⅰ 生化学Ⅱ 化学コミュニケーション 卒業研究(応用生命化学・応用物質化学) ものづくりの科学と技術(G)
専	教授	町田 正人 ＜平成30年4月＞ 博士(工学)
		物理化学Ⅰ 物理化学Ⅱ 化学コミュニケーション 卒業研究(応用生命化学・応用物質化学)
専	教授	松田 元秀 ＜平成30年4月＞ 博士(工学)
		物性物理学基礎 固体物性学 機能材料学 セラミックス材料工学 物質材料工学実験・基礎編 物質材料工学実験・応用編 物質材料工学演習 卒業研究(物質材料工学)
専	教授	峯 洋二 ＜平成30年4月＞ 博士
		結晶学 材料力学 物質材料工学実験・基礎編 物質材料工学実験・応用編 物質材料工学演習 卒業研究(物質材料工学)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	<p>鯉沼 陸央 &lt;平成30年4月&gt; 博士(理学)</p> <p>工学基礎実験 無機化学Ⅰ 化学実験Ⅳ 化学コミュニケーション 卒業研究(応用生命化学・応用物質化学)</p>
専	准教授	<p>小塚 敏之 &lt;平成30年4月&gt; 博士(工学)</p> <p>工学基礎実験 数学演習Ⅱ 移動速度論 凝固工学 鉄鋼製錬工学 非鉄製錬工学 物質材料工学実験・基礎編 物質材料工学実験・応用編 物質材料工学演習 卒業研究(物質材料工学) 物理学入門(A)</p>

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	<p>鯉沼 陸央 &lt;平成30年4月&gt; 博士(理学)</p> <p>工学基礎実験 無機化学Ⅰ 化学実験Ⅳ 化学コミュニケーション 卒業研究(応用生命化学・応用物質化学)</p>
専	准教授	<p>小塚 敏之 &lt;平成30年4月&gt; 博士(工学)</p> <p>工学基礎実験 数学演習Ⅱ 移動速度論 凝固工学 鉄鋼製錬工学 非鉄製錬工学 物質材料工学実験・基礎編 物質材料工学実験・応用編 物質材料工学演習 卒業研究(物質材料工学) 物理学入門(A) <b>物理学の世界(A)</b></p>

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	<p>山崎 倫昭 &lt;平成30年4月&gt; 博士(工学)</p> <p>工学基礎実験 材料物理化学 材料電気化学 腐食防食学 <b>機器製作実習</b> 物質材料工学実験・基礎編 物質材料工学実験・応用編 物質材料工学演習 卒業研究(物質材料工学) <b>物質材料工学基礎</b></p>
専	准教授	<p>大山 順也 &lt;平成30年6月&gt; 博士(工学)</p> <p>工学英語Ⅰ 工学英語Ⅱ 数学演習Ⅰ 化学実験Ⅳ 化学コミュニケーション 卒業研究(応用生命化学・応用物質化学)</p>
専	准教授	<p>鯉沼 陸央 &lt;平成30年4月&gt; 博士(理学)</p> <p><b>物理・化学Ⅰ</b> 工学基礎実験 無機化学Ⅰ 化学実験Ⅳ 化学コミュニケーション 卒業研究(応用生命化学・応用物質化学)</p>
専	准教授	<p>小塚 敏之 &lt;平成30年4月&gt; 博士(工学)</p> <p>工学基礎実験 移動速度論 凝固工学 鉄鋼製錬工学 非鉄製錬工学 物質材料工学実験・基礎編 物質材料工学実験・応用編 物質材料工学演習 卒業研究(物質材料工学) 物理学入門(A) <b>物理学の世界(A)</b></p>
専	准教授	<p>坂田 真砂代 &lt;平成31年4月&gt; 博士(工学)</p> <p><b>物理・化学Ⅰ</b> <b>高分子化学</b></p>

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	佐々木 満 ＜平成30年4月＞ 博士(工学)
		物理・化学Ⅱ 工学基礎実験 化学実験Ⅴ 環境ISO 化学コミュニケーション 卒業研究(応用生命化学・応用物質化学) ものづくりの科学と技術(D)
専	准教授	杉本 学 ＜平成30年4月＞ 博士(工学)
		工学基礎実験 量子化学 化学実験Ⅳ 化学コミュニケーション 卒業研究(応用生命化学・応用物質化学)
専	准教授	高藤 誠 ＜平成30年4月＞ 博士(学術)
		工学基礎実験 有機化学基礎 化学実験Ⅱ 化学コミュニケーション 卒業研究(応用生命化学・応用物質化学)
専	准教授	西山 勝彦 ＜平成30年4月＞ 博士(工学)
		工学基礎実験 化学実験Ⅴ 電気化学 化学コミュニケーション 卒業研究(応用生命化学・応用物質化学)
専	准教授	橋新 剛 ＜平成30年4月＞ 博士(工学)
		物理・化学Ⅰ 工学基礎実験 数学演習Ⅱ 電子材料工学 物質材料工学実験・基礎編 物質材料工学実験・応用編 物質材料工学演習 卒業研究(物質材料工学)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	佐々木 満 ＜平成30年4月＞ 博士(工学)
		物理・化学Ⅱ 工学基礎実験 化学実験Ⅴ 環境ISO 化学コミュニケーション 卒業研究(応用生命化学・応用物質化学) ものづくりの科学と技術(D)
専	准教授	杉本 学 ＜平成30年4月＞ 博士(工学)
		工学基礎実験 量子化学 化学実験Ⅳ 化学コミュニケーション 卒業研究(応用生命化学・応用物質化学) <b>ものづくりの科学と技術(G)</b>
専	准教授	高藤 誠 ＜平成30年4月＞ 博士(学術)
		工学基礎実験 有機化学基礎 化学実験Ⅱ 化学コミュニケーション 卒業研究(応用生命化学・応用物質化学)
専	准教授	西山 勝彦 ＜平成30年4月＞ 博士(工学)
		工学基礎実験 化学実験Ⅴ 電気化学 化学コミュニケーション 卒業研究(応用生命化学・応用物質化学)
専	准教授	橋新 剛 ＜平成30年4月＞ 博士(工学)
		物理・化学Ⅰ 工学基礎実験 数学演習Ⅱ 電子材料工学 物質材料工学実験・基礎編 物質材料工学実験・応用編 物質材料工学演習 卒業研究(物質材料工学) <b>ものづくりの科学と技術(H)</b>

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	佐々木 満 ＜平成30年4月＞ 博士(工学)
		工学基礎実験 <b>反応工学</b> 化学実験Ⅴ 環境ISO 化学コミュニケーション 卒業研究(応用生命化学・応用物質化学)
専	准教授	杉本 学 ＜平成30年4月＞ 博士(工学)
		工学基礎実験 量子化学 化学実験Ⅳ 化学コミュニケーション 卒業研究(応用生命化学・応用物質化学)
専	准教授	高藤 誠 ＜平成30年4月＞ 博士(学術)
		工学基礎実験 有機化学基礎 化学コミュニケーション 卒業研究(応用生命化学・応用物質化学)
専	准教授	西山 勝彦 ＜平成30年4月＞ 博士(工学)
		工学基礎実験 化学実験Ⅴ 電気化学 化学コミュニケーション 卒業研究(応用生命化学・応用物質化学)
専	准教授	橋新 剛 ＜平成30年4月＞ 博士(工学)
		<b>物理・化学Ⅱ</b> 工学基礎実験 数学演習Ⅱ 電子材料工学 物質材料工学実験・基礎編 物質材料工学実験・応用編 物質材料工学演習 卒業研究(物質材料工学)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	深港 豪 <平成30年4月> 博士(工学)
		有機化学Ⅰ 化学実験Ⅱ 化学コミュニケーション 卒業研究(応用生命化学・応用物質化学)
専	准教授	松田 光弘 <平成30年4月> 博士(工学)
		物理・化学Ⅰ 工学基礎実験 固体内の拡散 機器製作実習 物質材料工学実験・基礎編 物質材料工学実験・応用編 物質材料工学演習 卒業研究(物質材料工学)
専	准教授	眞山 剛 <平成30年4月> 博士(工学)
		工学基礎実験 物理学基礎 塑性加工学 非鉄金属学 物質材料工学実験・基礎編 物質材料工学実験・応用編 物質材料工学演習 卒業研究(物質材料工学)
専	准教授	峯 洋二 <平成30年4月> 博士(工学)
		工学基礎実験 結晶学 材料力学 物質材料工学実験・基礎編 物質材料工学実験・応用編 物質材料工学演習 卒業研究(物質材料工学)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	深港 豪 <平成30年4月> 博士(工学)
		有機化学Ⅰ 化学実験Ⅱ 化学コミュニケーション 卒業研究(応用生命化学・応用物質化学)
専	准教授	松田 光弘 <平成30年4月> 博士(工学)
		物理・化学Ⅰ 工学基礎実験 固体内の拡散 機器製作実習 物質材料工学実験・基礎編 物質材料工学実験・応用編 物質材料工学演習 卒業研究(物質材料工学)
専	准教授	眞山 剛 <平成30年4月> 博士(工学)
		工学基礎実験 物理学基礎 塑性加工学 非鉄金属学 物質材料工学実験・基礎編 物質材料工学実験・応用編 物質材料工学演習 卒業研究(物質材料工学)
専	准教授	

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	深港 豪 <平成30年4月> 博士(工学)
		物理・化学Ⅰ 有機化学Ⅰ 化学コミュニケーション 卒業研究(応用生命化学・応用物質化学)
専	准教授	松川 義孝 <平成31年2月> 博士(工学)
		工学英語Ⅰ 工学英語Ⅱ 工学基礎実験 物質材料工学実験・基礎編 物質材料工学実験・応用編 物質材料工学演習 卒業研究(物質材料工学)
専	准教授	松田 光弘 <平成30年4月> 博士(工学)
		物理・化学Ⅱ 工学基礎実験 固体内の拡散 物質材料工学実験・基礎編 物質材料工学実験・応用編 物質材料工学演習 卒業研究(物質材料工学)
専	准教授	眞山 剛 <平成30年4月> 博士(工学)
		工学基礎実験 数学演習Ⅱ 物理学基礎 塑性加工学 非鉄金属学 機器製作実習 物質材料工学実験・基礎編 物質材料工学実験・応用編 物質材料工学演習 卒業研究(物質材料工学)
専	准教授	

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	森村 茂 <平成30年4月> 博士(工学)
		工学基礎実験 化学実験Ⅲ バイオテクノロジー 化学コミュニケーション 卒業研究(応用生命化学・応用物質化学) ものづくりの科学と技術(D)
専	准教授	山崎 倫昭 <平成30年4月> 博士(工学)
		工学基礎実験 材料物理化学 材料電気化学 腐食防食学 物質材料工学実験・基礎編 物質材料工学実験・応用編 物質材料工学演習 卒業研究(物質材料工学)
専	准教授	横井 裕之 <平成30年4月> 博士(工学)
		工学基礎実験 物理学基礎 物性物理学 物質材料工学実験・基礎編 物質材料工学実験・応用編 物質材料工学演習 卒業研究(物質材料工学) 物理学入門(A)
専	准教授	吉本 惣一郎 <平成30年4月> 博士(工学)
		物理・化学Ⅱ 工学基礎実験 化学実験Ⅰ 化学コミュニケーション 卒業研究(応用生命化学・応用物質化学) ものづくりの科学と技術(E)
専	准教授	井上 尚夫 <平成30年4月>

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	森村 茂 <平成30年4月> 博士(工学)
		工学基礎実験 化学実験Ⅲ バイオテクノロジー 化学コミュニケーション 卒業研究(応用生命化学・応用物質化学) ものづくりの科学と技術(D)
専	准教授	山崎 倫昭 <平成30年4月> 博士(工学)
		工学基礎実験 材料物理化学 材料電気化学 腐食防食学 物質材料工学実験・基礎編 物質材料工学実験・応用編 物質材料工学演習 卒業研究(物質材料工学) 社会と企業 ものづくりの科学と技術(H)
専	准教授	横井 裕之 <平成30年4月> 博士(工学)
		工学基礎実験 物理学基礎 物性物理学 物質材料工学実験・基礎編 物質材料工学実験・応用編 物質材料工学演習 卒業研究(物質材料工学) 物理学入門(B)
専	准教授	吉本 惣一郎 <平成30年4月> 博士(工学)
		物理・化学Ⅱ 工学基礎実験 化学実験Ⅰ 化学コミュニケーション 卒業研究(応用生命化学・応用物質化学) ものづくりの科学と技術(E)
専	准教授	井上 尚夫 <平成30年4月>
		微分積分Ⅰ 微分積分Ⅱ 文系のための数学入門(A) 数学の世界(a)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	森村 茂 <平成30年4月> 博士(工学)
		工学基礎実験 化学実験Ⅱ 化学実験Ⅲ バイオテクノロジー 化学コミュニケーション 卒業研究(応用生命化学・応用物質化学) ものづくりの科学と技術(D)
専	准教授	横井 裕之 <平成30年4月> 博士(工学)
		工学基礎実験 物理学基礎 物性物理学 物質材料工学実験・基礎編 物質材料工学実験・応用編 物質材料工学演習 卒業研究(物質材料工学) 物理学入門(A) 物理学入門(B)
専	准教授	吉本 惣一郎 <平成30年4月> 博士(工学)
		工学基礎実験 化学コミュニケーション 卒業研究(応用生命化学・応用物質化学) ものづくりの科学と技術(E)
専	准教授	井上 尚夫 <平成30年4月>

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	村里 泰昭 ＜平成30年4月＞
専	助教	勝田 陽介 ＜平成30年4月＞ 博士(理学)
		数学演習Ⅰ 化学実験Ⅲ 化学コミュニケーション 卒業研究(応用生命化学・応用物質化学)
専	助教	北原 弘基 ＜平成30年4月＞ 博士(工学)
		工学基礎実験 インターンシップ 機械設計製図演習 物質材料工学実験・基礎編 物質材料工学実験・応用編 産業応用演習 物質材料工学演習 卒業研究(物質材料工学)
専	助教	QUITAIN ARMANDO TIBIGIN ＜平成30年4月＞ 博士(工学)
		数学演習Ⅰ 化学実験Ⅴ 化学コミュニケーション 卒業研究(応用生命化学・応用物質化学)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	村里 泰昭 ＜平成30年4月＞
		英語A-2 英語B-1 英語B-2 英語C-2 キャリア科目51
専	助教	勝田 陽介 ＜平成30年4月＞ 博士(理学)
		数学演習Ⅰ 化学実験Ⅲ 化学コミュニケーション 卒業研究(応用生命化学・応用物質化学)
専	助教	北原 弘基 ＜平成30年4月＞ 博士(工学)
		工学基礎実験 インターンシップ 機械設計製図演習 物質材料工学実験・基礎編 物質材料工学実験・応用編 産業応用演習 物質材料工学演習 卒業研究(物質材料工学)
専	助教	

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	郭 光植 ＜平成31年4月＞ 博士(工学)
		物質材料工学実験・基礎編 物質材料工学実験・応用編 物質材料工学演習 卒業研究(物質材料工学)
専	助教	勝田 陽介 ＜平成30年4月＞ 博士(理学)
		インターンシップ 数学演習Ⅰ 化学実験Ⅰ 化学実験Ⅲ 化学コミュニケーション 卒業研究(応用生命化学・応用物質化学)
専	助教	北原 弘基 ＜平成30年4月＞ 博士(工学)
		数学演習Ⅰ インターンシップ 機械設計製図演習 物質材料工学実験・基礎編 物質材料工学実験・応用編 物質材料工学実験・応用編 産業応用演習 物質材料工学演習 卒業研究(物質材料工学)
専	助教	

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	北村 裕介 ＜平成30年4月＞ 博士(工学)
		数学演習Ⅰ 化学実験Ⅰ 化学コミュニケーション 卒業研究(応用生命化学・応用物質化学)
専	助教	金 善南 ＜平成30年4月＞ 博士(工学)
		数学演習Ⅰ 化学実験Ⅰ 化学コミュニケーション 卒業研究(応用生命化学・応用物質化学)
専	助教	桑原 穰 ＜平成30年4月＞ 博士
		数学演習Ⅰ 化学実験Ⅱ 化学コミュニケーション 卒業研究(応用生命化学・応用物質化学)
専	助教	日隈 聡士 ＜平成30年4月＞ 博士(工学)
		数学演習Ⅰ インターンシップ 化学実験Ⅳ 化学コミュニケーション 卒業研究(応用生命化学・応用物質化学)
専	助教	渡邊 智 ＜平成30年4月＞ 博士(工学)
		数学演習Ⅰ 化学実験Ⅲ 化学コミュニケーション 卒業研究(応用生命化学・応用物質化学)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	北村 裕介 ＜平成30年4月＞ 博士(工学)
		数学演習Ⅰ 化学実験Ⅰ 化学コミュニケーション 卒業研究(応用生命化学・応用物質化学)
専	助教	金 善南 ＜平成30年4月＞ 博士(工学)
		数学演習Ⅰ 化学実験Ⅰ 化学コミュニケーション 卒業研究(応用生命化学・応用物質化学)
専	助教	桑原 穰 ＜平成30年4月＞ 博士
		数学演習Ⅰ 化学実験Ⅱ 化学コミュニケーション 卒業研究(応用生命化学・応用物質化学)
専	助教	日隈 聡士 ＜平成30年4月＞ 博士(工学)
		数学演習Ⅰ インターンシップ 化学実験Ⅳ 化学コミュニケーション 卒業研究(応用生命化学・応用物質化学)
専	助教	渡邊 智 ＜平成30年4月＞ 博士(工学)
		数学演習Ⅰ 化学実験Ⅲ 化学コミュニケーション 卒業研究(応用生命化学・応用物質化学)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	北村 裕介 ＜平成30年4月＞ 博士(工学)
		数学演習Ⅰ 化学実験Ⅰ 化学コミュニケーション 卒業研究(応用生命化学・応用物質化学)
専	助教	金 善南 ＜平成30年4月＞ 博士(工学)
		数学演習Ⅰ <b>化学実験Ⅱ</b> 化学コミュニケーション 卒業研究(応用生命化学・応用物質化学)
専	助教	桑原 穰 ＜平成30年4月＞ 博士
		数学演習Ⅰ 化学実験Ⅱ 化学コミュニケーション 卒業研究(応用生命化学・応用物質化学)
専	助教	<b>芳田 嘉志</b> ＜平成31年4月＞ 博士(工学)
		数学演習Ⅰ <b>化学コミュニケーション</b> <b>卒業研究(応用生命化学・応用物質化学)</b>
専	助教	渡邊 智 ＜平成30年4月＞ 博士(工学)
		数学演習Ⅰ 化学実験Ⅲ 化学コミュニケーション 卒業研究(応用生命化学・応用物質化学)



専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専任	教授	齋藤 靖 〈平成30年4月〉
兼任	教授	濱名 裕治 〈平成30年4月〉
		文系のための数学入門(A) 数学の世界(a) 数学の世界(b) キャリア科目2 キャリア科目51
兼任	教授	市川 聡夫 〈平成30年4月〉
		物理学入門(a) 物理学入門(b)
兼任	教授	安仁屋 勝 〈平成30年4月〉
		物理学入門(c) 物理学入門(d)
兼任	教授	速水 真也 〈平成30年4月〉
		教養の化学(A)
兼任	教授	松田 真生 〈平成30年4月〉
		教養の化学(B)
兼任	教授	藤本 斉 〈平成30年4月〉
		教養の化学(a) 教養の化学(b)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専任	教授	齋藤 靖 〈平成30年4月〉
		英語A-1 英語A-2 英語B-1 英語B-2 英語C-1 キャリア科目1 キャリア科目2
兼任	教授	濱名 裕治 〈平成30年4月〉
		線形代数I 数学の世界(b)
兼任	教授	市川 聡夫 〈平成30年4月〉
		物理学基盤実験 物理学入門(a) 物理学入門(b)
兼任	教授	安仁屋 勝 〈平成30年4月〉
		物理学入門(c) 物理学入門(d)
兼任	教授	速水 真也 〈平成30年4月〉
		化学II 教養の化学(A)
兼任	教授	松田 真生 〈平成30年4月〉
		化学I 教養の化学(B)
兼任	教授	藤本 斉 〈平成30年4月〉
		教養の化学(a) 教養の化学(b) 暮らしと化学(F)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	齋藤 靖 〈平成30年4月〉 修士(文学)
		英語B-2 英語C-1 キャリア科目1 キャリア科目2
兼任	教授	村里 泰昭 〈平成30年4月〉 修士(教育学)
		英語A-2 英語B-2 キャリア科目51
兼任	教授	濱名 裕治 〈平成30年4月〉 博士(数理学)
		線形代数I 数学の世界(b)
兼任	教授	市川 聡夫 〈平成30年4月〉 博士(理学)
		物理学基盤実験 物理学入門(a) 物理学入門(b)
兼任	教授	安仁屋 勝 〈平成30年4月〉 博士(学術)
		物理学入門(c) 物理学入門(d)
兼任	教授	速水 真也 〈平成30年4月〉 博士(理学)
		化学II 教養の化学(A)
兼任	教授	松田 真生 〈平成30年4月〉 博士(理学)
		化学I 教養の化学(B)
兼任	教授	藤本 斉 〈平成30年4月〉 博士(理学)
		暮らしと化学(F)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	教授	高宗 和史 〈平成30年4月〉
		生物の世界(d)
兼担	教授	瀧尾 進 〈平成30年4月〉
		生物の世界(f)
兼担	教授	磯部 博志 〈平成30年4月〉
		地球環境の現状と人類(A) 地球環境科学の最前線(g)
兼担	教授	大谷 順 〈平成30年4月〉
		持続可能な都市と地域づくり(B)
兼担	教授	鳥居 修一 〈平成30年4月〉
		豊かさを持続させるものづくり(A)
兼担	教授	中西 義孝 〈平成30年4月〉
		豊かさを持続させるものづくり(B) ものづくりの科学と技術(B)
兼担	教授	松島 章 〈平成30年4月〉
		日々の生活に垣間見る情報と通信(A)
兼担	教授	田中 朋弘 〈平成30年4月〉
		倫理学入門(a) 倫理学入門(b)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	教授	高宗 和史 〈平成30年4月〉
		生物の世界(d)
兼担	教授	瀧尾 進 〈平成30年4月〉
		生物の世界(f)
兼担	教授	磯部 博志 〈平成30年4月〉
		地学基盤実験 地球環境の現状と人類(a) 地球環境の現状と人類(b) 地球環境科学の最前線(g)
兼担	教授	大谷 順 〈平成30年4月〉
		持続可能な都市と地域づくり(B)
兼担	教授	鳥居 修一 〈平成30年4月〉
		豊かさを持続させるものづくり(A) Introduction to Science and Technology I (b) Introduction to Science and Technology I (c)
兼担	教授	中西 義孝 〈平成30年4月〉
		豊かさを持続させるものづくり(B) ものづくりの科学と技術(B)
兼担	教授	松島 章 〈平成30年4月〉
		日々の生活に垣間見る情報と通信(A)
兼担	教授	田中 朋弘 〈平成30年4月〉
		倫理学入門(a) 倫理学入門(b)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	教授	高宗 和史 〈平成30年4月〉 博士(理学)
		生物の世界(d)
兼担	教授	瀧尾 進 〈平成30年4月〉 博士(理学)
		生物の世界(f)
兼担	教授	磯部 博志 〈平成30年4月〉 博士(理学)
		地球環境の現状と人類(a) 地球環境の現状と人類(b)
兼担	教授	大谷 順 〈平成30年4月〉 修士(工学)
		持続可能な都市と地域づくり(B)
兼担	教授	鳥居 修一 〈平成30年4月〉 博士(工学)
		豊かさを持続させるものづくり(A) Introduction to Science and Technology I (b) Introduction to Science and Technology I (c)
兼担	教授	中西 義孝 〈平成30年4月〉 博士(工学)
		豊かさを持続させるものづくり(B) ものづくりの科学と技術(B)
兼担	教授	松島 章 〈平成30年4月〉 博士(工学)
		日々の生活に垣間見る情報と通信(A)
兼担	教授	田中 朋弘 〈平成30年4月〉 博士(文学)
		倫理学入門(a) 倫理学入門(b)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	八幡 英幸 ＜平成30年4月＞
		倫理学入門(e) 倫理学入門(f)
兼任	教授	千川 隆 ＜平成30年4月＞
		現代心理行動学(a)
兼任	教授	藤田 豊 ＜平成30年4月＞
		こころの科学(A)
兼任	教授	堀畑 正臣 ＜平成30年4月＞
		言語の諸相(a) 言語の諸相(b)
兼任	教授	児玉 望 ＜平成30年4月＞
		言語の諸相(c) 言語の諸相(d)
兼任	教授	小畑 弘己 ＜平成30年4月＞
		日本事情(C) モノが語る歴史(a) モノが語る歴史(b)
兼任	教授	伊藤 正彦 ＜平成30年4月＞
		地域の世界史(g) 地域の世界史(h)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	八幡 英幸 ＜平成30年4月＞
		倫理学入門(e) 倫理学入門(f)
兼任	教授	藤田 豊 ＜平成30年4月＞
		こころの科学(A)
兼任	教授	國枝 春恵 ＜平成30年4月＞
		芸術文化論(B)
兼任	教授	堀畑 正臣 ＜平成30年4月＞
		言語の諸相(a) 言語の諸相(b)
兼任	教授	児玉 望 ＜平成30年4月＞
		言語の諸相(c) 言語の諸相(d)
兼任	教授	小畑 弘己 ＜平成30年4月＞
		モノが語る歴史(e) モノが語る歴史(f)
兼任	教授	伊藤 正彦 ＜平成30年4月＞
		地域の世界史(g)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	八幡 英幸 ＜平成30年4月＞ 博士(文学)
		倫理学入門(i) 倫理学入門(j)
兼任	教授	千川 隆 ＜平成31年4月＞ 博士(人間環境学)
		現代心理行動学(a)
兼任	教授	藤田 豊 ＜平成30年4月＞ 博士(教育心理学)
		こころの科学(A)
兼任	教授	國枝 春恵 ＜平成30年4月＞ 修士(芸術学)
		芸術文化論(B)
兼任	教授	堀畑 正臣 ＜平成30年4月＞ 博士(文学)
		言語の諸相(a) 言語の諸相(b)
兼任	教授	児玉 望 ＜平成30年4月＞ 修士(文学)
		言語の諸相(c) 言語の諸相(d)
兼任	教授	小畑 弘己 ＜平成30年4月＞ 博士(文学)
		モノが語る歴史(e) モノが語る歴史(f)
兼任	教授	伊藤 正彦 ＜平成30年4月＞ 博士(文学)
		地域の世界史(A)
兼任	教授	紺屋 博昭 ＜平成31年4月＞ 博士(法学)
		法学の基礎(G)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	魚住 弘久 〈平成30年4月〉 現代政治の諸相(a)
兼任	教授	牧野 厚史 〈平成30年4月〉 肥後熊本学 最前線の社会文化研究(D)
兼任	教授	山下 裕作 〈平成30年4月〉 最前線の社会文化研究(a) 最前線の社会文化研究(b)
兼任	教授	シンジルト 〈平成30年4月〉 最前線の社会文化研究(c) 最前線の社会文化研究(d)
兼任	教授	山本 努 〈平成30年4月〉 現代社会の解読(a) 現代社会の解読(b)
兼任	教授	中川 輝彦 〈平成30年4月〉 日本事情(D) 現代社会の解読(c) 現代社会の解読(d)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	矢原 隆行 〈平成30年4月〉 最前線の社会文化研究(D)
兼任	教授	山下 裕作 〈平成30年4月〉 最前線の社会文化研究(B)
兼任	教授	シンジルト 〈平成30年4月〉 最前線の社会文化研究(c) 最前線の社会文化研究(d)
兼任	教授	山本 努 〈平成30年4月〉 現代社会の解読(a)
兼任	教授	中川 輝彦 〈平成30年4月〉 現代社会の解読(c) 現代社会の解読(d)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	渡部 薫 〈平成31年4月〉 博士(学術) 現代政治の諸相(A)
兼任	教授	魚住 弘久 〈平成30年4月〉 博士(法学) 現代政治の諸相(a)
兼任	教授	牧野 厚史 〈平成30年4月〉 博士(社会学) 最前線の社会文化研究(i) 最前線の社会文化研究(j)
兼任	教授	矢原 隆行 〈平成30年4月〉 修士(文学) 最前線の社会文化研究(D)
兼任	教授	山下 裕作 〈平成30年4月〉 博士(文学) 最前線の社会文化研究(a)
兼任	教授	シンジルト 〈平成30年4月〉 博士(社会学) 最前線の社会文化研究(k)
兼任	教授	山本 努 〈平成30年4月〉 博士(文学) 現代社会の解読(a) 現代社会の解読(b)
兼任	教授	中川 輝彦 〈平成30年4月〉 修士(人間科学) 現代社会の解読(d)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	教授	鹿嶋 洋 〈平成30年4月〉
		自然と人間の地理学(A)
兼担	教授	宮崎 誓 〈平成30年4月〉
		数学と文化(a)
兼担	教授	島田 秀昭 〈平成30年4月〉
		暮らしと化学(C)
兼担	教授	西野 宏 〈平成30年4月〉
		肥後熊本学
兼担	教授	入江 亮 〈平成30年4月〉
		化学II 暮らしと化学(a) 暮らしと化学(b)
兼担	教授	戸田 敬 〈平成30年4月〉
		化学I 化学と環境(A)
兼担	教授	田邊 力 〈平成30年4月〉
		最先端の生命科学(c)
兼担	教授	鈴 伸也 〈平成30年4月〉
		最先端の生命科学(d)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	教授	鹿嶋 洋 〈平成30年4月〉
		自然と人間の地理学(a) 自然と人間の地理学(b)
兼担	教授	宮崎 誓 〈平成30年4月〉
		数学と文化(c) 数学と文化(d)
兼担	教授	島田 秀昭 〈平成30年4月〉
		暮らしと化学(C)
兼担	教授	西野 宏 〈平成30年4月〉
		暮らしと化学(E)
兼担	教授	入江 亮 〈平成30年4月〉
		化学II 暮らしと化学(G)
兼担	教授	戸田 敬 〈平成30年4月〉
		化学と環境(a)
兼担	教授	田邊 力 〈平成30年4月〉
		最先端の生命科学(c)
兼担	教授	鈴 伸也 〈平成30年4月〉
		最先端の生命科学(d)
兼担	教授	相田 光宏 〈平成30年4月〉
		最先端の生命科学(e)
兼担	教授	副島 顕子 〈平成30年4月〉
		生物学I 最先端の生命科学(f)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	教授	鹿嶋 洋 〈平成30年4月〉 博士(理学)
		自然と人間の地理学(a)
兼担	教授	宮崎 誓 〈平成30年4月〉 博士(理学)
		数学と文化(c) 数学と文化(d)
兼担	教授	島田 秀昭 〈平成30年4月〉 博士(薬学)
		暮らしと化学(C)
兼担	教授	西野 宏 〈平成30年4月〉 博士(理学)
		肥後熊本学
兼担	教授	入江 亮 〈平成30年4月〉 博士(理学)
		暮らしと化学(G)
兼担	教授	戸田 敬 〈平成30年4月〉 博士(理学)
		化学と環境(a)
兼担	教授	田邊 力 〈平成30年4月〉 博士(理学)
		最先端の生命科学(c)
兼担	教授	鈴 伸也 〈平成30年4月〉 博士(医学)
		最先端の生命科学(d)
兼担	教授	相田 光宏 〈平成30年4月〉 博士(理学)
		最先端の生命科学(e)
兼担	教授	副島 顕子 〈平成30年4月〉 博士(理学)
		生物学I

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	松田 博貴 〈平成30年4月〉
		地学基盤実験 地球環境科学の最前線(A)
兼任	教授	溝上 章志 〈平成30年4月〉
		地域づくりと科学技術(A)
兼任	教授	伊東 龍一 〈平成30年4月〉
		地域づくりと科学技術(C) 地域づくりと科学技術(F)
兼任	教授	藤原 和人 〈平成30年4月〉
		ものづくりの科学と技術(A)
兼任	教授	丸茂 康男 〈平成30年4月〉
		ものづくりの科学と技術(C)
兼任	教授	尾池 雄一 〈平成30年4月〉
		病気の医科学(A)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	松田 博貴 〈平成30年4月〉
		地球環境科学の最前線(A)
兼任	教授	溝上 章志 〈平成30年4月〉
		地域づくりと科学技術(A)
兼任	教授	伊東 龍一 〈平成30年4月〉
		地域づくりと科学技術(C) 地域づくりと科学技術(F)
兼任	教授	藤原 和人 〈平成30年4月〉
		ものづくりの科学と技術(A)
兼任	教授	丸茂 康男 〈平成30年4月〉
		ものづくりの科学と技術(C)
兼任	教授	松永 信智 〈平成30年4月〉
		暮らしと情報・通信技術(a)
兼任	教授	飯田 全広 〈平成30年4月〉
		暮らしと情報・通信技術(b)
兼任	教授	池上 知顕 〈平成30年4月〉
		暮らしと情報・通信技術(c)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	松田 博貴 〈平成30年4月〉 修士(理学)
		地球環境科学の最前線(A)
兼任	教授	溝上 章志 〈平成30年4月〉 博士(工学)
		地域づくりと科学技術(A)
兼任	教授	伊東 龍一 〈平成30年4月〉 博士(工学)
		地域づくりと科学技術(C) 地域づくりと科学技術(F)
兼任	教授	藤原 和人 〈平成30年4月〉 博士(学術)
		ものづくりの科学と技術(A)
兼任	教授	丸茂 康男 〈平成30年4月〉 博士(工学)
		ものづくりの科学と技術(C)
兼任	教授	松永 信智 〈平成30年4月〉 博士(学術)
		暮らしと情報・通信技術(a)
兼任	教授	飯田 全広 〈平成30年4月〉 博士(工学)
		暮らしと情報・通信技術(b)
兼任	教授	池上 知顕 〈平成30年4月〉 博士(工学)
		暮らしと情報・通信技術(c)
兼任	教授	尾池 雄一 〈平成31年4月〉 博士(医学)
		病気の医科学(A)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	門岡 康弘 〈平成30年4月〉 現代社会と医学(A)
兼任	教授	荒木 不次男 〈平成30年4月〉 医療における理工学(c)
兼任	教授	船間 芳憲 〈平成30年4月〉 医療における理工学(d)
兼任	教授	奥宮 敏可 〈平成30年4月〉 現代の医学検査(a)
兼任	教授	大坪 和明 〈平成30年4月〉 現代医療と生命科学(a)
兼任	教授	畑 裕之 〈平成30年4月〉 現代医療と生命科学(b)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	門岡 康弘 〈平成30年4月〉 現代社会と医学(A)
兼任	教授	荒木 不次男 〈平成30年4月〉 医療における理工学(b) 医療における理工学(e)
兼任	教授	船間 芳憲 〈平成30年4月〉 医療における理工学(c)
兼任	教授	奥宮 敏可 〈平成30年4月〉 現代の医学検査(a)
兼任	教授	大坪 和明 〈平成30年4月〉 現代医療と生命科学(a)
兼任	教授	畑 裕之 〈平成30年4月〉 現代医療と生命科学(b)
兼任	教授	中島 誠 〈平成30年4月〉 薬科学入門(A)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	宇宿 功市郎 〈平成31年4月〉 博士(医学) 臨床医学の最前線(A)
兼任	教授	門岡 康弘 〈平成30年4月〉 博士(医学) 現代社会と医学(A)
兼任	教授	三笥 里香 〈平成31年4月〉 博士(看護学) 心身の健康と看護(A)
兼任	教授	荒木 不次男 〈平成30年4月〉 博士(工学) 医療における理工学(b)
兼任	教授	船間 芳憲 〈平成30年4月〉 博士(工学) 医療における理工学(c)
兼任	教授	奥宮 敏可 〈平成30年4月〉 博士(医学) 現代の医学検査(a)
兼任	教授	大坪 和明 〈平成30年4月〉 博士(薬学) 現代医療と生命科学(a)
兼任	教授	畑 裕之 〈平成30年4月〉 博士(医学) 現代医療と生命科学(b)
兼任	教授	中島 誠 〈平成30年4月〉 博士(薬学) 薬科学入門(A)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	教授	森岡 弘志 〈平成30年4月〉
		薬科学入門(B)
兼担	教授	入江 徹美 〈平成30年4月〉
		現代社会と薬学(A) 開放科目9 開放科目10
兼担	教授	古田 弘子 〈平成30年4月〉
		現代教育について考える(B) 開放科目1
兼担	教授	寺本 渉 〈平成30年4月〉
		心理学の探求(A)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	教授	森岡 弘志 〈平成30年4月〉
		薬科学入門(a) 薬科学入門(b)
兼担	教授	入江 徹美 〈平成30年4月〉
		開放科目9 開放科目10
兼担	教授	古田 弘子 〈平成30年4月〉
		現代教育について考える(a) 開放科目1
兼担	教授	寺本 渉 〈平成30年4月〉
		心理学の探求(A)
兼担	教授	新井 英永 〈平成30年4月〉
		現代世界の形成と課題(b)
兼担	教授	上田 理恵子 〈平成30年4月〉
		暮らしの中の憲法
兼担	教授	山下 徹 〈平成30年4月〉
		英語A-2 英語B-2 英語C-1 英語C-2

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	教授	森岡 弘志 〈平成30年4月〉 博士(薬学)
		薬科学入門(B)
兼担	教授	入江 徹美 〈平成30年4月〉 博士(薬学)
		開放科目9
兼担	教授	古田 弘子 〈平成30年4月〉 博士(心身障害学)
		現代教育について考える(a)
兼担	教授	寺本 渉 〈平成30年4月〉 博士(学術)
		心理学の探求(A)
兼担	教授	新井 英永 〈平成30年4月〉 博士(文学)
		現代世界の形成と課題(b) 現代世界の形成と課題(e)
兼担	教授	上田 理恵子 〈平成30年4月〉 博士(法学)
		暮らしの中の憲法
兼担	教授	岡本 友子 〈平成31年4月〉 修士(法学)
		最先端の法学(B) 肥後熊本学
兼担	教授	ハンセン ケリー 〈平成31年4月〉 博士
		英語A-1 英語C-1
兼担	教授	山下 徹 〈平成30年4月〉 修士(教育学)
		英語A-2 英語B-2 英語C-2



専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	松瀬 憲司 〈平成30年4月〉
		英語A-2 英語B-1 英語B-2
兼任	教授	萩野 藏平 〈平成30年4月〉
		ドイツ語A-1 ドイツ語A-2

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	松瀬 憲司 〈平成30年4月〉
		英語A-1 英語A-2 英語B-1 英語B-2 英語C-1
兼任	教授	折田 充 〈平成30年4月〉
		英語A-1 英語A-2 英語B-1 英語B-2 英語C-1 英語C-2
兼任	教授	隈元 貞広 〈平成30年4月〉
		英語A-2 英語B-1 英語C-1
兼任	教授	大野 龍浩 〈平成30年4月〉
		英語A-2 英語B-1 英語B-2
兼任	教授	島谷 浩 〈平成30年4月〉
		英語B-1 英語B-2
兼任	教授	萩野 藏平 〈平成30年4月〉
		ドイツ語A-1 ドイツ語A-2 ドイツ語C-1
兼任	教授	竹内 裕 〈平成30年4月〉
		フランス語B-1 フランス語B-2  フランス語a-1 フランス語a-2 フランス語I-1 フランス語I-2

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	松瀬 憲司 〈平成30年4月〉 修士(文学)
		英語A-2 英語B-2
兼任	教授	折田 充 〈平成30年4月〉 修士(文学)
		英語A-2 英語B-2 英語C-1 英語C-2
兼任	教授	隈元 貞広 〈平成30年4月〉 博士(比較社会文化)
		英語A-2 英語B-1 英語C-1
兼任	教授	大野 龍浩 〈平成30年4月〉 修士
		英語A-2 英語B-2 英語C-2
兼任	教授	島谷 浩 〈平成30年4月〉 修士(文学)
		英語B-1 英語B-2
兼任	教授	萩野 藏平 〈平成30年4月〉 修士(文学)
		ドイツ語A-1 ドイツ語A-2 ドイツ語C-1
兼任	教授	竹内 裕 〈平成30年4月〉 修士(学術)
		フランス語C-1 フランス語C-2  ヘブライ語I-1 ヘブライ語I-2

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	教授	濱田 明 〈平成30年4月〉
		フランス語D-1 フランス語D-2
兼担	教授	劉 静華 〈平成30年4月〉
		中国語A-1 中国語A-2 中国語B-1 中国語B-2
兼担	教授	朴 美子 〈平成30年4月〉
		コリア語A-1 コリア語A-2 コリア語D-1 コリア語D-2

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	教授	濱田 明 〈平成30年4月〉
		フランス語A-1 フランス語A-2 フランス語a-1 フランス語a-2 フランス語C-1 フランス語C-2 フランス語III-1 フランス語III-2
兼担	教授	黨 武彦 〈平成30年4月〉
		中国語A-1 中国語A-2 中国語B-1 中国語B-2
兼担	教授	葉 陵陵 〈平成30年4月〉
		中国語A-1 中国語A-2 中国語B-1 中国語B-2
兼担	教授	西楨 偉 〈平成30年4月〉
		中国語A-1 中国語A-2 中国語B-1 中国語B-2  中国語D-1 中国語D-2
兼担	教授	朴 美子 〈平成30年4月〉
		コリア語A-1 コリア語A-2 コリア語D-1 コリア語D-2

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	教授	濱田 明 〈平成30年4月〉 修士
		フランス語A-1 フランス語A-2  フランス語C-1 フランス語C-2  フランス語III-2
兼担	教授	劉 静華 〈平成31年4月〉 博士(文学)
		中国語A-1 中国語A-2 中国語B-1 中国語B-2
兼担	教授	黨 武彦 〈平成30年4月〉 博士(文学)
		中国語A-1 中国語A-2 中国語B-1 中国語B-2
兼担	教授	葉 陵陵 〈平成30年4月〉 博士(法学)
		中国語A-1 中国語A-2 中国語B-1 中国語B-2
兼担	教授	西楨 偉 〈平成30年4月〉 博士(学術)
		中国語C-1 中国語C-2  中国語II-1 中国語II-2
兼担	教授	朴 美子 〈平成30年4月〉 博士(文学)
		コリア語A-1 コリア語A-2  コリア語II-1 コリア語II-2

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	教授	喜多 敏博 〈平成30年4月〉
		情報処理概論
兼担	教授	戸田 真志 〈平成30年4月〉
		情報処理概論
兼担	教授	杉谷 賢一 〈平成30年4月〉
		情報処理概論
兼担	教授	中野 裕司 〈平成30年4月〉
		情報処理概論
兼担	教授	武蔵 泰雄 〈平成30年4月〉
		情報処理概論
兼担	教授	岡田 行雄 〈平成30年4月〉
		肥後熊本学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	教授	喜多 敏博 〈平成30年4月〉
		情報基礎A 情報基礎B 情報処理概論
兼担	教授	戸田 真志 〈平成30年4月〉
		情報基礎A 情報基礎B 情報処理概論
兼担	教授	杉谷 賢一 〈平成30年4月〉
		情報基礎A 情報基礎B 情報処理概論
兼担	教授	中野 裕司 〈平成30年4月〉
		情報基礎A 情報基礎B 情報処理概論
兼担	教授	武蔵 泰雄 〈平成30年4月〉
		情報基礎A 情報基礎B 情報処理概論
兼担	教授	岡田 行雄 〈平成30年4月〉
		肥後熊本学 キャリア科目13
兼担	教授	澤 智裕 〈平成30年4月〉
		肥後熊本学
兼担	教授	金 大弘 〈平成30年4月〉
		微分積分I

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	教授	喜多 敏博 〈平成30年4月〉 博士(工学)
		情報基礎A 情報基礎B 情報処理概論
兼担	教授	戸田 真志 〈平成30年4月〉 博士(工学)
		情報基礎A 情報基礎B 情報処理概論
兼担	教授	杉谷 賢一 〈平成30年4月〉 博士(工学)
		情報基礎A 情報基礎B 情報処理概論
兼担	教授	中野 裕司 〈平成30年4月〉 博士(理学)
		情報基礎A 情報基礎B 情報処理概論
兼担	教授	武蔵 泰雄 〈平成30年4月〉 博士(学術)
		情報基礎A 情報基礎B 情報処理概論
兼担	教授	岡田 行雄 〈平成30年4月〉 博士(法学)
		キャリア科目13
兼担	教授	澤 智裕 〈平成30年4月〉 博士(工学)
		肥後熊本学
兼担	教授	春田 直紀 〈平成31年4月〉 修士(文学)
		肥後熊本学
兼担	教授	金 大弘 〈平成30年4月〉 博士(理学)
		微分積分I 微分積分II

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	原岡 喜重 〈平成30年4月〉 微分積分I 微分積分II 線形代数I 線形代数II
兼任	教授	赤井 一郎 〈平成30年4月〉 開放科目2

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	原岡 喜重 〈平成30年4月〉 微分積分I 微分積分II 線形代数I 線形代数II
兼任	教授	三沢 正史 〈平成30年4月〉 微分積分I 微分積分II
兼任	教授	鷲見 直哉 〈平成30年4月〉 線形代数II
兼任	教授	木村 弘信 〈平成30年4月〉 微分積分I 微分積分II
兼任	教授	城本 啓介 〈平成30年4月〉 線形代数I 線形代数II
兼任	教授	下條 冬樹 〈平成30年4月〉 物理学I 物理学II
兼任	教授	赤井 一郎 〈平成30年4月〉 物理学I 物理学II 物理学基礎実験
兼任	教授	小出 眞路 〈平成30年4月〉 物理学II

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	北 直泰 〈平成31年4月〉 博士(数理学) 微分積分I
兼任	教授	原岡 喜重 〈平成30年4月〉 博士(理学) 数学の世界A 微分積分I 微分積分II 線形代数II
兼任	教授	三沢 正史 〈平成30年4月〉 博士(理学) 微分積分I 微分積分II
兼任	教授	鷲見 直哉 〈平成30年4月〉 博士(理学) 微分積分II 線形代数I 線形代数II
兼任	教授	木村 弘信 〈平成30年4月〉 博士(理学) 微分積分I
兼任	教授	城本 啓介 〈平成30年4月〉 博士(理学) 線形代数I 線形代数II
兼任	教授	下條 冬樹 〈平成30年4月〉 博士(理学) 物理学I 物理学II
兼任	教授	赤井 一郎 〈平成30年4月〉 博士(理学) 物理学I 物理学II
兼任	教授	小出 眞路 〈平成30年4月〉 博士(理学) 物理学II

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	斉藤 寿仁 〈平成30年4月〉
		生物学I
兼任	教授	澤 進一郎 〈平成30年4月〉
		生物学II
兼任	教授	渋谷 秀敏 〈平成30年4月〉
		地学I
兼任	教授	大石 康晴 〈平成30年4月〉
		体育・スポーツ科学 キャリア科目6 キャリア科目7
兼任	教授	八幡 彩子 〈平成30年4月〉
		キャリア科目3
兼任	教授	水元 豊文 〈平成30年4月〉
		キャリア科目5

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	斉藤 寿仁 〈平成30年4月〉
		生物学I
兼任	教授	澤 進一郎 〈平成30年4月〉
		生物学II
兼任	教授	高野 博嘉 〈平成30年4月〉
		生物学II
兼任	教授	渋谷 秀敏 〈平成30年4月〉
		地学I
兼任	教授	井福 裕俊 〈平成30年4月〉
		体育・スポーツ科学
兼任	教授	大石 康晴 〈平成30年4月〉
		体育・スポーツ科学
兼任	教授	八幡 彩子 〈平成30年4月〉
		キャリア科目3
兼任	教授	水元 豊文 〈平成30年4月〉
		キャリア科目5
兼任	教授	塚本 光夫 〈平成30年4月〉
		キャリア科目6 キャリア科目7

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	斉藤 寿仁 〈平成30年4月〉 博士(農学)
		生物学I
兼任	教授	澤 進一郎 〈平成30年4月〉 博士(理学)
		生物学II
兼任	教授	高野 博嘉 〈平成30年4月〉 博士(理学)
		生物学II
兼任	教授	渋谷 秀敏 〈平成30年4月〉 博士(理学)
		地学I 地学基盤実験
兼任	教授	井福 裕俊 〈平成30年4月〉 博士(医学)
		体育・スポーツ科学
兼任	教授	大石 康晴 〈平成30年4月〉 博士(医学)
		体育・スポーツ科学
兼任	教授	八幡 彩子 〈平成30年4月〉 博士(学術)
		キャリア科目3
兼任	教授	水元 豊文 〈平成30年4月〉 修士(文学)
		キャリア科目5
兼任	教授	塚本 光夫 〈平成30年4月〉 博士(工学)
		キャリア科目6 キャリア科目7

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	KOIKE URSULA HELENA 〈平成30年4月〉
		World History (a) World History (b) Basic Economics (a) Basic Economics (b) Music and Humanity (a) Area Studies (a) Area Studies (c) Area Studies (d) Global Career Development (a) Global Career Development (b)
兼任	教授	都竹 茂樹 〈平成30年4月〉
		Area Studies (E)
兼任	教授	大本 照憲 〈平成30年4月〉
		持続可能な都市と地域づくり (B)
兼任	教授	辻本 剛三 〈平成30年4月〉
		持続可能な都市と地域づくり (B)
兼任	准教授	木村 博子 〈平成30年4月〉
		芸術文化論(A)
兼任	教授	深町 公信 〈平成30年4月〉
		法学の基礎(A)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	中村 輝 〈平成30年4月〉
		開放科目16
兼任	教授	KOIKE URSULA HELENA 〈平成30年4月〉
		World History (a) World History (b) <b>Academic Foundations (a)</b> Area Studies (a)  Global Career Development (a) Global Career Development (b)
兼任	教授	都竹 茂樹 〈平成30年4月〉
		<b>Area Studies (e)</b>
兼任	教授	大本 照憲 〈平成30年4月〉
		持続可能な都市と地域づくり (B)
兼任	教授	辻本 剛三 〈平成30年4月〉
		持続可能な都市と地域づくり (B)
兼任	教授	木村 博子 〈平成30年4月〉
		芸術文化論(A)
兼任	教授	深町 公信 〈平成30年4月〉
		法学の基礎(A)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	大河内 彩子 〈平成31年4月〉 博士(保健学)
		キャリア科目16
兼任	教授	中村 輝 〈平成30年4月〉 博士(理学)
		開放科目16
兼任	教授	KOIKE URSULA HELENA 〈平成30年4月〉 博士
		World History (a) World History (b) <b>Academic Foundations (a)</b> Area Studies (a)  <b>Area Studies (i)</b> Global Career Development (a) Global Career Development (b)
兼任	教授	都竹 茂樹 〈平成30年4月〉 博士(医学)
		<b>健康の科学(D)</b>

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	教授	林 一郎 〈平成30年4月〉
		日本事情(D) 法学の基礎(C)
兼担	教授	上野 真也 〈平成30年4月〉
		現代政治の諸相(b) 現代政治の諸相(c) 現代政治の諸相(d) 現代政治の諸相(e)
兼担	教授	慶田 勝彦 〈平成30年4月〉
		最前線の社会文化研究(A) 肥後熊本学
兼担	教授	松浦 雄介 〈平成30年4月〉
		最前線の社会文化研究(e) 最前線の社会文化研究(f)
兼担	教授	長谷中 利昭 〈平成30年4月〉
		地球環境科学の最前線(g) 開放科目4
兼担	教授	川越 保徳 〈平成30年4月〉
		地域づくりと科学技術(B)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	教授	林 一郎 〈平成30年4月〉
		法学の基礎(C)
兼担	教授	松原 弘信 〈平成30年4月〉
		法学の基礎(D) 法学の基礎(E)
兼担	教授	中内 哲 〈平成30年4月〉
		法学の基礎(F)
兼担	教授	上野 真也 〈平成30年4月〉
		現代政治の諸相(b) 現代政治の諸相(c) 現代政治の諸相(d) 現代政治の諸相(e)
兼担	教授	鈴木 桂樹 〈平成30年4月〉
		現代政治の諸相(g)
兼担	教授	慶田 勝彦 〈平成30年4月〉
		最前線の社会文化研究(A) 肥後熊本学
兼担	教授	松浦 雄介 〈平成30年4月〉
		最前線の社会文化研究(e) 最前線の社会文化研究(f)
兼担	教授	長谷中 利昭 〈平成30年4月〉
		<b>肥後熊本学</b> 地球環境科学の最前線(g) 開放科目4 <b>地球環境科学の最前線(h)</b> 開放科目15
兼担	教授	川越 保徳 〈平成30年4月〉
		地域づくりと科学技術(B)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	教授	原田 信志 〈平成30年4月〉
		地域づくりと科学技術(F)
兼担	教授	福迫 武 〈平成30年4月〉
		暮らしと情報・通信技術(b)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	教授	原田 信志 〈平成30年4月〉
		地域づくりと科学技術(F)
兼担	教授	高島 和希 〈平成30年4月〉
		ものづくりの科学と技術(H)
兼担	教授	上田 裕市 〈平成30年4月〉
		暮らしと情報・通信技術(a)
兼担	教授	西本 昌彦 〈平成30年4月〉
		暮らしと情報・通信技術(a)
兼担	教授	福迫 武 〈平成30年4月〉
		暮らしと情報・通信技術(b)
兼担	教授	末吉 敏則 〈平成30年4月〉
		暮らしと情報・通信技術(b)
兼担	教授	有次 正義 〈平成30年4月〉
		暮らしと情報・通信技術(b)
兼担	教授	櫻井 保志 〈平成30年4月〉
		暮らしと情報・通信技術(b)
兼担	教授	趙 華安 〈平成30年4月〉
		暮らしと情報・通信技術(b)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名



専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	教授	勝木 淳 〈平成30年4月〉
		暮らしと情報・通信技術(c)
兼担	教授	後藤 知己 〈平成30年4月〉
		健康の科学(B)
兼担	教授	松田 芳子 〈平成30年4月〉
		健康の科学(B)
兼担	教授	仲里 仁史 〈平成30年4月〉
		健康の科学(B)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	教授	勝木 淳 〈平成30年4月〉
		暮らしと情報・通信技術(c)
兼担	教授	中村 有水 〈平成30年4月〉
		暮らしと情報・通信技術(c)
兼担	教授	藤吉 孝則 〈平成30年4月〉
		暮らしと情報・通信技術(c)
兼担	教授	後藤 知己 〈平成30年4月〉
		健康の科学(B) 健康の科学(C)
兼担	教授	松田 芳子 〈平成30年4月〉
		健康の科学(B) 健康の科学(C)
兼担	教授	仲里 仁史 〈平成30年4月〉
		健康の科学(B) 健康の科学(C)
兼担	教授	若山 友彦 〈平成30年4月〉
		病気の医科学(B)
兼担	教授	西谷 陽子 〈平成30年4月〉
		病気の医科学(C)
兼担	教授	松井 啓隆 〈平成30年4月〉
		臨床医学の最前線(B)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	富口 静二 〈平成30年4月〉
		医療における理工学(b)
兼任	教授	伊藤 茂樹 〈平成30年4月〉
		医療における理工学(d)
兼任	教授	大林 光念 〈平成30年4月〉
		現代の医学検査(b)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	藤瀬 昇 〈平成30年4月〉
		現代社会と医学(C)
兼任	教授	河野 宏明 〈平成30年4月〉
		心身の健康と看護(E)
兼任	教授	富口 静二 〈平成30年4月〉
		医療における理工学(e)
兼任	教授	伊藤 茂樹 〈平成30年4月〉
		医療における理工学(d)
兼任	教授	大林 光念 〈平成30年4月〉
		現代の医学検査(b)
兼任	教授	大森 久光 〈平成30年4月〉
		現代医療と生命科学(c)
兼任	教授	柳沼 裕二 〈平成30年4月〉
		現代医療と生命科学(c)
兼任	教授	香月 博志 〈平成30年4月〉
		薬科学入門(A)
兼任	教授	寺沢 宏明 〈平成30年4月〉
		薬科学入門(A)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	教授	宮瀬 美津子 〈平成30年4月〉 現代教育について考える(B)
兼担	教授	武田 珠美 〈平成30年4月〉 現代教育について考える(C)
兼担	教授	中山 玄三 〈平成30年4月〉 現代教育について考える(D)
兼担	教授	喜久山 悟 〈平成30年4月〉 芸術への招待(B)
兼担	教授	渡邊 高志 〈平成30年4月〉 肥後熊本学 開放科目8

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	教授	大槻 純男 〈平成30年4月〉 薬科学入門(A)
兼担	教授	塚本 佐知子 〈平成30年4月〉 薬科学入門(A)
兼担	教授	宮瀬 美津子 〈平成30年4月〉 現代教育について考える(b)
兼担	教授	武田 珠美 〈平成30年4月〉 現代教育について考える(c) 現代教育について考える(d)
兼担	教授	中山 玄三 〈平成30年4月〉 現代教育について考える(D)
兼担	教授	喜久山 悟 〈平成30年4月〉 芸術への招待(B)
兼担	教授	大澤 博明 〈平成30年4月〉 現代の政治(a)
兼担	教授	植田 均 〈平成30年4月〉 中国語A-1 中国語A-2 中国語B-1 中国語B-2
兼担	教授	渡邊 高志 〈平成30年4月〉 肥後熊本学 開放科目8

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	高宮 正之 ＜平成30年4月＞ 肥後熊本学 生物の世界(A)
兼任	教授	福島 和洋 ＜平成30年4月＞ 物理学入門(e)
兼任	教授	逸見 泰久 ＜平成30年4月＞ 生物の世界(D)
兼任	教授	佐久川 貴志 ＜平成30年4月＞ 日々の生活に垣間見る情報と通 信(A)
兼任	教授	知久馬 義朗 ＜平成30年4月＞ こころの科学(A)
兼任	教授	苑田 垂矢 ＜平成30年4月＞ 法学の基礎(B)
兼任	教授	外川 健一 ＜平成30年4月＞ 現代経済問題の諸相(a) 現代社会と経済(c)
兼任	教授	伊藤 仁一 ＜平成30年4月＞ 数学と文化(b)
兼任	教授	荒木 喜美 ＜平成30年4月＞ 最先端の生命科学(a)

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	山田 裕史 ＜平成30年4月＞ 線形代数I 線形代数II
兼任	教授	高宮 正之 ＜平成30年4月＞ 生物の世界(A)

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼担	教授	中瀧 直己 〈平成30年4月〉						
		最先端の生命科学 (b)						
兼担	教授	南 敬 〈平成30年4月〉						
		最先端の生命科学 (b) 薬科学入門 (B)						
兼担	教授	山梨 八重子 〈平成30年4月〉						
		健康の科学 (B)						
兼担	教授	押海 裕之 〈平成30年4月〉						
		病気の医科学 (A)						
兼担	教授	山縣 和也 〈平成30年4月〉						
		病気の医科学 (A)						
兼担	教授	富澤 一仁 〈平成30年4月〉						
		病気の医科学 (A)						
兼担	教授	岩本 和也 〈平成30年4月〉						
		病気の医科学 (A)						
兼担	教授	福田 孝一 〈平成30年4月〉						
		病気の医科学 (A) 病気の医科学 (B)						
兼担	教授	大屋 夏生 〈平成30年4月〉						
		臨床医学の最前線 (A)						
兼担	教授	白石 順二 〈平成30年4月〉						
		医療における理工学 (a)						

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼担	教授	村上 龍次 〈平成30年4月〉						
		医療における理工学(b)						
兼担	教授	山縣 ゆり子 〈平成30年4月〉						
		薬科学入門(B) 開放科目8						
兼担	教授	杉本 幸彦 〈平成30年4月〉						
		薬科学入門(B) 開放科目8						
兼担	教授	大塚 雅巳 〈平成30年4月〉						
		薬科学入門(B)						
兼担	教授	平田 純生 〈平成30年4月〉						
		現代社会と薬学(A) 開放科目10						
兼担	教授	有馬 英俊 〈平成30年4月〉						
		現代社会と薬学(A)						
兼担	教授	雙田 珠巳 〈平成30年4月〉						
		現代教育について考える(B)						
兼担	教授	梅田 素博 〈平成30年4月〉						
		芸術への招待(A)						
兼担	教授	緒方 信行 〈平成30年4月〉						
		芸術への招待(A)						
兼担	教授	袴田 和泉 〈平成30年4月〉						
		芸術への招待(A)						

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	教授	神野 雄二 〈平成30年4月〉
		芸術への招待(A)
兼担	教授	吉岡 英美 〈平成30年4月〉
		現代社会と経済(d) 現代社会と経済(e)
兼担	教授	楊 萍 〈平成30年4月〉
		日本事情(C)
兼担	教授	東 徹 〈平成30年4月〉
		日本事情(C)
兼担	教授	稲葉 継陽 〈平成30年4月〉
		肥後熊本学
兼担	教授	細川 伸也 〈平成30年4月〉
		開放科目6
兼担	教授	乾 誠治 〈平成30年4月〉
		開放科目7
兼担	教授	岸田 光代 〈平成30年4月〉
		Introduction to Science and Technology I (a) Introduction to Science and Technology II (a)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	緒方 智成 ＜平成30年4月＞ 博士(工学)
		応用物質化学 ものづくりの科学と技術(F)
兼任	准教授	山口 佳宏 ＜平成30年4月＞ 博士(薬学)
		環境調和化学 化学物質管理学 応用生命化学
専任	准教授	川越 明日香 ＜平成30年4月＞
兼任	准教授	高橋 慶太郎 ＜平成30年4月＞
		物理学入門(f) 物理学の世界(a) 開放科目5
兼任	准教授	小澄 大輔 ＜平成30年4月＞
		物理学入門(g) 物理学入門(h)
兼任	准教授	伊豆田 俊二 ＜平成30年4月＞
		生物の世界(B)
兼任	准教授	杉浦 直人 ＜平成30年4月＞
		生物の世界(C)
兼任	准教授	江頭 恒 ＜平成30年4月＞
		生物の世界(a)

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	緒方 智成 ＜平成30年4月＞ 博士(工学)
		応用物質化学 ものづくりの科学と技術(F)
兼任	准教授	山口 佳宏 ＜平成30年4月＞ 博士(薬学)
		環境調和化学 化学物質管理学 応用生命化学
専任	准教授	川越 明日香 ＜平成30年4月＞
		現代心理行動学(e)
兼任	准教授	岸木 敬太 ＜平成30年4月＞
		物理学入門(e)
兼任	准教授	高橋 慶太郎 ＜平成30年4月＞
		物理学入門(f) 物理学の世界(a)
兼任	准教授	小澄 大輔 ＜平成30年4月＞
		物理学入門(g) 物理学入門(h)
兼任	准教授	伊豆田 俊二 ＜平成30年4月＞
		生物の世界(B)
兼任	准教授	杉浦 直人 ＜平成30年4月＞
		生物の世界(C)
兼任	准教授	江頭 恒 ＜平成30年4月＞
		生物の世界(a)

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	緒方 智成 ＜平成30年4月＞ 博士(工学)
		応用物質化学
兼任	准教授	山口 佳宏 ＜平成30年4月＞ 博士(薬学)
		環境調和化学 化学物質管理学 応用生命化学 化学実験 I
兼任	准教授	川越 明日香 ＜平成30年4月＞ 修士(教育学)
		現代心理行動学(e) 現代心理行動学(f)
兼任	准教授	岸木 敬太 ＜平成30年4月＞ 博士(理学)
		物理学入門(e)
兼任	准教授	高橋 慶太郎 ＜平成30年4月＞ 博士(理学)
		物理学入門(f) 物理学の世界(a)
兼任	准教授	小澄 大輔 ＜平成30年4月＞ 博士(理学)
		物理学入門(g) 物理学入門(h)
兼任	准教授	伊豆田 俊二 ＜平成30年4月＞ 博士(薬学)
		生物の世界(B)
兼任	准教授	杉浦 直人 ＜平成30年4月＞ 博士(農学)
		生物の世界(C)
兼任	准教授	江頭 恒 ＜平成30年4月＞ 博士(医学)
		生物の世界(a)



専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	准教授	武智 克彰 〈平成30年4月〉
		生物の世界(b) 生物の世界(c)
兼担	准教授	嶋永 元裕 〈平成30年4月〉
		生物の世界(e)
兼担	准教授	中山 由紀 〈平成30年4月〉
		生物の世界(g)
兼担	准教授	藤見 俊夫 〈平成30年4月〉
		持続可能な都市と地域づくり(A)
兼担	准教授	松田 俊郎 〈平成30年4月〉
		豊かさを持続させるものづくり(C)
兼担	准教授	伊賀崎 伴彦 〈平成30年4月〉
		日々の生活に垣間見る情報と通信(B) 暮らしと情報・通信技術(a)
兼担	准教授	杉本 裕司 〈平成30年4月〉
		倫理学入門(A) 倫理学入門(B)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	准教授	武智 克彰 〈平成30年4月〉
		生物の世界(b) 生物の世界(c)
兼担	准教授	嶋永 元裕 〈平成30年4月〉
		生物の世界(e)
兼担	准教授	中山 由紀 〈平成30年4月〉
		生物の世界(g)
兼担	准教授	北野 健 〈平成30年4月〉
		生物の世界(h)
兼担	准教授	藤見 俊夫 〈平成30年4月〉
		持続可能な都市と地域づくり(A)
兼担	准教授	松田 俊郎 〈平成30年4月〉
		豊かさを持続させるものづくり(C)
兼担	准教授	伊賀崎 伴彦 〈平成30年4月〉
		日々の生活に垣間見る情報と通信(B) 暮らしと情報・通信技術(a)
兼担	准教授	杉本 裕司 〈平成30年4月〉
		倫理学入門(A)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	准教授	武智 克彰 〈平成30年4月〉 博士(農学)
		生物の世界(b) 生物の世界(c)
兼担	准教授	嶋永 元裕 〈平成30年4月〉 博士(理学)
		生物の世界(e)
兼担	准教授	中山 由紀 〈平成30年4月〉 博士(理学)
		生物の世界(g)
兼担	准教授	北野 健 〈平成30年4月〉 博士(理学)
		生物の世界(h)
兼担	准教授	藤見 俊夫 〈平成30年4月〉 博士(農学)
		持続可能な都市と地域づくり(A)
兼担	准教授	松田 俊郎 〈平成30年4月〉
		豊かさを持続させるものづくり(C)
兼担	准教授	伊賀崎 伴彦 〈平成30年4月〉 博士(工学)
		日々の生活に垣間見る情報と通信(B)
兼担	准教授	杉本 裕司 〈平成30年4月〉 修士(文学)
		倫理学入門(A)
兼担	准教授	立花 幸司 〈平成31年4月〉 博士(学術)
		倫理学入門(D)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	大辻 正晴 ＜平成30年4月＞ 思考と論理(A)
兼任	准教授	菊池 哲平 ＜平成30年4月＞ 現代心理行動学(b)
兼任	准教授	跡上 史郎 ＜平成30年4月＞ 肥後熊本学 文学の諸相(a) 文学の諸相(b)
兼任	准教授	坂元 昌樹 ＜平成30年4月＞ 肥後熊本学 地域づくりと科学技術(F) 日本事情(C) 文学の諸相(c) 文学の諸相(d)
兼任	准教授	杉井 健 ＜平成30年4月＞ モノが語る歴史(c) モノが語る歴史(d)
兼任	准教授	中川 順子 ＜平成30年4月＞ 地域の世界史(a) 地域の世界史(b)
兼任	准教授	今村 直樹 ＜平成30年4月＞ 日本社会の歴史(c) 日本社会の歴史(d)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	佐藤 岳詩 ＜平成30年4月＞ 倫理学入門(g) 倫理学入門(h)
兼任	准教授	大辻 正晴 ＜平成30年4月＞ 思考と論理(A)
兼任	准教授	跡上 史郎 ＜平成30年4月＞ 文学の諸相(a) 文学の諸相(b)
兼任	准教授	坂元 昌樹 ＜平成30年4月＞ 肥後熊本学 地域づくりと科学技術(F)
兼任	准教授	杉井 健 ＜平成30年4月＞ 肥後熊本学
兼任	准教授	中川 順子 ＜平成30年4月＞ 地域の世界史(a) 地域の世界史(b)
兼任	准教授	今村 直樹 ＜平成30年4月＞ 日本社会の歴史(c) 日本社会の歴史(d)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	佐藤 岳詩 ＜平成30年4月＞ 博士(文学) 倫理学入門(E)
兼任	准教授	大辻 正晴 ＜平成30年4月＞ 修士(文学) 思考と論理(A)
兼任	准教授	菊池 哲平 ＜平成31年4月＞ 博士(心理学) 現代心理行動学(b)
兼任	准教授	山田 高誌 ＜平成31年4月＞ 修士(文学) 芸術文化論(A)
兼任	准教授	跡上 史郎 ＜平成30年4月＞ 修士(文学) 文学の諸相(a) 文学の諸相(b)
兼任	准教授	坂元 昌樹 ＜平成30年4月＞ 博士(文学) 文学の諸相(c) 文学の諸相(d)
兼任	准教授	杉井 健 ＜平成30年4月＞ 修士(文学) 肥後熊本学
兼任	准教授	中川 順子 ＜平成30年4月＞ 修士(文学) 地域の世界史(a) 地域の世界史(b)
兼任	准教授	今村 直樹 ＜平成30年4月＞ 博士(歴史学) 日本社会の歴史(c) 日本社会の歴史(d)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	鈴木 寛之 〈平成30年4月〉 最前線の社会文化研究(g) 最前線の社会文化研究(h)
兼任	准教授	米島 万有子 〈平成30年4月〉 自然と人間の地理学(B)
兼任	准教授	山本 耕三 〈平成30年4月〉 自然と人間の地理学(C)
兼任	准教授	中村 政明 〈平成30年4月〉 暮らしと化学(A)
兼任	准教授	石川 勇人 〈平成30年4月〉 暮らしと化学(B)
兼任	准教授	村田 貴広 〈平成30年4月〉 暮らしと化学(D)
兼任	准教授	大平 慎一 〈平成30年4月〉 化学と環境(B)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	安高 啓明 〈平成30年4月〉 日本社会の歴史(e) 日本社会の歴史(f)
兼任	准教授	鈴木 寛之 〈平成30年4月〉 肥後熊本学 最前線の社会文化研究(g)
兼任	准教授	多田 光宏 〈平成30年4月〉 現代社会の解読(e)
兼任	准教授	山本 耕三 〈平成30年4月〉 自然と人間の地理学(c)
兼任	准教授	石川 勇人 〈平成30年4月〉 暮らしと化学(B)
兼任	准教授	村田 貴広 〈平成30年4月〉 暮らしと化学(D)
兼任	准教授	大平 慎一 〈平成30年4月〉 化学と環境(b)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	安高 啓明 〈平成30年4月〉 博士(史学)(国際文化) 日本社会の歴史(e) 日本社会の歴史(f)
兼任	准教授	鈴木 寛之 〈平成30年4月〉 修士(文学) 肥後熊本学
兼任	准教授	多田 光宏 〈平成30年4月〉 博士(文学) 現代社会の解読(e)
兼任	准教授	米島 万有子 〈平成30年4月〉 博士(文学) 自然と人間の地理学(d) 自然と人間の地理学(e)
兼任	准教授	山本 耕三 〈平成30年4月〉 修士(文学) 自然と人間の地理学(f)
兼任	准教授	中村 政明 〈平成30年4月〉 博士(理学) 暮らしと化学(c) 暮らしと化学(d)
兼任	准教授	石川 勇人 〈平成30年4月〉 博士(薬学) 暮らしと化学(B)
兼任	准教授	村田 貴広 〈平成30年4月〉 博士(工学) 教養の化学(c) 教養の化学(d)
兼任	准教授	大平 慎一 〈平成30年4月〉 博士(理学) 化学と環境(b)

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	中田 晴彦 ＜平成30年4月＞
		化学と環境(C)
兼任	准教授	荒木 正健 ＜平成30年4月＞
		最先端の生命科学(a) 最先端の生命科学(b)
兼任	准教授	横瀬 久芳 ＜平成30年4月＞
		地球環境科学の最前線(a) 地球環境科学の最前線(b) 開放科目3
兼任	准教授	小松 俊文 ＜平成30年4月＞
		地球環境科学の最前線(c) 地球環境科学の最前線(d)
兼任	准教授	小島 知子 ＜平成30年4月＞
		地球環境科学の最前線(e) 地球環境科学の最前線(f)
兼任	准教授	望月 伸竜 ＜平成30年4月＞
		地球環境科学の最前線(h)
兼任	准教授	竹内 裕希子 ＜平成30年4月＞
		肥後熊本学
兼任	准教授	大西 康伸 ＜平成30年4月＞
		地域づくりと科学技術(D)

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	中田 晴彦 ＜平成30年4月＞
		肥後熊本学
兼任	准教授	荒木 正健 ＜平成30年4月＞
		最先端の生命科学(a) 最先端の生命科学(b)
兼任	准教授	横瀬 久芳 ＜平成30年4月＞
		地球環境科学の最前線(a) 地球環境科学の最前線(b)
兼任	准教授	小松 俊文 ＜平成30年4月＞
		肥後熊本学 地球環境科学の最前線(c) 地球環境科学の最前線(d)
兼任	准教授	小島 知子 ＜平成30年4月＞
		地学II 地球環境科学の最前線(e) 地球環境科学の最前線(f)
兼任	准教授	望月 伸竜 ＜平成30年4月＞
		地球環境科学の最前線(h)
兼任	准教授	竹内 裕希子 ＜平成30年4月＞
		地域づくりと科学技術(A)
兼任	准教授	大西 康伸 ＜平成30年4月＞
		地域づくりと科学技術(D)

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	中田 晴彦 ＜平成30年4月＞ 博士(農学)
		肥後熊本学
兼任	准教授	荒木 正健 ＜平成30年4月＞ 博士(生命科学)
		最先端の生命科学(a) 最先端の生命科学(b)
兼任	准教授	横瀬 久芳 ＜平成30年4月＞ 博士(学術)
		地球環境科学の最前線(a) 地球環境科学の最前線(b)
兼任	准教授	小松 俊文 ＜平成30年4月＞ 博士(理学)
		地球環境科学の最前線(d)
兼任	准教授	小島 知子 ＜平成30年4月＞ 博士(理学)
		地学II 地球環境科学の最前線(e) 地球環境科学の最前線(f)
兼任	准教授	望月 伸竜 ＜平成30年4月＞ 博士(理学)
		肥後熊本学
兼任	准教授	竹内 裕希子 ＜平成30年4月＞ 博士(理学)
		肥後熊本学
兼任	准教授	大西 康伸 ＜平成30年4月＞ 博士(学術)
		地域づくりと科学技術(D)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	武田 浩二 〈平成30年4月〉
		地域づくりと科学技術(E)
兼任	准教授	三沢 純 〈平成30年4月〉
		肥後熊本学 地域づくりと科学技術(F)
兼任	准教授	長谷 真 〈平成30年4月〉
		健康の科学(B)
兼任	准教授	古川 昇 〈平成30年4月〉
		現代社会と医学(B)
兼任	准教授	坂梨 京子 〈平成30年4月〉
		心身の健康と看護(B)
兼任	准教授	内山 良一 〈平成30年4月〉
		医療における理工学(a)
兼任	准教授	首藤 剛 〈平成30年4月〉
		開放科目11
兼任	准教授	城野 博史 〈平成30年4月〉
		現代社会と薬学(A)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	武田 浩二 〈平成30年4月〉
		地域づくりと科学技術(E)
兼任	准教授	三沢 純 〈平成30年4月〉
		肥後熊本学 地域づくりと科学技術(F)
兼任	准教授	長谷 真 〈平成30年4月〉
		健康の科学(B) <b>健康の科学(C)</b>
兼任	准教授	古川 昇 〈平成30年4月〉
		現代社会と医学(B)
兼任	准教授	内山 良一 〈平成30年4月〉
		医療における理工学(a) <b>医療における理工学(e)</b>
兼任	准教授	首藤 剛 〈平成30年4月〉
		<b>薬科学入門(A)</b> 開放科目11
兼任	准教授	城野 博史 〈平成30年4月〉

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	武田 浩二 〈平成30年4月〉 博士(工学)
		地域づくりと科学技術(E)
兼任	准教授	三沢 純 〈平成30年4月〉 修士(文学)
		<b>現代世界の形成と課題(f)</b> <b>現代世界の形成と課題(g)</b>
兼任	准教授	長谷 真 〈平成30年4月〉 博士(理学)
		健康の科学(B)
兼任	准教授	古川 昇 〈平成30年4月〉 博士(医学)
		現代社会と医学(B)
兼任	准教授	<b>坂梨 京子</b> <b>〈平成31年4月〉</b> <b>修士(経営学)</b>
		<b>心身の健康と看護(F)</b>
兼任	准教授	内山 良一 〈平成30年4月〉 博士(工学)
		医療における理工学(a)
兼任	准教授	首藤 剛 〈平成30年4月〉 博士(薬学)
		開放科目11
兼任	准教授	<b>城野 博史</b> <b>〈平成31年4月〉</b> <b>博士(薬学)</b>
		<b>現代社会と薬学(A)</b>

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	准教授	苫野 一徳 〈平成30年4月〉
		現代教育について考える(A)
兼担	准教授	山口 佳宏 〈平成30年4月〉
		現代教育について考える(B)
兼担	准教授	増田 仁 〈平成30年4月〉
		現代教育について考える(C)
兼担	准教授	藤瀬 泰司 〈平成30年4月〉
		現代教育について考える(D)
兼担	准教授	梅田 泉 〈平成30年4月〉
		日本事情(C) 日本事情(D) 現代教育について考える(E)
兼担	准教授	松永 拓己 〈平成30年4月〉
		芸術への招待(A) 芸術への招待(C)
兼担	准教授	山崎 浩隆 〈平成30年4月〉
		芸術への招待(B)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	准教授	苫野 一徳 〈平成30年4月〉
		現代教育について考える(A)
兼担	准教授	山口 佳宏 〈平成30年4月〉
		キャリア科目14
兼担	准教授	増田 仁 〈平成30年4月〉
		現代教育について考える(c) 現代教育について考える(d)
兼担	准教授	藤瀬 泰司 〈平成30年4月〉
		現代教育について考える(D)
兼担	准教授	梅田 泉 〈平成30年4月〉
		現代教育について考える(E)
兼担	准教授	松永 拓己 〈平成30年4月〉
		芸術への招待(A) 芸術への招待(C)
兼担	准教授	山崎 浩隆 〈平成30年4月〉
		芸術への招待(B) 開放科目14

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	准教授	苫野 一徳 〈平成30年4月〉 博士(教育学)
		現代教育について考える(A)
兼担	准教授	山口 佳宏 〈平成30年4月〉 博士(薬学)
		キャリア科目14
兼担	准教授	増田 仁 〈平成30年4月〉 博士(教育学)
		現代教育について考える(c) 現代教育について考える(d)
兼担	准教授	吉村 昇 〈平成31年4月〉 修士(教育学)
		現代教育について考える(e)
兼担	准教授	藤瀬 泰司 〈平成30年4月〉 博士(教育学)
		現代教育について考える(D)
兼担	准教授	梅田 泉 〈平成30年4月〉 修士
		現代教育について考える(E)
兼担	准教授	安村 明 〈平成31年4月〉 博士(学術)
		心理学の探求(B)
兼担	准教授	松永 拓己 〈平成30年4月〉 修士(芸術学)
		芸術への招待(A) 芸術への招待(C)
兼担	准教授	山崎 浩隆 〈平成30年4月〉 修士
		肥後熊本学 芸術への招待(B) 開放科目14

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	准教授	瀧川 淳 〈平成30年4月〉
		芸術への招待(B)
兼担	准教授	茂木 俊伸 〈平成30年4月〉
		現代と言語(a) 現代と言語(b)
兼担	准教授	仁野平 智明 〈平成30年4月〉
		現代と文学(a)
兼担	准教授	鈴木 啓孝 〈平成30年4月〉
		現代世界の形成と課題(a) 現代世界の形成と課題(b)
兼担	准教授	岩田 奇志 〈平成30年4月〉
		中国語a-1 中国語a-2

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	准教授	瀧川 淳 〈平成30年4月〉
		芸術への招待(B) <b>開放科目13</b>
兼担	准教授	茂木 俊伸 〈平成30年4月〉
		現代と言語(a) 現代と言語(b)
兼担	准教授	仁野平 智明 〈平成30年4月〉
		現代と文学(a)
兼担	准教授	鈴木 啓孝 〈平成30年4月〉
		現代世界の形成と課題(a)
兼担	准教授	<b>徳永 達哉</b> 〈平成30年4月〉
		<b>暮らしの中の憲法</b>
兼担	准教授	岩田 奇志 〈平成30年4月〉
		<b>中国語A-1</b> <b>中国語A-2</b> <b>中国語B-1</b> <b>中国語B-2</b> <b>現代社会と経済(A)</b>

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	准教授	瀧川 淳 〈平成30年4月〉 博士(学術)
		<b>開放科目13</b>
兼担	准教授	茂木 俊伸 〈平成30年4月〉 博士(言語学)
		現代と言語(a) 現代と言語(b)
兼担	准教授	仁野平 智明 〈平成30年4月〉 修士(教育学)
		現代と文学(a)
兼担	准教授	鈴木 啓孝 〈平成30年4月〉 博士(文学)
		現代世界の形成と課題(a) <b>現代世界の形成と課題(d)</b>
兼担	准教授	<b>徳永 達哉</b> 〈平成30年4月〉 博士(比較社会文化)
		<b>暮らしの中の憲法</b>
兼担	准教授	<b>原島 良成</b> 〈平成31年4月〉 修士(法学)
		<b>暮らしの中の憲法</b>
兼担	准教授	岩田 奇志 〈平成30年4月〉 博士(経済学)
		<b>中国語A-1</b> <b>中国語A-2</b> <b>中国語B-1</b> <b>中国語B-2</b> <b>現代社会と経済(A)</b>
兼担	准教授	<b>池田 康弘</b> 〈平成31年4月〉 博士(経済学)
		<b>現代社会と経済(B)</b>

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	特定事業教員	内山 忠 ＜平成30年4月＞
		肥後熊本学 キャリア科目10  キャリア科目58
兼担	准教授	OSHIMA KAREN ＜平成30年4月＞
		英語A-1

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	特定事業教員	内山 忠 ＜平成30年4月＞
		肥後熊本学 キャリア科目10  キャリア科目61 学際科目3
兼担	准教授	OSHIMA KAREN ＜平成30年4月＞
		英語A-1 英語C-1
兼担	准教授	ISEMONGER IAN MAXWELL ＜平成30年4月＞
		英語A-1
兼担	准教授	PEDERSON STANLEY CLARENCE ＜平成30年4月＞
		英語A-1
兼担	准教授	池田 志郎 ＜平成30年4月＞
		英語A-2 英語B-1 英語B-2 英語C-1
兼担	准教授	井原 健 ＜平成30年4月＞
		英語A-2 英語B-1 英語B-2 英語C-1 英語C-2
兼担	准教授	西川 里織 ＜平成30年4月＞
		英語A-2 英語B-1 英語B-2 英語C-1 英語C-2
兼担	准教授	長嶺 寿宣 ＜平成30年4月＞
		英語A-2 英語B-1 英語C-1 英語C-2

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	准教授	内山 忠 ＜平成30年4月＞ 博士(工学)
		肥後熊本学 キャリア科目10 キャリア科目54 キャリア科目55 キャリア科目61 学際科目3
兼担	准教授	OSHIMA KAREN ＜平成30年4月＞ 修士(文学)
		英語A-1 英語C-1
兼担	准教授	ISEMONGER IAN MAXWELL ＜平成30年4月＞ 修士(文学)
		英語A-1
兼担	准教授	PEDERSON STANLEY CLARENCE ＜平成30年4月＞ 修士(芸術)
		英語A-1
兼担	准教授	池田 志郎 ＜平成30年4月＞ 修士(文学)
		英語B-1 英語B-2 英語C-1 英語C-2
兼担	准教授	井原 健 ＜平成30年4月＞ 修士(教育学)
		英語A-2 英語B-2 英語C-1
兼担	准教授	西川 里織 ＜平成30年4月＞ 博士
		英語A-2 英語B-2 英語C-1 英語C-2
兼担	准教授	長嶺 寿宣 ＜平成30年4月＞ 博士(英語教授法)
		英語B-1 英語C-1 英語C-2



専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	准教授	山田 積 〈平成30年4月〉 ドイツ語C-1 ドイツ語C-2 ドイツ語D-1 ドイツ語D-2

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	准教授	平野 順也 〈平成30年4月〉 英語A-2 英語B-1 英語B-2 英語C-1 英語C-2 キャリア科目59
兼担	准教授	永尾 悟 〈平成30年4月〉 英語B-2 英語C-1 英語C-2
兼担	准教授	松岡 浩史 〈平成30年4月〉 英語B-1 英語B-2 英語I-1
兼担	准教授	片山 圭巳 〈平成30年4月〉 英語B-2 英語C-1 英語C-2 英語I-1
兼担	准教授	館石 宏明 〈平成30年4月〉 ドイツ語A-1 ドイツ語A-2 ドイツ語C-2 ドイツ語I-1 ドイツ語I-2 ドイツ語II-1 ドイツ語II-2
兼担	准教授	山田 積 〈平成30年4月〉 ドイツ語A-1 ドイツ語A-2 ドイツ語a-1 ドイツ語a-2
兼担	准教授	井上 暁子 〈平成30年4月〉 ドイツ語A-1 ドイツ語A-2 ドイツ語B-1 ドイツ語B-2 ドイツ語C-2

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	准教授	平野 順也 〈平成30年4月〉 修士(学術) 英語A-2 英語B-2 英語C-1 英語C-2 キャリア科目59
兼担	准教授	永尾 悟 〈平成30年4月〉 修士(文学)(人文学) 英語B-1 英語B-2 英語C-1
兼担	准教授	松岡 浩史 〈平成30年4月〉 修士(イギリス文学) 英語A-2 英語B-1 英語C-1 英語I-1
兼担	准教授	片山 圭巳 〈平成30年4月〉 博士(国際広報メディア) 英語B-2 英語C-1 英語C-2 英語I-1
兼担	准教授	館石 宏明 〈平成30年4月〉 修士(文学) ドイツ語A-1 ドイツ語A-2 ドイツ語C-2 ドイツ語I-1 ドイツ語I-2 ドイツ語II-1 ドイツ語II-2
兼担	准教授	山田 積 〈平成30年4月〉 修士 ドイツ語A-1 ドイツ語A-2 ドイツ語a-1 ドイツ語a-2
兼担	准教授	井上 暁子 〈平成30年4月〉 博士 ドイツ語B-1 ドイツ語B-2 ドイツ語C-2

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	准教授	Herzog Eberhard 〈平成30年4月〉
		ドイツ語B-1 ドイツ語B-2 ドイツ語a-1 ドイツ語a-2
兼担	准教授	畑 亜弥子 〈平成30年4月〉
		フランス語C-1 フランス語C-2
兼担	准教授	市川 雅己 〈平成30年4月〉
		フランス語A-1 フランス語A-2  フランス語a-1 フランス語a-2
兼担	准教授	Michel SAGAZ 〈平成30年4月〉
		フランス語B-1 フランス語B-2

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	准教授	Herzog Eberhard 〈平成30年4月〉
		ドイツ語B-1 ドイツ語B-2 ドイツ語I-1 ドイツ語I-2
兼担	准教授	BAUER Tobias Andreas 〈平成30年4月〉
		ドイツ語B-1 ドイツ語B-2 ドイツ語C-1 ドイツ語C-2
兼担	准教授	畑 亜弥子 〈平成30年4月〉
		フランス語A-1 フランス語A-2 フランス語a-1 フランス語a-2 フランス語C-1 フランス語C-2
兼担	准教授	市川 雅己 〈平成30年4月〉
		フランス語C-1 フランス語C-2
兼担	准教授	Michel SAGAZ 〈平成30年4月〉
		フランス語B-1 フランス語B-2 フランス語a-1 フランス語a-2 フランス語I-1 フランス語I-2
兼担	准教授	屋敷 信晴 〈平成30年4月〉
		中国語A-1 中国語A-2 中国語B-1 中国語B-2

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	准教授	Herzog Eberhard 〈平成30年4月〉 修士
		ドイツ語B-1 ドイツ語B-2 ドイツ語I-1 ドイツ語I-2
兼担	准教授	BAUER Tobias Andreas 〈平成30年4月〉 修士
		ドイツ語B-1 ドイツ語B-2 ドイツ語C-1 ドイツ語C-2
兼担	准教授	畑 亜弥子 〈平成30年4月〉 博士
		フランス語A-1 フランス語A-2  フランス語C-1 フランス語C-2
兼担	准教授	市川 雅己 〈平成30年4月〉 修士(文学)
		フランス語A-1 フランス語A-2  フランス語I-1 フランス語I-2 フランス語III-1
兼担	准教授	Michel SAGAZ 〈平成30年4月〉 博士(言語科学)
		フランス語B-1 フランス語B-2  フランス語I-1 フランス語I-2
兼担	准教授	屋敷 信晴 〈平成30年4月〉 博士(文学)
		中国語A-1 中国語A-2 中国語B-1 中国語B-2

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	久保田 真一郎 〈平成30年4月〉 情報処理概論
兼任	准教授	松葉 龍一 〈平成30年4月〉 情報処理概論
兼任	准教授	北村 士朗 〈平成30年4月〉 情報処理概論
兼任	特定 事業 教員	安部 美和 〈平成30年4月〉 肥後熊本学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	渡邊 直土 〈平成30年4月〉 中国語A-1 中国語A-2 中国語B-1 中国語B-2 中国語C-1 中国語C-2
兼任	准教授	中尾 健一郎 〈平成30年4月〉 中国語a-1 中国語a-2 中国語C-1 中国語C-2
兼任	准教授	久保田 真一郎 〈平成30年4月〉 情報基礎A 情報基礎B 情報処理概論
兼任	准教授	松葉 龍一 〈平成30年4月〉 情報基礎A 情報基礎B 情報処理概論
兼任	准教授	北村 士朗 〈平成30年4月〉 情報基礎A 情報基礎B 情報処理概論
兼任	特定 事業 教員	安部 美和 〈平成30年4月〉 キャリア科目52 キャリア科目53
兼任	准教授	阿部 健 〈平成30年4月〉 微分積分I
兼任	准教授	北別府 悠 〈平成30年4月〉 微分積分I

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	渡邊 直土 〈平成30年4月〉 博士(学術) 中国語A-1 中国語A-2 中国語B-1 中国語B-2
兼任	准教授	中尾 健一郎 〈平成30年4月〉 博士(文学) 中国語a-1 中国語a-2 中国語C-1 中国語C-2
兼任	准教授	久保田 真一郎 〈平成30年4月〉 博士(理学) 情報基礎A 情報基礎B 情報処理概論
兼任	准教授	松葉 龍一 〈平成30年4月〉 博士(理学) 情報基礎A 情報基礎B 情報処理概論
兼任	准教授	北村 士朗 〈平成30年4月〉 情報基礎A 情報基礎B 情報処理概論
兼任	准教授	安部 美和 〈平成30年4月〉 博士(地球環境学) 学際科目4 キャリア科目52 キャリア科目53
兼任	准教授	阿部 健 〈平成30年4月〉 博士(理学) 線形代数I 線形代数II
兼任	准教授	北別府 悠 〈平成30年4月〉 博士(理学) 微分積分I 微分積分II

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	岩佐 学 〈平成30年4月〉 統計学概論 統計学I 統計学II
兼任	准教授	富田 智彦 〈平成30年4月〉 地学II

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	谷本 祥 〈平成30年4月〉 微分積分I 線形代数I 線形代数II
兼任	准教授	杉崎 文亮 〈平成30年4月〉 微分積分I 微分積分II 統計学I
兼任	准教授	千吉良 直紀 〈平成30年4月〉 線形代数I 線形代数II
兼任	准教授	安藤 直也 〈平成30年4月〉 線形代数I 線形代数II
兼任	准教授	岩佐 学 〈平成30年4月〉 線形代数I 統計学I 統計学II
兼任	准教授	尾上 哲治 〈平成30年4月〉 地学I
兼任	准教授	富田 智彦 〈平成30年4月〉 地学II
兼任	准教授	坂本 将基 〈平成30年4月〉 体育・スポーツ科学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	谷本 祥 〈平成30年4月〉 博士 微分積分I 線形代数I 線形代数II
兼任	准教授	杉崎 文亮 〈平成30年4月〉 博士(理学) 微分積分I 微分積分II 統計学I
兼任	准教授	千吉良 直紀 〈平成30年4月〉 博士(理学) 線形代数II
兼任	准教授	榎原 幸二 〈平成31年4月〉 博士(情報科学) 微分積分II
兼任	准教授	安藤 直也 〈平成30年4月〉 博士(数理科学) 微分積分II 線形代数I 線形代数II
兼任	准教授	岩佐 学 〈平成30年4月〉 博士(数理学) 線形代数I 統計学概論
兼任	准教授	尾上 哲治 〈平成30年4月〉 博士(理学) 地学I
兼任	准教授	富田 智彦 〈平成30年4月〉 博士(理学) 地学II
兼任	准教授	坂本 将基 〈平成30年4月〉 博士(学術) 体育・スポーツ科学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	准教授	江川 良裕 〈平成30年4月〉 キャリア科目4
兼担	准教授	尾上 幸造 〈平成30年4月〉 持続可能な都市と地域づくり(B)
兼担	准教授	小林 晃 〈平成30年4月〉 地域の世界史(e) 地域の世界史(f)
兼担	准教授	岩崎 竹彦 〈平成30年4月〉 日本社会の歴史(a) 日本社会の歴史(b)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	准教授	小澤 雄二 〈平成30年4月〉 体育・スポーツ科学
兼担	准教授	江川 良裕 〈平成30年4月〉 キャリア科目60
兼担	准教授	尾上 幸造 〈平成30年4月〉 持続可能な都市と地域づくり(B)
兼担	准教授	本吉 大介 〈平成30年4月〉 現代心理行動学(c)
兼担	准教授	藤原 志帆 〈平成30年4月〉 現代心理行動学(d)
兼担	准教授	小林 晃 〈平成30年4月〉 地域の世界史(e)
兼担	准教授	三瓶 弘喜 〈平成30年4月〉 地域の世界史(i) 現代世界の形成と課題(c)
兼担	准教授	岩崎 竹彦 〈平成30年4月〉 日本社会の歴史(a) 日本社会の歴史(b)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	准教授	小澤 雄二 〈平成30年4月〉 博士(スポーツ医学) 体育・スポーツ科学
兼担	准教授	江川 良裕 〈平成30年4月〉 キャリア科目60
兼担	准教授	松永 詩乃美 〈平成31年4月〉 博士(法学) キャリア科目15

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	渡邊 重義 ＜平成30年4月＞
		最先端の生命科学(c)
兼任	准教授	秋月 百合 ＜平成30年4月＞
		健康の科学(B)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	渡邊 重義 ＜平成30年4月＞
		最先端の生命科学(c)
兼任	准教授	檜垣 匠 ＜平成30年4月＞
		最先端の生命科学(e)
兼任	准教授	星野 裕司 ＜平成30年4月＞
		地域づくりと科学技術(A)
兼任	准教授	田中 尚人 ＜平成30年4月＞
		地域づくりと科学技術(A)
兼任	准教授	圓山 琢也 ＜平成30年4月＞
		地域づくりと科学技術(A)
兼任	准教授	高藤 誠 ＜平成30年4月＞
		ものづくりの科学と技術(G)
兼任	准教授	岡島 寛 ＜平成30年4月＞
		暮らしと情報・通信技術(a)
兼任	准教授	緒方 公一 ＜平成30年4月＞
		暮らしと情報・通信技術(a)
兼任	准教授	常田 明夫 ＜平成30年4月1＞
		暮らしと情報・通信技術(a)
兼任	准教授	秋月 百合 ＜平成30年4月＞
		健康の科学(B) 健康の科学(C)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	准教授	入谷 仁士 〈平成30年4月〉
		健康の科学(B)
兼担	准教授	中迫 由実 〈平成30年4月〉
		現代教育について考える(C)
兼担	准教授	竹中 伸夫 〈平成30年4月〉
		現代教育について考える(D)
兼担	准教授	赤木 恭子 〈平成30年4月〉
		芸術への招待(B)
兼担	准教授	竹島 一希 〈平成30年4月〉
		現代と文学(c) 現代と文学(d)
兼担	准教授	大野 正久 〈平成30年4月〉
		現代社会と経済(a) 現代社会と経済(b)
兼担	准教授	安浪 誠祐 〈平成30年4月〉
		英語D-1 英語D-2 学際科目1
兼担	准教授	本間 里見 〈平成30年4月〉
		学際科目3

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	准教授	入谷 仁士 〈平成30年4月〉
		健康の科学(B) 健康の科学(C)
兼担	准教授	中迫 由実 〈平成30年4月〉
		現代教育について考える(c) 現代教育について考える(d)
兼担	准教授	竹中 伸夫 〈平成30年4月〉
		現代教育について考える(D)
兼担	准教授	赤木 恭子 〈平成30年4月〉
		芸術への招待(B)
兼担	准教授	竹島 一希 〈平成30年4月〉
		現代と文学(e) 現代と文学(f)
兼担	准教授	大野 正久 〈平成30年4月〉
		現代社会と経済(a) 現代社会と経済(b)
兼担	准教授	阿部 悠貴 〈平成30年4月〉
		現代の政治(b)
兼担	准教授	安浪 誠祐 〈平成30年4月〉
		英語D-1 英語D-2 学際科目1
兼担	准教授	本間 里見 〈平成30年4月〉
		学際科目3

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	一柳 錦平 〈平成30年4月〉 肥後熊本学
兼任	准教授	久我 守弘 〈平成30年4月〉 日々の生活に垣間見る情報と通信(B) 暮らしと情報・通信技術(a)
兼任	准教授	高岸 幸弘 〈平成30年4月〉 こころの科学(A)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	合田 美子 〈平成30年4月〉 英語D-1 英語D-2
兼任	准教授	大西 克智 〈平成30年4月〉 フランス語C-1 フランス語C-2 フランス語D-1 フランス語D-2
兼任	准教授	一柳 錦平 〈平成30年4月〉 肥後熊本学
兼任	准教授	前田 洋助 〈平成30年4月〉 肥後熊本学
兼任	准教授	中村 徹 〈平成30年4月〉 微分積分I 微分積分II
兼任	准教授	原 正大 〈平成30年4月〉 物理学基盤実験
兼任	准教授	河野 憲一郎 〈平成30年4月〉 キャリア科目12

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名



専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	准教授	高崎 文子 〈平成30年4月〉
		こころの科学(A)
兼担	准教授	文東 美紀 〈平成30年4月〉
		最先端の生命科学(A) 病気の医科学(A)
兼担	准教授	古嶋 昭博 〈平成30年4月〉
		最先端の生命科学(a)
兼担	准教授	齋藤 和也 〈平成30年4月〉
		健康の科学(A)
兼担	准教授	魏 范研 〈平成30年4月〉
		病気の医科学(A)
兼担	准教授	中尾 富士子 〈平成30年4月〉
		心身の健康と看護(A)
兼担	准教授	安武 綾 〈平成30年4月〉
		心身の健康と看護(C)
兼担	准教授	米田 哲也 〈平成30年4月〉
		医療における理工学(a)
兼担	准教授	門脇 大介 〈平成30年4月〉
		薬科学入門(A)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	松永 浩文 〈平成30年4月〉
		薬科学入門(B) 開放科目8
兼任	准教授	藤田 美歌子 〈平成30年4月〉
		薬科学入門(B)
兼任	准教授	渡邊 博志 〈平成30年4月〉
		現代社会と薬学(A) 開放科目10
兼任	准教授	中原 雅彦 〈平成30年4月〉
		芸術への招待(A)
兼任	准教授	森 大輔 〈平成30年4月〉
		日本事情(D) 最先端の法学(A)
兼任	准教授	松本 智晴 〈平成30年4月〉
		肥後熊本学
兼任	准教授	柊中 智恵子 〈平成30年4月〉
		肥後熊本学
兼任	准教授	朝田 とも子 〈平成30年4月〉
		キャリア科目8
兼任	准教授	河村 洋子 〈平成30年4月〉
		Area Studies (E)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	講師	藤原 康博 〈平成30年4月〉
		医療における理工学(c) 医療における理工学(d)
兼担	講師	マスデン 真理子 〈平成30年4月〉
		日本語A-1 日本語A-2
兼担	講師	松瀬 成子 〈平成30年4月〉
		日本語IV-2
兼担	講師	SIMS LANDER BRYANT 〈平成30年4月〉
		Global Career Development (a) Global Career Development (b)
兼担	講師	佐藤 伸子 〈平成30年4月〉
		健康の科学(B)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	講師	藤原 康博 〈平成30年4月〉
		医療における理工学(d)
兼担	講師	中島 隆 〈平成30年4月〉
		ドイツ語a-1 ドイツ語a-2 ドイツ語C-1
兼担	講師	マスデン 真理子 〈平成30年4月〉
		日本語A-1 日本語A-2 日本語II-2
兼担	講師	松瀬 成子 〈平成30年4月〉
		日本語B-1 日本語B-2 日本語I-2 日本語III-1 日本語III-2 日本語IV-2
兼担	講師	伊藤 雅浩 〈平成30年4月〉
		体育・スポーツ科学
兼担	講師	生田 まちよ 〈平成30年4月〉
		キャリア科目11
兼担	講師	SIMS LANDER BRYANT 〈平成30年4月〉
		Academic Foundations (a) Area Studies (f) Socio-Cultural Studies (c)  Comprehensive English Communication (a) Global Career Development (a) Global Career Development (b)
兼担	講師	佐藤 伸子 〈平成30年4月〉
		健康の科学(B) 健康の科学(C)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	講師	藤原 康博 〈平成30年4月〉 博士(保健学)
		医療における理工学(d)
兼担	講師	中島 隆 〈平成30年4月〉 修士
		ドイツ語a-1 ドイツ語a-2 ドイツ語C-1
兼担	講師	マスデン 真理子 〈平成30年4月〉 修士(教育学)
		日本語II-2 日本語IV-2
兼担	講師	松瀬 成子 〈平成30年4月〉 修士
		日本語B-1 日本語B-2 日本語I-2 日本語III-1 日本語III-2
兼担	講師	伊藤 雅浩 〈平成30年4月〉 博士(医学)
		体育・スポーツ科学
兼担	講師	生田 まちよ 〈平成30年4月〉
		キャリア科目11
兼担	講師	SIMS LANDER BRYANT 〈平成30年4月〉
		Area Studies (f) Socio-Cultural Studies (c) Socio-Cultural Studies (h) Comprehensive English Communication (a)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	講師	江角 重行 〈平成30年4月〉 最先端の生命科学(A)
兼担	講師	鳥越 大輔 〈平成30年4月〉 最先端の生命科学(a)
兼担	講師	竹尾 透 〈平成30年4月〉 最先端の生命科学(b)
兼担	講師	水野 裕史 〈平成30年4月〉 肥後熊本学
兼担	講師	寺岡 祥子 〈平成30年4月〉 キャリア科目9
兼担	助教	中島 陽一 〈平成30年4月〉 物理学入門(i) 物理学入門(j)
兼担	助教	寺本 進 〈平成30年4月〉 生物学基盤実験 生物の世界(D)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	講師	永田 まなみ 〈平成30年4月〉 心身の健康と看護(D)
兼担	助教	中島 陽一 〈平成30年4月〉 物理学入門(j)
兼担	助教	寺本 進 〈平成30年4月〉 生物学基盤実験 生物の世界(D)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	助教	中島 陽一 〈平成30年4月〉 博士(理学) 物理学入門(j)
兼担	助教	寺本 進 〈平成30年4月〉 博士(理学) 生物学基盤実験 生物の世界(D)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	助教	可児 智美 〈平成30年4月〉
		地球環境科学の最前線(c) 地球環境科学の最前線(d)
兼任	助教	森 信子 〈平成30年4月〉
		現代の医学検査(b)
兼任	助教	右田 雅裕 〈平成30年4月〉
		情報基礎A 情報基礎B
兼任	助教	池見 公芳 〈平成30年4月〉
		化学基盤実験
兼任	助教	井手上 賢 〈平成30年4月〉
		生物の世界(D)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	助教	可児 智美 〈平成30年4月〉
		地球環境科学の最前線(c) 地球環境科学の最前線(d)
兼任	助教	森 信子 〈平成30年4月〉
		現代の医学検査(b)
兼任	助教	右田 雅裕 〈平成30年4月〉
		情報基礎A 情報基礎B
兼任	助教	池見 公芳 〈平成30年4月〉
		化学基盤実験
兼任	助教	井手上 賢 〈平成30年4月〉
		<b>生物学基盤実験</b>
兼任	助教	<b>福山 美季</b> <b>〈平成30年4月〉</b>
		<b>心身の健康と看護(D)</b>

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	助教	可児 智美 〈平成30年4月〉 博士(理学)
		地球環境科学の最前線(c)
兼任	助教	森 信子 〈平成30年4月〉 博士(薬学)
		現代の医学検査(b)
兼任	助教	右田 雅裕 〈平成30年4月〉 修士(工学)
		情報基礎A 情報基礎B
兼任	助教	池見 公芳 〈平成30年4月〉 修士(理学)
		化学基盤実験

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	助教	但馬 達哉 〈平成30年4月〉
		生物の世界(D)
兼担	助教	西村 方孝 〈平成30年4月〉
		最先端の生命科学(A)
兼担	助教	竹本 誠 〈平成30年4月〉
		最先端の生命科学(A)
兼担	助教	那須 信 〈平成30年4月〉
		最先端の生命科学(A)
兼担	助教	杉本 道彦 〈平成30年4月〉
		最先端の生命科学(a)
兼担	助教	竹田 直樹 〈平成30年4月〉
		最先端の生命科学(a)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	助教	荒江 祥永 〈平成30年4月〉
		化学基盤実験
兼担	助教	船津 麻美 〈平成30年4月〉
		化学基盤実験
兼担	助教	大谷 亮 〈平成30年4月〉
		化学基盤実験
兼担	助教	田中 明 〈平成30年4月〉
		化学基盤実験

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	助教	島崎 達也 〈平成30年4月〉
		最先端の生命科学(a)
兼担	助教	吉信 公美子 〈平成30年4月〉
		最先端の生命科学(b)
兼担	助教	村松 昌 〈平成30年4月〉
		最先端の生命科学(b)
兼担	助教	遠藤 元誉 〈平成30年4月〉
		病気の医科学(A)
兼担	助教	門松 毅 〈平成30年4月〉
		病気の医科学(A)
兼担	助教	南家 貴美代 〈平成30年4月〉
		心身の健康と看護(A)
兼担	助教	宮崎 志保 〈平成30年4月〉
		心身の健康と看護(B)
兼担	助教	辻田 直子 〈平成30年4月〉
		医療における理工学(b)
兼担	助教	大野 剛 〈平成30年4月〉
		医療における理工学(C)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	非常勤教員	平 英雄 〈平成30年4月〉 物理学
兼担	特定事業教員	鹿嶋 恵 〈平成30年4月〉 日本語C-1 日本語C-2
兼担	特定事業教員	高口 義幸 〈平成30年4月〉 キャリア科目56 キャリア科目57

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	シニア教員	Laskowski Terry 〈平成30年4月〉 英語A-1
兼担	非常勤教員	平 英雄 〈平成30年4月〉 物理学
兼担	特定事業教員	鹿嶋 恵 〈平成30年4月〉 日本語A-1 日本語A-2 日本語C-1 日本語C-2 日本語D-1 日本語D-2 日本語IV-2
兼担	特定事業教員	平野 貞二 〈平成30年4月〉 日本語C-2 日本語IV-2
兼担	特定事業教員	高口 義幸 〈平成30年4月〉 キャリア科目56 キャリア科目57
兼担	特定事業教員	王 勤草 〈平成30年4月〉 Area Studies (g) Area Studies (h) Socio-Cultural Studies (d) Technical English Communication (h)
兼担	特定事業教員	佐々木 葉月 〈平成30年4月〉 Socio-Cultural Studies (D)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	シニア教員	Laskowski Terry 〈平成30年4月〉 博士(応用言語学) 英語I-1 英語I-2
兼担	非常勤教員	平 英雄 〈平成30年4月〉 博士(理学) 物理学
兼担	特定事業教員	鹿嶋 恵 〈平成30年4月〉 修士(教育学) 日本語A-1 日本語A-2 日本語C-1 日本語C-2 日本語D-1 日本語D-2 日本語IV-1 日本語IV-2
兼担	特定事業教員	平野 貞二 〈平成30年4月〉 日本語C-2 日本語IV-2
兼担	特定事業教員	高口 義幸 〈平成30年4月〉 キャリア科目56 キャリア科目57
兼担	特定事業教員	王 勤草 〈平成30年4月〉 博士 Area Studies (g) Area Studies (h) Socio-Cultural Studies (d) Socio-Cultural Studies (f) Socio-Cultural Studies (g) Technical English Communication (h)
兼担	特定事業教員	佐々木 葉月 〈平成30年4月〉 現代の政治(c) Socio-Cultural Studies (D)



専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	特定 事業 教員	RICKARD JOSHUA HOUSTON 〈平成30年4月〉
		Visual Media (A) Area Studies (b) Socio-Cultural Studies (A) Socio-Cultural Studies (b)
兼任	特定 事業 教員	吉里 さち子 〈平成30年4月〉
		日本語D-1 日本語D-2
兼担	特定 事業 教員	香室 結美 〈平成30年4月〉
		最前線の社会文化研究 (A)
兼担	非常 勤教 員	谷口 純一 〈平成30年4月〉
		現代社会と医学 (B)
兼担	特定 事業 教員	大熊 薫 〈平成30年4月〉
		学際科目2 キャリア科目54 キャリア科目55
兼担	特定 事業 教員	MUIR MICHAEL DONALD RAYMOND 〈平成30年4月〉
		World History (c) Technical English Communication (b) Technical English Communication (c) Technical English Communication (f)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	特定 事業 教員	RICKARD JOSHUA HOUSTON 〈平成30年4月〉
		Visual Media (A) Area Studies (b) Socio-Cultural Studies (A) Socio-Cultural Studies (b)
兼任	特定 事業 教員	吉里 さち子 〈平成30年4月〉
		日本語D-1 日本語D-2
兼担	特別 研究 員	香室 結美 〈平成30年4月〉
		最前線の社会文化研究 (A)
兼担	病院 教員	谷口 純一 〈平成30年4月〉
		現代社会と医学 (B)
兼担	特定 事業 教員	大熊 薫 〈平成30年4月〉
		学際科目2 キャリア科目54 キャリア科目55
兼担	特定 事業 教員	MUIR MICHAEL DONALD RAYMOND 〈平成30年4月〉
		英語A-1 英語B-1 World History (c) Technical English Communication (b) Technical English Communication (a) Technical English Communication (f)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	特定 事業 教員	RICKARD JOSHUA HOUSTON 〈平成30年4月〉
		Visual Media (A) Area Studies (b) Socio-Cultural Studies (A) Socio-Cultural Studies (b) Socio-Cultural Studies (e)
兼担	特定 事業 教員	吉里 さち子 〈平成30年4月〉
		日本語D-1 日本語D-2

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	特定 事業 教員	JOHNSON KRISTOPHER DENNIS ＜平成30年4月＞
		Technical English Communication (E) Technical English Communication (a) Technical English Communication (d) Technical English Communication (g)
兼担	特定 事業 教員	天野 慧 ＜平成30年4月＞
		Area Studies (E) キャリア科目52 キャリア科目53
兼担	特定 事業 教員	CHAN CHEONG JAN ＜平成30年4月＞
		Music and Humanity (a) Area Studies (c) Area Studies (d)
兼任	講師	飯田 晴彦 ＜平成30年4月＞ 博士(工学)
		プロダクトデザイン演習Ⅰ プロダクトデザイン演習Ⅱ
兼任	講師	岩下 卓司 ＜平成30年4月＞ 修士(工学)
		知的財産権
兼任	講師	大島 洋一 ＜平成30年4月＞ 理学博士
		工学数学Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	特定 事業 教員	JOHNSON KRISTOPHER DENNIS ＜平成30年4月＞
		Technical English Communication (e) Technical English Communication (g)
兼任	課長	日和田 伸一 ＜平成30年4月＞
		キャリア科目3
兼任	講師	飯田 晴彦 ＜平成30年4月＞ 博士(工学)
		プロダクトデザイン演習Ⅰ プロダクトデザイン演習Ⅱ
兼任	講師	岩下 卓司 ＜平成30年4月＞ 修士(工学)
		知的財産権
兼任	講師	大島 洋一 ＜平成30年4月＞ 理学博士
		工学数学Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	飯田 晴彦 ＜令和2年4月＞ 博士(工学)
		プロダクトデザイン演習Ⅰ プロダクトデザイン演習Ⅱ
兼任	講師	岩下 卓司 ＜令和3年4月＞ 修士(工学)
		知的財産権

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	小島 義博 <平成30年4月> 学士(工学)
		安全工学
兼任	講師	相良 一広 <平成31年4月> 学士(工学)
		工学英語Ⅰ 工学英語Ⅱ
兼任	講師	瀬戸 英昭 <平成30年4月> 修士
		社会と企業
兼任	講師	内藤 幸一郎 <平成30年4月> 理学博士
		工学数学Ⅰ
兼任	講師	山野 克明 <平成32年4月> 博士(学術)
		工学倫理
兼任	講師	アムストロング・レイモンド ケレック <平成30年4月> Masters Degree in Education (Applied Linguistics) from the Open University
		工学英語Ⅰ 工学英語Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	小島 義博 <平成30年4月> 学士(工学)
		安全工学
兼任	講師	相良 一広 <平成31年4月> 学士(工学)
		工学英語Ⅰ 工学英語Ⅱ 工学英語Ⅲ 工学英語Ⅳ
兼任	講師	内藤 幸一郎 <平成30年4月> 理学博士
		工学数学Ⅰ 微分積分Ⅰ 微分積分Ⅱ 線形代数Ⅰ 線形代数Ⅱ
兼任	講師	山野 克明 <平成32年4月> 博士(学術)
		工学倫理
兼任	講師	アムストロング・レイモンド ケレック <平成30年4月> Masters Degree in Education (Applied Linguistics) from the Open University
		工学英語Ⅲ 工学英語Ⅳ 英語A-1

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	小島 義博 <令和2年4月> 学士(工学)
		安全工学
兼任	講師	相良 一広 <平成31年4月> 学士(工学)
		工学英語Ⅲ 工学英語Ⅳ
兼任	講師	内藤 幸一郎 <平成30年4月> 理学博士
		微分積分Ⅰ 微分積分Ⅱ 線形代数Ⅰ 線形代数Ⅱ
兼任	講師	高田 佳和 <平成31年4月> 博士(工学)
		工学数学Ⅰ 工学数学Ⅱ
兼任	講師	山野 克明 <令和2年4月> 博士(学術)
		工学倫理
兼任	講師	アムストロング・レイモンド ケレック <平成31年4月> Masters Degree in Education (Applied Linguistics) from the Open University
		工学英語Ⅲ 工学英語Ⅳ 英語A-1

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	特定 事業 教員	CHEN I CHUN 〈平成30年4月〉 Basic Economics (a) Basic Economics (b)
兼任	講師	法花津 晃 〈平成30年4月〉 地域の世界史(c) 地域の世界史(d)
兼任	講師	井芹 道一 〈平成30年4月〉 現代政治の諸相(b) 現代政治の諸相(c) 現代政治の諸相(d) 現代政治の諸相(e)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	Gilbert Richard Hill 〈平成30年4月〉 英語A-1 英語C-1 英語C-2
兼任	特定 事業 教員	CHEN I CHUN 〈平成30年4月〉 Statistics (a) Basic Economics (a)
兼任	講師	村上 純 〈平成30年4月〉 文系のための数学入門(C)
兼任	講師	岡部 勉 〈平成30年4月〉 心と世界(A)
兼任	講師	法花津 晃 〈平成30年4月〉 地域の世界史(c)
兼任	講師	井芹 道一 〈平成30年4月〉 現代政治の諸相(b) 現代政治の諸相(c) 現代政治の諸相(d) 現代政治の諸相(e)
兼任	講師	石倉 恵介 〈平成30年4月〉 健康の科学(a) 健康の科学(b)
兼任	講師	大江 正昭 〈平成30年4月〉 暮らしの中の憲法

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	高宮 正之 〈平成30年4月〉 博士(理学) 生物の世界(A)
兼任	講師	Gilbert Richard Hill 〈平成30年4月〉 博士 英語C-2 英語I-1
兼任	講師	CHEN I CHUN 〈平成30年4月〉 Statistics (a) Basic Economics (a)
兼任	講師	村上 純 〈平成30年4月〉 文系のための数学入門(C)
兼任	講師	岡部 勉 〈平成30年4月〉 心と世界(A)
兼任	講師	法花津 晃 〈平成30年4月〉 地域の世界史(c) 地域の世界史(d)
兼任	講師	井芹 道一 〈平成30年4月〉 現代政治の諸相(b) 現代政治の諸相(c) 現代政治の諸相(d) 現代政治の諸相(e)
兼任	講師	石倉 恵介 〈平成30年4月〉 健康の科学(a) 健康の科学(b)
兼任	講師	大江 正昭 〈平成30年4月〉 暮らしの中の憲法

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	高木 スワンナ ＜平成30年4月＞ 英語A-1
兼任	講師	米岡 ジュリ ＜平成30年4月＞ 英語A-1
兼任	講師	モーテンソン ロバート ＜平成30年4月＞ 英語A-1
兼任	講師	ディビット ジェンキンソン ＜平成30年4月＞ 英語A-1 英語C-2
兼任	講師	トーネ トッド ＜平成30年4月＞ 英語A-1 英語C-2
兼任	講師	ジョシュ ライアン ノーマン ＜平成30年4月＞ 英語A-1
兼任	講師	カービン ウィリアム ＜平成30年4月＞ 英語A-1 英語C-1
兼任	講師	ウォール ミナミ フィオナ ＜平成30年4月＞ 英語A-1 英語C-1 英語I-1

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	高木 スワンナ ＜平成30年4月＞ 英語A-1
兼任	講師	米岡 ジュリ ＜平成30年4月＞ 英語A-1
兼任	講師	モーテンソン ロバート ＜平成30年4月＞ 英語A-1
兼任	講師	ディビット ジェンキンソン ＜平成30年4月＞ 英語A-1 英語C-1 英語C-2
兼任	講師	トーネ トッド ＜平成30年4月＞ 英語A-1
兼任	講師	ジョシュ ライアン ノーマン ＜平成30年4月＞ 英語A-1
兼任	講師	カービン ウィリアム ＜平成30年4月＞ 英語A-1
兼任	講師	ウォール ミナミ フィオナ ＜平成30年4月＞ 英語A-1



専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	山本 幹樹 〈平成30年4月〉 英語A-2 英語B-1 英語C-2
兼任	講師	高木 信之 〈平成30年4月〉 英語A-2
兼任	講師	橋本 春男 〈平成30年4月〉 英語B-1
兼任	講師	田口 誠一 〈平成30年4月〉 英語B-1
兼任	講師	角田 俊治 〈平成30年4月〉 英語B-2
兼任	講師	ウォーターフィールド マーク アルフレッド 〈平成30年4月〉 英語C-2
兼任	講師	吉田 李佳 〈平成30年4月〉 ドイツ語B-1 ドイツ語B-2 ドイツ語C-1 ドイツ語C-2 ドイツ語D-1 ドイツ語D-2
兼任	講師	目 正勝 〈平成30年4月〉 ドイツ語A-1 ドイツ語A-2 ドイツ語C-1 ドイツ語C-2

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	山本 幹樹 〈平成30年4月〉 英語A-2 英語B-1
兼任	講師	高木 信之 〈平成30年4月〉 英語A-2 英語B-1
兼任	講師	橋本 春男 〈平成30年4月〉 英語B-1
兼任	講師	田口 誠一 〈平成30年4月〉 修士(文学) 英語B-1
兼任	講師	角田 俊治 〈平成30年4月〉 英語B-2
兼任	講師	ウォーターフィールド マーク アルフレッド 〈平成30年4月〉 英語C-2
兼任	講師	吉田 李佳 〈平成30年4月〉 ドイツ語A-1 ドイツ語A-2 ドイツ語B-1 ドイツ語B-2 ドイツ語C-1 ドイツ語C-2
兼任	講師	目 正勝 〈平成30年4月〉 ドイツ語A-1 ドイツ語A-2 ドイツ語C-1 ドイツ語C-2

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	金 敬淑 ＜平成30年4月＞
		コリア語B-1 コリア語B-2

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	セパン ミカエル ＜平成30年4月＞
		フランス語B-1
兼任	講師	フェレロ イヴ ピエール ＜平成30年4月＞
		フランス語B-1 フランス語B-2 フランス語a-1 フランス語a-2
兼任	講師	郭 麗影 ＜平成30年4月＞
		中国語a-1 中国語a-2
兼任	講師	山田 里香 ＜平成30年4月＞
		中国語I-1 中国語I-2
兼任	講師	伊禮 智香子 ＜平成30年4月＞
		中国語C-1 中国語C-2
兼任	講師	黎明 ＜平成30年4月＞
		中国語C-1 中国語C-2
兼任	講師	金 敬淑 ＜平成30年4月＞
		コリア語B-1 コリア語B-2
兼任	講師	金 垠周 ＜平成30年4月＞
		コリア語A-1 コリア語A-2

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	セパン ミカエル ＜平成30年4月＞
		フランス語B-1 フランス語B-2
兼任	講師	フェレロ イヴ ピエール ＜平成30年4月＞
		フランス語B-1 フランス語B-2 フランス語a-1 フランス語a-2
兼任	講師	郭 麗影 ＜平成30年4月＞
		中国語A-1 中国語A-2 中国語B-1 中国語B-2
兼任	講師	山田 里香 ＜平成30年4月＞
		中国語I-1 中国語I-2
兼任	講師	伊禮 智香子 ＜平成30年4月＞
		中国語C-1 中国語C-2
兼任	講師	黎明 ＜平成30年4月＞
		中国語C-1 中国語C-2 中国語a-1 中国語a-2
兼任	講師	金 敬淑 ＜平成30年4月＞
		コリア語B-1 コリア語B-2
兼任	講師	金 垠周 ＜平成30年4月＞
		コリア語A-1 コリア語A-2



専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	浦川 登久恵 〈平成30年4月〉 コリア語a-1 コリア語a-2
兼任	講師	崔 相振 〈平成30年4月〉 コリア語II-1 コリア語II-2
兼任	講師	中村 直美 〈平成30年4月〉 日本語B-1 日本語B-2
兼任	講師	古賀 美千留 〈平成30年4月〉 日本語II-1 日本語II-2

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	柳 景沃 〈平成30年4月〉 コリア語A-1 コリア語A-2
兼任	講師	浦川 登久恵 〈平成30年4月〉 コリア語A-1 コリア語A-2 コリア語B-1 コリア語B-2 コリア語I-1 コリア語I-2
兼任	講師	キム アリン 〈平成30年4月〉 コリア語C-1 コリア語C-2
兼任	講師	金 貞淑 〈平成30年4月〉 コリア語B-1 コリア語B-2 コリア語C-1 コリア語C-2
兼任	講師	崔 相振 〈平成30年4月〉 コリア語I-1 コリア語I-2 コリア語II-1 コリア語II-2
兼任	講師	中村 直美 〈平成30年4月〉 日本語B-1 日本語B-2 日本語IV-2
兼任	講師	古賀 美千留 〈平成30年4月〉 日本語A-2 日本語II-2

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	柳 景沃 〈平成30年4月〉 コリア語I-1 コリア語I-2
兼任	講師	浦川 登久恵 〈平成30年4月〉 コリア語A-1 コリア語A-2 コリア語B-1 コリア語B-2 コリア語I-1 コリア語I-2
兼任	講師	キム アリン 〈平成30年4月〉 コリア語A-1 コリア語A-2
兼任	講師	金 貞淑 〈平成30年4月〉 コリア語C-1 コリア語C-2
兼任	講師	崔 相振 〈平成30年4月〉 コリア語B-1 コリア語B-2 コリア語C-1 コリア語C-2
兼任	講師	中村 直美 〈平成30年4月〉 修士(法学) 日本語B-1 日本語B-2 日本語IV-1 日本語IV-2
兼任	講師	古賀 美千留 〈平成30年4月〉 日本語A-2 日本語III-2

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	太田 丈太郎 ＜平成30年4月＞ ロシア語II-1 ロシア語II-2

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	大庭 理恵子 ＜平成30年4月＞ 日本語C-2 日本語III-2 日本語IV-2
兼任	講師	堀江 智子 ＜平成30年4月＞ 中国語I-1 中国語I-2
兼任	講師	太田 丈太郎 ＜平成30年4月＞ ロシア語I-1 ロシア語I-2
兼任	講師	デ レオン ＜平成30年4月＞ スペイン語I-1 スペイン語I-2 スペイン語II-1 スペイン語II-2
兼任	講師	田上 恭子 ＜平成30年4月＞ イタリア語I-1 イタリア語I-2
兼任	講師	国越 道貴 ＜平成30年4月＞ ラテン語I-1 ラテン語I-2

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	大庭 理恵子 ＜平成30年4月＞ 日本語C-2 日本語III-2 日本語IV-1
兼任	講師	道本 ゆう子 ＜平成31年4月＞ 日本語C-2 日本語IV-2
兼任	講師	堀江 智子 ＜平成30年4月＞ 中国語I-1 中国語I-2
兼任	講師	太田 丈太郎 ＜平成30年4月＞ 修士(文学) ロシア語I-1 ロシア語I-2
兼任	講師	デ レオン ＜平成30年4月＞ スペイン語I-1 スペイン語I-2 スペイン語II-1 スペイン語II-2
兼任	講師	田上 恭子 ＜平成30年4月＞ イタリア語I-1 イタリア語I-2
兼任	講師	国越 道貴 ＜平成30年4月＞ ラテン語I-1 ラテン語I-2
兼任	講師	小坂 玲子 ＜平成31年4月＞ 日本語I-2 日本語III-1 日本語III-2

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	片山 きよみ 〈平成30年4月〉
		日本語I-1 日本語I-2
兼任	講師	與繩 友子 〈平成30年4月〉
		日本語IV-1
兼任	講師	福田 真 〈平成30年4月〉
		物理学I 物理学II

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	片山 きよみ 〈平成30年4月〉
		日本語III-1 日本語III-2  日本語IV-2
兼任	講師	赤木 昌子 〈平成30年4月〉
		日本語III-1 日本語III-2
兼任	講師	與繩 友子 〈平成30年4月〉
		日本語I-2
兼任	講師	津留 紀子 〈平成30年4月〉
		日本語III-2 日本語IV-1 日本語IV-2
兼任	講師	福田 真 〈平成30年4月〉
		情報基礎A 情報基礎B 物理学I 物理学II
兼任	講師	高峰 武 〈平成30年4月〉
		肥後熊本学
兼任	講師	春木 秀紀 〈平成30年4月〉
		数学概論 微分積分I 微分積分II 線形代数I 線形代数II

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	片山 きよみ 〈平成30年4月〉
		日本語III-1 日本語III-2  日本語IV-2
兼任	講師	赤木 昌子 〈平成30年4月〉
		日本語II-2 日本語III-1 日本語III-2
兼任	講師	與繩 友子 〈平成30年4月〉
		日本語I-2
兼任	講師	津留 紀子 〈平成30年4月〉
		日本語III-1 日本語III-2 日本語IV-1 日本語IV-2
兼任	講師	福田 真 〈平成30年4月〉
		物理学I 物理学II
兼任	講師	岡 智典 〈平成31年4月〉
		情報基礎A 情報基礎B 物理学I
兼任	講師	高峰 武 〈平成30年4月〉
		肥後熊本学
兼任	講師	春木 秀紀 〈平成30年4月〉
		数学概論 微分積分I 微分積分II 線形代数I 線形代数II



専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	光永 正治 〈平成30年4月〉 物理学基盤実験
兼任	講師	伊藤 春美 〈平成30年4月〉 倫理学入門(c) 倫理学入門(d)
兼任	講師	槌田 禎子 〈平成30年4月〉 地球環境科学の最前線(g)
兼任	講師	須藤 靖明 〈平成30年4月〉 地球環境科学の最前線(g)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	中嶋 弘二 〈平成30年4月〉 体育・スポーツ科学
兼任	講師	光永 正治 〈平成30年4月〉 物理学基盤実験
兼任	講師	清水 俊 〈平成30年4月〉 倫理学入門(c)
兼任	講師	伊藤 春美 〈平成30年4月〉 倫理学入門(c) 倫理学入門(d)
兼任	講師	槌田 禎子 〈平成30年4月〉 地球環境科学の最前線(g)
兼任	講師	須藤 靖明 〈平成30年4月〉 地球環境科学の最前線(g)
兼任	講師	中村 清隆 〈平成30年4月〉 地球環境科学の最前線(h)
兼任	講師	池辺 伸一郎 〈平成30年4月〉 地球環境科学の最前線(h)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	中嶋 弘二 〈平成30年4月〉 体育・スポーツ科学
兼任	講師	村坂 亮 〈平成31年4月〉 キャリア科目12
兼任	講師	谷口 絹枝 〈平成31年4月〉 開放科目17





専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	Richard Lavin 〈平成30年4月〉 学際科目1
兼任	講師	岩谷 美代子 〈平成30年4月〉 日本語III-1 日本語III-2

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	国宗 直子 〈平成30年4月〉 現代世界の形成と課題(b)
兼任	講師	中 修一 〈平成30年4月〉 現代世界の形成と課題(b)
兼任	講師	本田 清悟 〈平成30年4月〉 現代世界の形成と課題(b)
兼任	講師	Richard Lavin 〈平成30年4月〉 学際科目1
兼任	講師	中尾 敦子 〈平成30年4月〉 英語D-1 英語D-2
兼任	講師	大西 基子 〈平成30年4月〉 フランス語A-1 フランス語A-2 フランス語B-2 フランス語a-1 フランス語a-2
兼任	講師	ホジソン ハロルド 〈平成30年4月〉 英語I-1
兼任	講師	岩谷 美代子 〈平成30年4月〉 日本語IV-2
兼任	講師	竹村 朋子 〈平成30年4月〉 日本語III-2

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名





専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
			兼任	講師	岩政 仁 <平成30年4月> キャリア科目9			
			兼任	講師	林田 直子 <平成30年4月> キャリア科目9			
			兼任	講師	水田 光子 <平成30年4月> キャリア科目9			
			兼任	講師	内田 良介 <平成30年4月> キャリア科目9			
			兼任	講師	松村 直 <平成30年4月> キャリア科目9			
			兼任	講師	竹永 理恵子 <平成30年4月> キャリア科目9			
			兼任	講師	赤木 夏代 <平成30年4月> キャリア科目9			
			兼任	講師	松尾 洋 <平成30年4月> キャリア科目54			
			兼任	講師	原田 真宏 <平成30年4月> キャリア科目54			

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	津野田 尚子 〈平成30年4月〉 心身の健康と看護(C)
兼任	講師	林 誓雄 〈平成30年4月〉 心と世界(B) 思考と論理(B)
兼任	講師	山口 裕嗣 〈平成30年4月〉 健康の科学(a) 健康の科学(b)
兼任	講師	那須 久史 〈平成30年4月〉 心身の健康と看護(C)
兼任	講師	戸渡 洋子 〈平成30年4月〉 心身の健康と看護(C)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	伊佐坂 功親 〈平成30年4月〉 キャリア科目54
兼任	講師	堀内 一輝 〈平成30年4月〉 キャリア科目54
兼任	講師	大隈 恵治 〈平成30年4月〉 キャリア科目54
兼任	講師	堤 純子 〈平成30年4月〉 キャリア科目54

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	益永 佳予子 ＜平成30年4月＞						
		心身の健康と看護(C)						
兼任	講師	猿渡 進平 ＜平成30年4月＞						
		心身の健康と看護(C)						
兼任	講師	福山 由起 ＜平成30年4月＞						
		心身の健康と看護(C)						
兼任	講師	田島 武安 ＜平成30年4月＞						
		芸術への招待(C)						
兼任	講師	小林 孝夫 ＜平成30年4月＞						
		芸術への招待(C)						
兼任	講師	坂本 尚文 ＜平成30年4月＞						
		芸術への招待(C)						
兼任	講師	古家 良一 ＜平成30年4月＞						
		芸術への招待(C)						
兼任	講師	坂本 顕子 ＜平成30年4月＞						
		芸術への招待(C)						
兼任	講師	木崎 康弘 ＜平成30年4月＞						
		芸術への招待(C)						
兼任	講師	清川 真潮 ＜平成30年4月＞						
		芸術への招待(C)						

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	高橋 ルミ 〈平成30年4月〉						
		芸術への招待(C)						
兼任	講師	太田 明 〈平成30年4月〉						
		現代世界の形成と課題(a)						
兼任	講師	金 聖孝 〈平成30年4月〉						
		現代世界の形成と課題(a)						
兼任	講師	加藤 タケ子 〈平成30年4月〉						
		現代世界の形成と課題(a)						
兼任	講師	出田 妙子 〈平成30年4月〉						
		現代世界の形成と課題(a)						
兼任	講師	田代 クリスティーナ 〈平成30年4月〉						
		スペイン語II-1 スペイン語II-2						
兼任	講師	前田 定廣 〈平成30年4月〉						
		微分積分概論 線形代数概論						

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。  
その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は本字の赤字としてください。**
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
  - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
  - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(み)、兼任、兼任の順に記入してください)。
  - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・教育上の効果を高めるため、平成30年4月齋藤靖教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、平成30年4月井上尚夫准教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、平成30年4月村里泰昭准教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、平成30年4月川越明日香准教授就任。
- ・カリキュラム編成の調整により、濱名裕治教授の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、小塚敏之准教授の担当科目を追加。
- ・カリキュラム編成の調整により、横井裕之准教授の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、市川聡夫教授の担当科目を追加。
- ・カリキュラム編成の調整により、福島和洋教授の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月岸木敬太准教授就任。
- ・カリキュラム編成の調整により、高橋慶太郎准教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、中島陽一助教の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、速水真也教授の担当科目を追加。
  
- ・教育上の効果を高めるため、松田真生教授の担当科目を追加。
- ・教育上の効果を高めるため、藤本齊教授の担当科目を追加。
- ・カリキュラム編成の調整により、高宮正之教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、井手上賢助教の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、但馬達哉助教の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、逸見泰久教授の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月北野健准教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、磯部博志教授の担当科目を変更及び追加。
- ・教育上の効果を高めるため、鳥居修一教授の担当科目を追加。
- ・カリキュラム編成の調整により、佐久川貴志教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、久我守弘准教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、杉本裕司准教授の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月佐藤詩准教授就任。
  
- ・カリキュラム編成の調整により、千川隆教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、菊池哲平准教授の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月本吉大介准教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月藤原志帆准教授就任。
- ・カリキュラム編成の調整により、高岸幸弘准教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、知久馬義朗教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、高崎文子准教授の担当科目を変更。
- ・昇任により、平成30年4月から木村博子准教授を教授に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月國枝春恵教授就任。
- ・カリキュラム編成の調整により、跡上史郎准教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、坂元昌樹准教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、小畑弘己教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、杉井健准教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、小林晃准教授の担当科目を変更。
  
- ・カリキュラム編成の調整により、伊藤正彦教授の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月三瓶弘喜准教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月安高啓明准教授就任。
- ・カリキュラム編成の調整により、苑田亜矢教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、林一郎教授の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月松原弘信教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月中内哲教授就任。
- ・カリキュラム編成の調整により、外川健一教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、魚住弘久教授の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月鈴木桂樹教授就任。
- ・カリキュラム編成の調整により、牧野厚史教授の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月矢原隆行教授就任。
- ・カリキュラム編成の調整により、山下裕作教授の担当科目を変更。
  
- ・カリキュラム編成の調整により、鈴木寛之准教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、山本努教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、中川輝彦教授の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月多田光宏准教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、鹿嶋洋教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、米島万有子准教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、山本耕三准教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、宮崎誓教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、伊藤仁一教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、中村政明准教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、西野宏教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、入江亮教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、戸田敬教授の担当科目を変更。
  
- ・カリキュラム編成の調整により、大平慎一准教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、中田晴彦准教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、江角重行講師の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、西村方孝助教の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、竹本誠助教の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、那須信助教の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、文東美紀准教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、古嶋昭博准教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、荒木喜美教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、鳥越大輔講師の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、杉本道彦助教の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、竹田直樹助教の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、島崎達也助教の担当科目を変更。

- ・カリキュラム編成の調整により、竹尾透講師の担当科目を変更。
  - ・カリキュラム編成の調整により、吉信公美子助教の担当科目を変更。
  - ・カリキュラム編成の調整により、中瀧直己教授の担当科目を変更。
  - ・カリキュラム編成の調整により、村松昌助教の担当科目を変更。
  - ・カリキュラム編成の調整により、南敬教授の担当科目を変更。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月相田光宏教授就任。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月檜田匠准教授就任。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月副島颯子教授就任。
  - ・カリキュラム編成の調整により、松田博貴教授の担当科目を変更。
  - ・カリキュラム編成の調整により、横瀬久芳准教授の担当科目を変更。
  - ・教育上の効果を高めるため、小松俊文准教授の担当科目を追加。
  - ・教育上の効果を高めるため、小島知子准教授の担当科目を追加。
  - ・教育上の効果を高めるため、長谷中利昭教授の担当科目を追加。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月星野裕司准教授就任。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月田中尚人准教授就任。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月圓山琢也准教授就任。
  - ・カリキュラム編成の調整により、竹内裕希子准教授の担当科目を変更。
  - ・教育上の効果を高めるため、新留琢郎教授の担当科目を追加。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月杉本学准教授就任。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月高藤誠准教授就任。
  - ・教育上の効果を高めるため、安藤新二教授の担当科目を追加。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月河村能人教授就任。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月橋新剛准教授就任。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月高島和希教授就任。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月山崎倫昭准教授就任。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月松田元秀教授就任。
- 
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月岡島寛准教授就任。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月緒方公一准教授就任。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月常田明夫准教授就任。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月松永信智教授就任。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月上田裕市教授就任。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月西本昌彦教授就任。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月末吉敬則教授就任。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月飯田全広教授就任。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月有次正義教授就任。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月櫻井保志教授就任。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月趙華安教授就任。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月池上知願教授就任。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月中村有水教授就任。
- 
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月藤吉孝則教授就任。
  - ・カリキュラム編成の調整により、齋藤和也准教授の担当科目を変更。
  - ・教育上の効果を高めるため、後藤知己教授の担当科目を追加。
  - ・教育上の効果を高めるため、佐藤伸子講師の担当科目を追加。
  - ・教育上の効果を高めるため、秋月百合准教授の担当科目を追加。
  - ・教育上の効果を高めるため、松田芳子教授の担当科目を追加。
  - ・教育上の効果を高めるため、仲里仁史教授の担当科目を追加。
  - ・教育上の効果を高めるため、長谷真准教授の担当科目を追加。
  - ・教育上の効果を高めるため、入谷仁士准教授の担当科目を追加。
  - ・カリキュラム編成の調整により、山梨八重子教授の担当科目を変更。
  - ・カリキュラム編成の調整により、遠藤元善助教の担当科目を変更。
  - ・カリキュラム編成の調整により、押海裕之教授の担当科目を変更。
  - ・カリキュラム編成の調整により、魏范研准教授の担当科目を変更。
- 
- ・カリキュラム編成の調整により、山縣和也教授の担当科目を変更。
  - ・カリキュラム編成の調整により、尾池雄一教授の担当科目を変更。
  - ・カリキュラム編成の調整により、富澤一仁教授の担当科目を変更。
  - ・カリキュラム編成の調整により、門松毅助教の担当科目を変更。
  - ・カリキュラム編成の調整により、岩本和也教授の担当科目を変更。
  - ・カリキュラム編成の調整により、福田孝一教授の担当科目を変更。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月若山彦教授就任。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月西谷陽子教授就任。
  - ・カリキュラム編成の調整により、大屋夏生教授の担当科目を変更。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月松井啓隆教授就任。
  - ・昇任により、平成30年4月から門岡康弘准教授を教授に変更。
  - ・職名の移行により、谷口純一非常勤教員を病院教員に変更。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月藤瀬昇教授就任。
  - ・カリキュラム編成の調整により、中尾富士子准教授の担当科目を変更。
  - ・カリキュラム編成の調整により、南家貴美代助教の担当科目を変更。
- 
- ・カリキュラム編成の調整により、宮崎志保助教の担当科目を変更。
  - ・カリキュラム編成の調整により、坂梨京子准教授の担当科目を変更。
  - ・カリキュラム編成の調整により、安武綾准教授の担当科目を変更。
  - ・カリキュラム編成の調整により、南家貴美代助教の担当科目を変更。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月永田まなみ講師就任。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月福山美季助教就任。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月河野宏明助教就任。
  - ・教育上の効果を高めるため、内山良一准教授の担当科目を追加。
  - ・カリキュラム編成の調整により、白石順二教授の担当科目を変更。
  - ・カリキュラム編成の調整により、米田哲也准教授の担当科目を変更。
  - ・カリキュラム編成の調整により、村上龍次教授の担当科目を変更。
  - ・カリキュラム編成の調整により、辻田直子助教の担当科目を変更。
- 
- ・カリキュラム編成の調整により、富口静二教授の担当科目を変更。
  - ・カリキュラム編成の調整により、荒木不次男教授の担当科目を変更。
  - ・カリキュラム編成の調整により、大野剛助教の担当科目を変更。
  - ・カリキュラム編成の調整により、藤原康博講師の担当科目を変更。
  - ・カリキュラム編成の調整により、船間芳憲教授の担当科目を変更。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月大森久光教授就任。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月柳沼裕二教授就任。
  - ・カリキュラム編成の調整により、門脇大介准教授の担当科目を変更。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月香月博志教授就任。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月寺沢宏明教授就任。
  - ・教育上の効果を高めるため、首藤剛准教授の担当科目を追加。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月大槻純男教授就任。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月中島誠教授就任。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月塚本佐知子教授就任。

- ・カリキュラム編成の調整により、山縣ゆり子教授の担当科目を変更。
  - ・カリキュラム編成の調整により、松永浩文准教授の担当科目を変更。
  - ・カリキュラム編成の調整により、杉本幸彦教授の担当科目を変更。
  - ・カリキュラム編成の調整により、大塚雅巳教授の担当科目を変更。
  - ・カリキュラム編成の調整により、藤田美歌子准教授の担当科目を変更。
  - ・カリキュラム編成の調整により、森岡弘志教授の担当科目を変更。
  - ・カリキュラム編成の調整により、城野博史准教授の担当科目を変更。
  - ・カリキュラム編成の調整により、渡邊博志准教授の担当科目を変更。
  - ・カリキュラム編成の調整により、入江徹美教授の担当科目を変更。
  - ・カリキュラム編成の調整により、平田純生教授の担当科目を変更。
  - ・カリキュラム編成の調整により、有馬英俊教授の担当科目を変更。
  - ・カリキュラム編成の調整により、古田弘子教授の担当科目を変更。
  - ・カリキュラム編成の調整により、宮瀬美津子教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、山口佳宏准教授の担当科目を変更。
  - ・カリキュラム編成の調整により、雙田珠己教授の担当科目を変更。
  - ・カリキュラム編成の調整により、増田仁准教授の担当科目を変更。
  - ・カリキュラム編成の調整により、中迫由実准教授の担当科目を変更。
  - ・カリキュラム編成の調整により、武田珠美教授の担当科目を変更。
  - ・カリキュラム編成の調整により、梅田泉准教授の担当科目を変更。
  - ・カリキュラム編成の調整により、梅田素博教授の担当科目を変更。
  - ・カリキュラム編成の調整により、緒方信行教授の担当科目を変更。
  - ・カリキュラム編成の調整により、袴田和泉教授の担当科目を変更。
  - ・カリキュラム編成の調整により、神野雄二教授の担当科目を変更。
  - ・カリキュラム編成の調整により、中原雅彦准教授の担当科目を変更。
  - ・教育上の効果を高めるため、山崎浩隆准教授の担当科目を追加。
  - ・教育上の効果を高めるため、瀧川淳准教授の担当科目を追加。
- ・カリキュラム編成の調整により、竹島一希准教授の担当科目を変更。
  - ・カリキュラム編成の調整により、鈴木啓孝准教授の担当科目を変更。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月新井英永教授就任。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月上田理恵子教授就任。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月徳永達哉准教授就任。
  - ・カリキュラム編成の調整により、森大輔准教授の担当科目を変更。
  - ・カリキュラム編成の調整により、吉岡英美教授の担当科目を変更。
  - ・カリキュラム編成の調整により、岩田奇志准教授の担当科目を変更。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月大澤博明教授就任。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月阿部悠貴准教授就任。
  - ・カリキュラム編成の調整により、天野慧特定事業教員の担当科目を変更。
  - ・カリキュラム編成の調整により、内山忠特定事業教員の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、楊萍教授の担当科目を変更。
  - ・カリキュラム編成の調整により、東徹教授の担当科目を変更。
  - ・教育上の効果を高めるため、OSHIMA KAREN准教授の担当科目を追加。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月ISEMONGER IAN MAXWELL准教授就任。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月Gilbert Richard Hill教授就任。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月PEDERSON STANLEY CLARENCE准教授就任。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月Laskowski Terryシニア教員就任。
  - ・カリキュラム編成の調整により、MUIR MICHAEL DONALD RAYMOND特定事業教員の担当科目を変更。
  - ・カリキュラム編成の調整により、JOHNSON KRISTOPHER DENNIS特定事業教員の担当科目を変更。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月山下徹教授就任。
  - ・教育上の効果を高めるため、松瀬憲司教授の担当科目を追加。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月折田充教授就任。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月池田志郎准教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月井原健准教授就任。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月隈元貞広教授就任。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月西川里織准教授就任。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月大野龍浩教授就任。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月長嶺善宣准教授就任。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月平野順也准教授就任。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月永尾悟准教授就任。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月松岡浩史准教授就任。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月鳥谷浩教授就任。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月合田美子准教授就任。
  - ・教育上の効果を高めるため、荻野藏平教授の担当科目を追加。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月館石宏明准教授就任。
- ・カリキュラム編成の調整により、山田積准教授の担当科目を変更。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月井上暁子准教授就任。
  - ・カリキュラム編成の調整により、Herzog Eberhard准教授の担当科目を変更。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月中島隆講師就任。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月BAUER Tobias Andreas准教授就任。
  - ・教育上の効果を高めるため、畑亜弥子准教授の担当科目を追加。
  - ・カリキュラム編成の調整により、市川雅己准教授の担当科目を変更。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月大西克智准教授就任。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月竹内裕教授就任。
  - ・カリキュラム編成の調整により、濱田明教授の担当科目を変更。
  - ・教育上の効果を高めるためMichel SAGAZ准教授の担当科目を追加。
  - ・カリキュラム編成の調整により、劉静華教授の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月屋敷信晴准教授就任。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月黨武彦教授就任。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月葉陵教授就任。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月渡邊直土准教授就任。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月植田均教授就任。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月西楨偉教授就任。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月中尾健一郎准教授就任。
  - ・教育上の効果を高めるため、マステン眞理子講師の担当科目を追加。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月平野眞二特定事業教員就任。
  - ・教育上の効果を高めるため、松瀬成子講師の担当科目を追加。
  - ・教育上の効果を高めるため、喜多敏博教授の担当科目を追加。
  - ・教育上の効果を高めるため、久保田真一郎准教授の担当科目を追加。
  - ・教育上の効果を高めるため、戸田真志教授の担当科目を追加。



- ・教育上の効果を高めるため、松葉龍一准教授の担当科目を追加。
  - ・教育上の効果を高めるため、杉谷賢一教授の担当科目を追加。
  - ・教育上の効果を高めるため、中野裕司教授の担当科目を追加。
  - ・教育上の効果を高めるため、武蔵泰雄教授の担当科目を追加。
  - ・教育上の効果を高めるため、北村士朗准教授の担当科目を追加。
  - ・カリキュラム編成の調整により、安部美和特定事業教員の担当科目を変更。
  - ・カリキュラム編成の調整により、稲葉継陽教授の担当科目を変更。
  - ・カリキュラム編成の調整により、岡田行雄教授の担当科目を変更。
  - ・カリキュラム編成の調整により、松本智晴准教授の担当科目を変更。
  - ・カリキュラム編成の調整により、水野裕史講師の担当科目を変更。
  - ・カリキュラム編成の調整により、袴中智恵子准教授の担当科目を変更。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月前田洋助准教授就任。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月澤智裕教授就任。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月阿部健准教授就任。
- 
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月金大弘教授就任。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月北別府悠准教授就任。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月谷本祥准教授就任。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月中村徹准教授就任。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月三沢正史教授就任。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月鷺見直哉教授就任。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月山田裕史教授就任。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月杉崎文亮准教授就任。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月千吉良直紀准教授就任。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月木村弘信教授就任。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月安藤直也准教授就任。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月城本啓介教授就任。
  - ・カリキュラム編成の調整により、岩佐学准教授の担当科目を変更。
- 
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月下條冬樹教授就任。
  - ・カリキュラム編成の調整により、赤井一郎教授の担当科目を変更。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月小出眞路教授就任。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月原正大准教授就任。
  - ・定年退職により、平成30年4月から光永正治教授を講師に変更。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月荒江祥永助教就任。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月船津麻美助教就任。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月大谷亮助教就任。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月田中明助教就任。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月高野博嘉教授就任。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月尾上哲治准教授就任。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月伊藤雅浩講師就任。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月井福裕俊教授就任。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月坂本将基准教授就任。
- 
- ・カリキュラム編成の調整により、大石康晴教授の担当科目を変更。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月小澤雄二准教授就任。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月日和田伸一課長就任。
  - ・カリキュラム編成の調整により、江川良裕准教授の担当科目を変更。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月塚本光夫教授就任。
  - ・カリキュラム編成の調整により、朝田とも子准教授の担当科目を変更。
  - ・カリキュラム編成の調整により、寺岡祥子講師の担当科目を変更。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月生田まちよ講師就任。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月河野憲一郎准教授就任。
  - ・カリキュラム編成の調整により、細川伸也教授の担当科目を変更。
  - ・カリキュラム編成の調整により、乾誠治教授の担当科目を変更。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月中村輝教授就任。
  - ・カリキュラム編成の調整により、岸田光代教授の担当科目を変更。
- 
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月QUITAIN ARMANDO TIBIGIN教授就任。
  - ・カリキュラム編成の調整により、CHAN CHEONG JAN特定事業教員の担当科目を変更。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月王勁卓特定事業教員就任。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月佐々木葉月特定事業教員就任。
  - ・教育上の効果を高めるためSIMS LANDER BRYANT講師の担当科目を追加。
  - ・カリキュラム編成の調整により、KOIKE URSULA HELENA教授の担当科目を変更。
  - ・カリキュラム編成の調整により、CHEN I CHUN特定事業教員の担当科目を変更。
  - ・カリキュラム編成の調整により、都竹茂樹教授の担当科目を変更。
  - ・カリキュラム編成の調整により、河村洋子准教授の担当科目を変更。
  - ・カリキュラム編成の調整により、津野田尚子講師の担当科目を変更。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月村上純講師就任。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月清水俊講師就任。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月岡部勉講師就任。
  - ・カリキュラム編成の調整により、林哲雄講師の担当科目を変更。
  - ・カリキュラム編成の調整により、法花津晃講師の担当科目を変更。
- 
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月中村清隆講師就任。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月池辺伸一郎講師就任。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月富家利男講師就任。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月福田光治講師就任。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月粕谷公希講師就任。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月沢畑亨講師就任。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月小川和久講師就任。
  - ・教育上の効果を高めるためローゼン アラン ティヴィット講師の担当科目を追加。
  - ・カリキュラム編成の調整により、山口裕嗣講師の担当科目を変更。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月石倉恵介講師就任。
  - ・教育上の効果を高めるため片渕 美和子講師の担当科目を追加。
  - ・カリキュラム編成の調整により、那須久史講師の担当科目を変更。
  - ・カリキュラム編成の調整により、戸渡洋子講師の担当科目を変更。

- ・カリキュラム編成の調整により、益永佳予子講師の担当科目を変更。
  - ・カリキュラム編成の調整により、猿渡進平講師の担当科目を変更。
  - ・カリキュラム編成の調整により、福山由起講師の担当科目を変更。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月有松操講師就任。
  - ・カリキュラム編成の調整により、田島武安講師の担当科目を変更。
  - ・カリキュラム編成の調整により、小林孝夫講師の担当科目を変更。
  - ・カリキュラム編成の調整により、坂本尚文講師の担当科目を変更。
  - ・カリキュラム編成の調整により、古家良一講師の担当科目を変更。
  - ・カリキュラム編成の調整により、坂本顕子講師の担当科目を変更。
  - ・カリキュラム編成の調整により、木崎康弘講師の担当科目を変更。
  - ・カリキュラム編成の調整により、清川真潮講師の担当科目を変更。
  - ・カリキュラム編成の調整により、高橋ルミ講師の担当科目を変更。
  - ・カリキュラム編成の調整により、太田明講師の担当科目を変更。
  - ・カリキュラム編成の調整により、金聖孝講師の担当科目を変更。
- 
- ・カリキュラム編成の調整により、竹下元子講師の担当科目を変更。
  - ・カリキュラム編成の調整により、加藤タケ子講師の担当科目を変更。
  - ・カリキュラム編成の調整により、出田妙子講師の担当科目を変更。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月大村春孝講師就任。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月国宗直子講師就任。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月中修一講師就任。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月本田清悟講師就任。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月大江正昭講師就任。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月高木スワナ講師就任。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月米岡ジュリ講師就任。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月モーテンソン ロバート講師就任。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月ディビット ジェンキンソン講師就任。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月トネ トッド講師就任。
- 
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月クレグ アームストロング講師就任。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月ジョシュ ライアン ノーマン講師就任。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月カービン ウィリアム講師就任。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月ウォール ミナミ フィオナ講師就任。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月池田裕子講師就任。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月馬渡美幸講師就任。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月竹下裕俊講師就任。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月松本充右講師就任。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月原口昌子講師就任。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月高津亜史講師就任。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月齊木愛子講師就任。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月濱田比呂美講師就任。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月鳥村恭輔講師就任。
- 
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月山本幹樹講師就任。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月高木信之講師就任。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月橋本春男講師就任。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月田口誠一講師就任。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月角田俊治講師就任。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月ウォーターフィールド マーク アルフレッド講師就任。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月中尾敦子講師就任。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月吉田李佳講師就任。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月目正勝常勤講師就任。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月大西基子講師就任。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月セバン ミカエル講師就任。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月フェレロ イウ ビエール講師就任。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月郭麗影講師就任。
- 
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月山田里香講師就任。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月伊禮智香子講師就任。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月黎明講師就任。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月金垠周講師就任。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月柳景沃講師就任。
  - ・カリキュラム編成の調整により、浦川登久恵講師の担当科目を変更。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月キム アリン講師就任。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月金貞淑講師就任。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月金貞淑講師就任。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月金貞淑講師就任。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月金貞淑講師就任。
  - ・カリキュラム編成の調整により、古賀美千留講師の担当科目を変更。
- 
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月大庭理恵子講師就任。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月ホジソン ハロルド講師就任。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月堀江智子講師就任。
  - ・カリキュラム編成の調整により、太田丈太郎講師の担当科目を変更。
  - ・カリキュラム編成の調整により、田代クリスティーナ講師の担当科目を変更。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月テ レオン講師就任。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月田上恭子講師就任。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月園越道貴講師就任。
  - ・カリキュラム編成の調整により、片山きよみ講師の担当科目を変更。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月赤木昌子講師就任。
  - ・カリキュラム編成の調整により、與縄友子講師の担当科目を変更。
  - ・カリキュラム編成の調整により、岩谷美代子講師の担当科目を変更。
- 
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月竹村朋子講師就任。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月津留紀子講師就任。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月津留紀子講師就任。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月高峰武講師就任。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月春木秀紀講師就任。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月田中正紀講師就任。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月坂西文俊講師就任。
  - ・カリキュラム編成の調整により、前田定廣講師の担当科目を変更。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月内藤藤一郎講師就任。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月高田佳和講師就任。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月宮本秀一講師就任。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月黒岩敬太講師就任。
  - ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月水月晃講師就任。

- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月井崎美代講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月横田浩講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月柿原一貴講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月中嶋弘二講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月後藤理英子講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月村田優子講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月藤井有貴子講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月徳村美佳講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月森あい講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月中俊昭講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月猪俣雄也講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月上田由理子講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月定政節夫講師就任。

- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月岩政仁講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月林田直子講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月水田光子講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月内田良介講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月松村直講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月竹永理恵子講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月赤木夏代講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月松尾洋講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月原田真宏講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月伊佐坂切親講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月堀内一輝講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月大隈恵治講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月堤純子講師就任。

- ・昇任により、平成30年2月からQUITAIN ARMANDO TIBIGIN助教を教授に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、新留琢郎教授の担当科目を追加。
- ・昇任により、平成30年4月から峯洋二准教授を教授に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、山崎倫昭准教授の担当科目を追加。
- ・教育上の効果を高めるため、相良一宏講師の担当科目を追加。
- ・科目名称の変更により、アムストロング・レイモンド・グレッグ講師の担当科目を変更。

### 【令和元年度】

- ・カリキュラム編成の調整により、安藤新二教授の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、伊田進太郎教授の担当科目を追加。
- ・カリキュラム編成の調整により、河村能人教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、QUITAIN ARMANDO TIBIGIN教授の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、木田徹也教授の担当科目を追加。
- ・カリキュラム編成の調整により、國武雅司教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、連川貞弘教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、新留琢郎教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、松田元秀教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、峯洋二教授の担当科目を変更。
- ・昇任により、平成31年4月から山崎倫昭准教授を教授に変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、山崎倫昭教授の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、平成30年6月大山順也准教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、鯉沼陸央准教授の担当科目を追加。
- ・カリキュラム編成の調整により、小塚敏之准教授の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、平成31年4月坂田真砂代准教授就任。
- ・カリキュラム編成の調整により、佐々木満准教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、高藤誠准教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、橋新剛准教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、深港豪准教授の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、平成31年2月松川義孝准教授就任。
- ・カリキュラム編成の調整により、松田光弘准教授の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、真山剛准教授の担当科目を追加。

- ・教育上の効果を高めるため、森村茂准教授の担当科目を追加。
- ・カリキュラム編成の調整により、吉本惣一郎准教授の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、平成31年4月郭光植助教就任。
- ・教育上の効果を高めるため、勝田陽介助教の担当科目を追加。
- ・カリキュラム編成の調整により、北原弘基助教の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、金善南助教の担当科目を変更。
- ・他研究所への転出により、日隈聡士助教の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、平成31年4月芳田嘉志助教就任。
- ・カリキュラム編成の調整により、齋藤靖教授の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、平成31年4月村里泰昭教授就任。
- ・カリキュラム編成の調整により、藤本育教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、磯部博志教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、鳥居修一教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、八幡英幸教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、伊藤正彦教授の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成31年4月紺屋博昭教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成31年4月渡部薫教授就任。
- ・カリキュラム編成の調整により、牧野厚史教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、シングルト教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、入江亮教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、副島顕子教授の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成31年4月宇宿功市郎教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成31年4月三笠里香教授就任。
- ・カリキュラム編成の調整により、荒木不次男教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、入江徹美教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、古田弘子教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、新井英永教授の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成31年4月岡本友子教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成31年4月ハンセンケリー教授就任。
- ・カリキュラム編成の調整により、山下徹教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、松瀬憲司教授の担当科目を変更。

- ・カリキュラム編成の調整により、折田充教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、大野龍浩教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、竹内裕教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、濱田明教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、西嶺偉教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、朴美子教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、岡田行雄教授の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成31年4月春田直紀教授就任。
- ・カリキュラム編成の調整により、金大弘教授の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成31年4月北直泰教授就任。
- ・カリキュラム編成の調整により、原岡喜重教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、鷲見直哉教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、木村弘信教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、赤井一郎教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、渋谷 秀敏教授の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成31年4月大河内彩子教授就任。
- ・カリキュラム編成の調整により、KOIKE URSULA HELENA教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、都竹 茂樹教授の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、山口佳宏准教授の担当科目を追加。
- ・カリキュラム編成の調整により、川越明日香准教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、伊賀崎伴彦准教授の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成31年4月立花幸司准教授就任。
- ・カリキュラム編成の調整により、佐藤岳詩准教授の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成31年4月山田高誌准教授就任。
- ・カリキュラム編成の調整により、坂元昌樹准教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、鈴木寛之准教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、米島万有子准教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、山本耕三准教授の担当科目を変更。

- ・カリキュラム編成の調整により、中村政明准教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、村田貴広准教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、小松俊文准教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、望月伸竜准教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、三沢純准教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、坂梨京子准教授の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成31年4月吉村昇准教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成31年4月安村明准教授就任。
- ・カリキュラム編成の調整により、山崎浩隆准教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、瀧川淳准教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、鈴木啓孝准教授の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成31年4月原島良成准教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成31年4月池田康弘准教授就任。
- ・カリキュラム編成の調整により、内山忠准教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、池田志郎准教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、井原健准教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、西川内織准教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、長嶺寿宣准教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、平野順也准教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、永尾悟准教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、松岡浩史准教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、井上暁子准教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、畑垂弥子准教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、市川雅己准教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、Michel SAGAZ准教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、渡邊直土准教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、安部美和准教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、阿部健准教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、北別府悠准教授の担当科目を変更。

- ・カリキュラム編成の調整により、千吉良直紀准教授の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成31年4月柳原幸二准教授就任。
- ・カリキュラム編成の調整により、安藤直也准教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、岩佐学准教授の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成31年4月松永詩乃美准教授就任。
- ・カリキュラム編成の調整により、マスデン真理子講師の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、松瀬成子講師の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、SIMS LANDER BRYANT講師の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、可児智美助教の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、Laskowski Terryシニア教員の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、鹿嶋恵特定事業教員の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、王勤草特定事業教員の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、佐々木葉月特定事業教員の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、RICKARD JOSHUA HOUSTON特定事業教員の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、大島洋一講師の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、相良一広講師の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、内藤幸一郎講師の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成31年4月高田佳和講師就任。
- ・カリキュラム編成の調整により、アームストロング レイモンド グレグ講師の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成31年4月高宮正之講師就任。
- ・カリキュラム編成の調整により、Gilbert Richard Hill講師の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、ディビット ジェンキンソン講師の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、トーネ トッド講師の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、カービン ウィリアム講師の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、ウォール ミナミ フィオナ講師の担当科目を変更。

- ・カリキュラム編成の調整により、馬渡美幸講師の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、竹下裕俊講師の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、齊木愛子講師の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、濱田比呂美講師の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、山本幹樹講師の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、高木信之講師の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、吉田李佳講師の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、セバン ミカエル講師の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、郭麗影講師の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、黎明講師の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、柳景沃講師の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、キム アリン講師の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、金貞淑講師の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、崔相振講師の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、中村直美講師の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、古賀美千留講師の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、大庭理恵子講師の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成31年4月道本ゆう子講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成31年4月小坂玲子講師就任。
- ・カリキュラム編成の調整により、赤木昌子講師の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、津留紀子講師の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成31年4月岡智典講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成31年4月村坂亮講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成31年4月谷口絹枝講師就任。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
11 名	6 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数【大学】

設置時の計画					現在（報告時）の状況				
教授	准教授	講師	助教	計(A)	教授	准教授	講師	助教	計(B)
11	15	0	8	34	14	16	0	8	38
(13)	(14)	(0)	(7)	(34)					
現在（報告時）の完成年度時の状況					現在（報告時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計(C)	教授	准教授	講師	助教	計(D)
14	15	0	8	37	14	15	0	8	37
[ 3 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 3 ]	[ 3 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 3 ]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「**現在（報告時）の完成年度時の状況**」には、「**現在（報告時）の状況**」に記入した数字に、**教員審査を要費済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入**するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記(B)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(C)）の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	0 名	0 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。  
 [ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{37}{34} = \boxed{108.82} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{0}{38} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況 該当なし

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由				
合計 (D)						後任補充状況の集計 (E)					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)				①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
人	必修	科目		必修	科目	必修	科目	必修	科目		
	選択	科目		選択	科目	選択	科目	選択	科目		
	自由	科目		自由	科目	自由	科目	自由	科目		
	計	科目		計	科目	計	科目	計	科目		

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。  
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」</li> <li>・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」</li> <li>・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」</li> </ul> |
|---|

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況 該当なし

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
1	助教	日隈 聡士	H31.3	必修	数学演習 I	①	H31.3.31付け他研究所転出のため辞任（元）				
				選択	インターンシップ	①					
				必修	化学実験Ⅳ	①					
				選択	化学コミュニケーション	①					
				必修	卒業研究（応用生命化学・応用物質）	①					
合計 (F)						後任補充状況の集計 (G)					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)				①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
1	人	必修	3	科目	必修	3	科目	必修	科目	必修	科目
		選択	2	科目	選択	2	科目	選択	科目	選択	科目
		自由	0	科目	自由		科目	自由	科目	自由	科目
		計	5	科目	計	5	科目	計	科目	計	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」</li> <li>・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」</li> <li>・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」</li> </ul> |
|---|

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)			後任補充状況の集計 (E) + (G)					
辞任等した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
1 人	必修	3 科目	必修	3 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択	2 科目	選択	2 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	5 科目	計	5 科目	計	0 科目	計	0 科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{1}{34} = \boxed{2.94} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況 該当なし

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由		
合計			後任補充状況の集計					
辞任した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**についてに記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および ( ) 書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専任教員が担当する (している) 場合は「①」</li> <li>・ 兼任兼担教員が担当する (している) 場合は「②」</li> <li>・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」</li> </ul> |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

担当予定の科目については、他の専任教員により補完、また後任教員についても採用を予定しており、全体的な教育の質の確保はできている。  
 学生への周知方法については、授業時間割を大学ホームページに掲載することにより周知している。

- (注) ・ 上記 (3) の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。



6 附帯事項等に対する履行状況等 該当なし

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の 実 施 計 画

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
  - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
  - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

## 7 その他全般的事項

### <工学部 材料・応用化学科>

#### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<p>卒業要件及び履修方法 ①教養教育科目34単位以上、工学基礎科目、工学英語科目、COC関連科目、学科基盤科目の必修科目21単位を修得すること。</p> <p>さらに、 ②3つの専門教育プログラムのうちから選択した教育プログラムで開講されている科目の中から、 【応用生命化学教育プログラム】 応用生命化学教育プログラム専門科目の必修科目48単位と、学科基盤科目選択科目の中で当該教育プログラムが指定した選択科目13単位、およびCOC関連科目、学科基盤科目、当該教育プログラム専門科目の選択科目と合わせて73単位以上、①との合計で128単位以上。ただし、6単位を上限として応用物質化学教育プログラムの専門科目を当該教育プログラム専門科目の選択科目として認める 【応用物質化学教育プログラム】 応用物質化学教育プログラム専門科目の必修科目48単位と、学科基盤科目選択科目の中で当該教育プログラムが指定した選択科目13単位、およびCOC関連科目、学科基盤科目、当該教育プログラム専門科目の選択科目と合わせて73単位以上、①との合計で128単位以上。ただし、6単位を上限として応用生命化学教育プログラムの専門科目を当該教育プログラム専門科目の選択科目として認める 【物質材料工学教育プログラム】 物質材料工学教育プログラム専門科目の必修科目37単位と、学科基盤科目選択科目の中で当該教育プログラムが指定した選択科目18単位、およびCOC関連科目、学科基盤科目、当該教育プログラム専門科目の選択科目と合わせて69単位以上、①との合計で124単位以上を修得すること。</p>	<p>①について、教養教育のカリキュラム見直しに伴い、必修科目として工学英語科目（2科目・2単位）を追加。（「2授業科目の概要」参照）</p>

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

#### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 授業改善FD委員会</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 平成30年5月11日 第1回授業改善FD委員会開催（参加名数8名中8名） 平成30年6月14日 第2回授業評価FD委員会（メール会議）（参加状況8名中8名） 平成30年7月2日 第3回授業評価FD委員会（メール会議）（参加状況8名中8名） 平成30年7月20日 第3回授業評価FD委員会（メール会議）（参加状況8名中8名） 平成30年11月19日 第4回授業評価FD委員会（メール会議）（参加状況8名中8名）</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ FD活動年間計画</li> <li>・ 委員の役割分担</li> <li>・ ティーチャングアワード評価・実施方法</li> <li>・ 成績評価について</li> <li>・ その他FDに関すること</li> </ul>
---

## ② 実施状況

### a 実施内容

- ・教員相互の授業参観
- ・工学部優秀教育者の選考・表彰
- ・学生・教員相互触発型授業検討会の実施
- ・5大学教育連携シンポジウムへの参加
- ・FD講演会の企画・実施
- ・シラバスチェック

### b 実施方法

- ・教員相互の授業参観  
工学部開講の全科目を対象として、教員相互の授業参観を実施し、報告書を作成する。
- ・工学部優秀教育者の選考・表彰  
1年～3年生の学生を対象に、よかったと思われる授業を投票させ、その結果を基に表彰対象となる授業担当者を表彰する。
- ・学生・教員相互触発型授業検討会の実施  
学生と教員が、工学部優秀教育者を交え検討会を開催し、意見交換をする。
- ・5大学教育連携シンポジウムへの参加（山形大学、群馬大学、愛媛大学、徳島大学、熊本大学）  
教育問題に関する情報交換や工学教育の向上を目的に開催されているもので、教員と学生が、共に参加し、シンポジウムにおいて発表を行う。
- ・FD講演会の企画・実施  
工学部会議室Aにおいて、大学教育統括管理運営機構より講師を迎えて「熊本大学におけるアクティブラーニング型授業の推進」のタイトルで実施。
- ・シラバスチェック  
授業改善FD委員により、シラバスチェックを実施し、その結果を評価表に記入し提出する。  
提出された評価表に基づき、実施報告書を作成する。

### c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・教員相互の授業参観  
平成30年6月～平成31年1月の間に授業参観を実施し、報告書が提出された。（参加名数90名）
- ・工学部優秀教育者の選考・表彰  
平成31年1月7日～17日：各学科・学年の必修科目終了時に、学生による投票を実施。  
平成31年1月23日：授業改善FD委員会委員及びTA15名による開票作業を実施。  
平成31年3月27日：教授会開催前に表彰式を実施。（被表彰者18名）
- ・学生・教員相互触発型授業検討会の実施  
平成30年度分について、今後実施予定である。
- ・5大学教育連携シンポジウムへの参加  
平成30年9月13日～14日に愛媛大学においてシンポジウム開催。本学部から教員2名、学生2名が参加し、セッションでの発表を行った。
- ・FD講演会の企画・実施  
平成30年6月29日実施（参加者65名）  
平成31年1月22日実施（参加者42名）
- ・シラバスチェック  
平成30年12月13日～平成31年1月11日：授業改善FD委員会によるシラバスチェックを実施。  
（参加者8名）

### d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・例年、FD関連の事項について工学部FD活動報告書を作成し、実施結果についての分析を行うとともに、学部として情報を共有し、更なる授業改善に活用している。
- ・FD講演会では「アクティブラーニング型授業の推進」について講演していただき、積極的な導入に向けての参考としている。

・新シラバスシステムにより作成されたシラバスがシラバスシステム構築の目的に沿ったものであるか検証した結果を平成30年度シラバスの入力へ反映させ、教育の質の向上を図っている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

有 各授業の終了時期（5月下旬、7月中旬、11月中旬、1月下旬頃）に実施予定。

b 教員や学生への公開状況、方法等

例年、実施結果については、Web上で学生及び教員へ公開している。今年度は未実施のため、実施後に公開予定である。

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

設置の趣旨・目的を実施するよう、計画通りに実施している。今後更に教育・研究の水準の向上を図り、設置の趣旨・目的の実現に向けて取り組むこととしている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・平成30年度に自己評価を行い、令和元年6月以降公表予定

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定

③ 認証評価を受ける計画

・平成33年度を目処に評価機構（独立行政法人大学改革支援・学位授与機構）の認証評価を受けることについて、学内で検討中

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和元年度）

a ホームページへの公表予定の有無 （  有 ・  無 ）

b 公表有の場合の公表（予定）時期 （ 令和元年 6月 1日 ）

b 公表無の場合の特段の理由 （ ）

（注） ・ 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。